

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によつて(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否			
旭川医科大学	旭川医科大学医学部医学科学生に対する奨学金	在学中	年度ごとに申請	学費支援	日本学生支援機構第二種奨学金の最大額の貸付を受けてもなお、特別な理由により、経済的困難度の高い医学科の学生。	貸付奨学金	貸付奨学金	月7万円	最長72箇月間		地域の制限なし	学生支援課学生総務係	併用可	併用可			
	旭川医科大学医学部看護学科学生に対する奨学金	在学中	年度ごとに申請	学費支援	看護学科生対象	貸付奨学金	貸付奨学金	月3万5千円	最長48箇月間		地域の制限なし	学生支援課看護学科事務係	併用可	併用可			
小樽医科大学	小樽医科大学健康助成金による奨学金(交換留学)	その他	留学決定後	留学費用支援制度		全学年全学部 交換留学派遣学生のうち成績優秀者	給付奨学金	10~20万円(派遣先により異なる) ※単価は変更される可能性がある	一時金	年間25名程度	地域の制限なし	学生支援課国際交流室	併用可	併用可			
	ギャップイヤープログラム奨学金	その他	ギャップイヤープログラム参加者に給付されるため申請不要	留学費用支援制度		1年間の入学前を伴うギャップイヤープログラムに参加する者 面接試験を課している。	給付奨学金	30~100万円 ※単価は変更される可能性がある	一時金	5名 ※人数は変更される可能性がある	地域の制限なし	学生支援課国際交流室	併用可	併用可			
帯広畜産大学	帯広畜産大学基金奨学金	在学中	全学年	学費支援	他の給付型の奨学金を受けていない者で、以下のいずれかに該当する学生。 1. 経済的理由により修学が難しく困難であり、かつ学業優秀と認められる場合 2. 申請前2ヶ月以内において、学費負担者が死亡し、又は本人若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けたことにより、修学が著しく困難であると認められる場合	給付奨学金	給付奨学金	月額 3万円	1年間	併年度 学部12名、大学院7名 ※予算に応じて変動あり	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有り併用可			
北見工業大学	北見工業大学創立50周年記念基金奨学金	入学手続時		特待生・成績優秀者 学費支援		前期日程試験合格者のうち入試成績1~6位以内の者、及び後期日程試験合格者のうち入試成績1~4位以内の者	給付奨学金	44,850円 12ヶ月(学部1年間)	入学年度の4月から1年間	前期日程：合格者の上位6人 後期日程：合格者の上位4人	地域の制限なし	学生支援課学生支援係	併用可	併用可			
	学部一般選抜成績優秀者に対する入学料免除	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学料・授業料減免		前期日程及び後期日程合格者の総得点の高い順にそれぞれ募集人員の上位10%以内、並びに一定の収入基準を満たす者	免除・減免	282,000円	入学時のみ	前期日程及び後期日程合格者の総得点の高い順にそれぞれ募集人員の上位10%以内	地域の制限なし	学生支援課学生支援係	併用可	併用可			
	地元就職奨学金	在学中	学部4年次または大学院博士前期課程2年次	用途を定めない経済的支援 就職支援		学部4年次または大学院博士前期課程2年次を対象とし、本学卒業または修了後、北海道のオホーツク管内への就職率向上を目指すこと 給付に賛同し、事前登録されたオホーツク管内奨励企業等に就職し、3年以上勤務すること。	給付奨学金	30,000円/月 12ヶ月	学部4年次または大学院博士前期課程2年次の各4月から翌年3月までの1年間	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援課学生支援係	併用可	併用可			
	TOEIC受験補助制度	その他		資格取得支援制度		申請所要(③の条件を満たした場合、受験費に受験料の一部補助を受けられる。)	その他	3,000円(受験料の一部補助)	受験後、生活が定まる期間	制限なし	地域の制限なし	教務課教務係	併用可	併用可			
	検定料の免除(東日本大震災特別)	その他		被災者資金支援		【条件】 ①本学学生である ②北見工業大学学生協会で申し込む ③本学の試験会場で受験する ④本学に成績通知されることを了承する  (1)東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者 1.主たる家族支持者が所有する自宅が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合 2.主たる家族支持者が死亡又は行方不明の場合  (2)居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者 ※いづれも編入入試試験及び大学院工学研究科入試試験の志願者を除く	免除・減免	17,000円	例年3月下旬に返還	制限なし	地域の制限なし	教務課入試試験係	併用可	併用可			
	協定校へ留学する学生への奨学金	その他		派遣3か月前まで	留学費用支援制度		対象者(次の条件全てを満たす者) (1)本学正規課程に在籍する日本人学生で、協定校に短期交換留学として派遣される者 (2)学業・人物ともに優れ、経済的援助が必要であると認められる者 (3)本学が、団体等から奨学金(給付金等)を受けていない者又は受けている奨学金(給付金)が月額3万円に満たない者 (4)留学期間終了後、本学に戻り、学業を継続する者 (5)以前に本奨学金を支給されたことがない者(本奨学金の支給は1回限り)	給付奨学金	月額30,000円を限度とし、派遣期間の月数に応じて支給する。	派遣2週間前までに、助成額を全額を支給する。	制限なし	地域の制限なし	研究協力課国際交流係	併用不可	条件有り併用可		
	海外研修プログラム参加旅費	随時			留学費用支援制度		対象者 海外で実施する研修プログラムへ参加する学生	給付奨学金	旅費の一部(当該年度の予算の範囲内) ・北米 80,000円 ・アジア・大洋州 50,000円	随時	制限なし	地域の制限なし	研究協力課国際交流係	併用可	併用可		
	学生海外派遣旅費	その他		大学が定める申請期間	留学費用支援制度 課外活動支援制度		対象者 ①本学と学生交流に関する協定等を締結している外国の大学に交換留学として留学する学生 ②外国で開催される国際会議等に出発し、発表等の役割を有する学生	給付奨学金	助成額 ①国内分を除くエコノミークラス割引航空運賃又は最低見積額の60%、片道15万円を限度とする。 ②国内分を除くエコノミークラス割引航空運賃又は最低見積額の50%以下、往復10万円を限度とする。	随時	制限なし	地域の制限なし	研究協力課国際交流係	併用可	併用可		
	情報処理技術者試験受験補助制度	その他		1回目：令和6年9月17日(火)～令和6年10月11日(金) 2回目：令和6年12月13日(金)～令和7年7月16日(木)	資格取得支援制度		【条件】 ①本学の学習管理システムで出席登録を行う ②支払いを証明する書類を提出する ③試験結果が確認できる書類を提出する	その他	・ITパスポート試験以外の試験の補助 【試験に合格した場合】 金額7,500円 ※複数回の試験区分に合格した場合は全て補助対象となる。  【不合格であった場合】 年度内に2回まで補助を受けることができる。 1回目は金額、2回目は4,000円の補助となる。  ・ITパスポート試験の補助 金額に関わらず1回だけ金額(7,500円)補助	各申請期間後、生活が定まる期間	制限なし	地域の制限なし	教務課教務係	併用可	併用可		
	外国人留学生入奨助奨学金	その他		4月入学は8月10日入学者は12月	用途を定めない経済的支援		対象者(次の条件全てを満たす者) (1)本学外国人留学生(学部、大学院、研究生、特別聴講生) (2)外国政府、団体等から奨学金(給付金、貸付金)等を受けていない者又は受けている奨学金が月額4万円8千円に満たない者 (3)入学料及び授業料が未納でない者 (4)本学の家族の連帯金の額を提出している者 (5)以前に本奨学金を支給されたことがない者(本奨学金の支給は1回限り) (6)在学期間が3か月を超える者	給付奨学金	1か月あたり10,000円 支給額上限120,000円(1年間)		(1)原則として入学から2か月を経過した以降に支給する。 (2)奨学金の支給は、半期毎に在学状況及び他の奨学金受給状況等に基づき資格確認を行った上で、6か月分を一括して支給する。	地域の制限なし	研究協力課国際交流係	併用不可	条件有り併用可		
北見工業大学入学料免除	入学手続時			入学料・授業料減免		対象学年：1年次学生 資格条件： (1)入学前1年以内において、学費負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けた場合 (2)①に準ずる場合であつて、学長が相当と認める事由がある場合	免除・減免	入学料相当 282,000円	入学時のみ	人数制限無し	地域の制限なし	学生支援課学生支援係	併用可	併用可			
北見工業大学授業料免除	その他		授業料免除申請期間中(前期2~4月、後期8~10月頃)	入学料・授業料減免		対象学年：1~4年次学生、大学院学生 資格条件： 各期(前期・後期)ごとに、本人の申請に基づき選考を行う。 対象者は以下のとおり (1) 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合 (2) 授業料の前期の納付前非正規収入大学に在学していた入学前1年以内において、学費負担者が死亡し、又は学生若しくは学費負担者が風水害等の災害を受け、納入が困難であると認められる場合 (3) ②に準ずる場合	免除・減免	半期授業料相当 267,900円	半期分	人数制限無し	地域の制限なし	学生支援課学生支援係	併用可	併用可			
北見工業大学寄宿料免除	その他		授業料免除申請期間中(前期2~4月、後期8~10月頃)	寮制度		対象学年：1~4年次学生、大学院学生 資格条件：学生又は学費負担者が風水害等の災害を受け、寄宿料の納入が困難であると認められる場合	免除・減免	(月額) 男子寮：4,700円 女子寮：20,000円	半期分(6か月分)	人数制限無し	地域の制限なし	学生支援課学生支援係	併用可	併用可			
協定校へ留学する学生の生活費助成	随時			留学費用支援制度		協定校へ短期交換留学する学生	給付奨学金	1人あたり上限10万円(当該年度の予算の範囲内)		留学開始1か月前後に支給額全体の半額、留学開始4か月後に残りの半額を支給	制限なし	地域の制限なし	研究協力課国際交流係	併用可	併用可		
北海道大学	きのとや奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援		・本学の学部1年次に在学する日本人学生(聴講生、研究生等の非正規生を除く) ・申請時において、ひとり親家庭であること。 ・申請時点において、休学中または留年中でないこと。 ・学費に乏しい者であること。	給付奨学金	月額4万円	標準修業年限	毎年度3名以内	地域の制限なし	学務部学生支援課奨学支援担当	併用可	併用可			
北海道教育大学旭川校	北海道教育大学基金による修学支援事業(奨学金給付事業)	在学中	全学年	学費支援		経済的困難度の極めて高い学生に対して、本学が定める選考基準に従い、奨学金を給付する。	給付奨学金	年額100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括		支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可		
	北海道教育大学基金による修学支援事業(海外留学支援事業)	在学中	全学年	留学費用支援制度		経済的支援の必要が高い学生を対象に、本学が定める選考基準に従い、海外留学に係る旅費の一部を補助する。	給付奨学金	上限100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括		毎年度の事業計画に基づき決定する。	地域の制限なし	教育支援グループ	併用不可	条件有り併用可		
	学生寮	在学中	全学年	寮制度		選考状況、又は経済的状況を調査の上、選考を行う。	その他	寄宿月額1,800~4,300円。その他光熱水費等は自己負担。	全学年		男90名、女72名	地域の制限なし	学生支援グループ	併用可	併用可		
	留学による授業料減免	在学中	4年次	入学料・授業料減免		在学中に留学したことにより修業年限を超えて在学中、かつ学業優秀と認められる場合、授業料を半期ごとに全学または半額を免除する。	給付奨学金		一括			支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可	
	北海道教育大学基金による修学支援事業(ワークスタディ事業)	在学中	全学年		用途を定めない経済的支援		本学の教育研究に係る業務に従事した学生を対象に、手当を支給する。	その他				支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。	地域の制限なし	旭川校室教育支援グループ	併用可	併用可	
北海道教育大学岩見沢校	留学による授業料減免	在学中	4年次	入学料・授業料減免		在学中に留学したことにより修業年限を超えて在学中、かつ学業優秀と認められる場合、授業料を半期ごとに全学または半額を免除する。	給付奨学金		一括		支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可		
	北海道教育大学基金による修学支援事業(海外留学支援事業)	在学中	全学年	留学費用支援制度		経済的支援の必要が高い学生を対象に、当該年度に海外留学(3か月以上)し、海外長期学研研修制度により留学した場合は、その定める期間)する学部、大学院、別科の学生に海外留学に係る旅費の一部を補助する。	給付奨学金	上限100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括		毎年度の事業計画に基づき決定する。	地域の制限なし	国際課	併用不可	条件有り併用可		
	学生寮	在学中	全学年	寮制度		選考状況、又は経済的状況を調査の上、選考を行う。	その他	寄宿月額4,300円。その他光熱水費等は自己負担。		修学終了時まで(年限あり)	男60名 女90名	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可		
	北海道教育大学基金による修学支援事業(奨学金給付事業)	在学中	全学年	学費支援		経済的困難度の極めて高い学生に対して、本学が定める選考基準に従い、奨学金を給付する。	給付奨学金	年額100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括			支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可	
	北海道教育大学基金による修学支援事業(ワークスタディ事業)	在学中	全学年		用途を定めない経済的支援		本学の教育研究に係る業務に従事した学生を対象に、手当を支給する。	その他				支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可	
	後援会による全国大会等遠征補助	在学中	1年生~4年生		課外活動支援制度		学内学生団体で全国大会への出場選手(団体・個人)に対して出場のための経費を補助する。 出場選手とは、出場登録メンバーとし、予選登録者・精進、大会出場に必要な主将等を含む。 コンクールへの参加及び9年者に対しては同様に補助する いづれの場合も後援会に入会していない者は、支給の対象としない。	その他	出場選手1人当たり15,000円を支給する(道のうち、岩見沢から500m以内は支給しない)。			条件に合致していれば、回数制限なし。	人数制限なし	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可
	後援会による団体登録料補助	在学中	1年生~4年生		課外活動支援制度		学内学生団体が、各遠征等に加盟するための登録料(団体・個人)を補助する。 後援会に入会していない者がいる場合は、当該団体の後援会加入状況により補助対象額を調整する。	その他	1人あたり2,000円までは個人負担とし、それを超過した額を支給する。 申請に基づき、補助対象登録料・額を認定し、登録料代金を予算の範囲で調整して支給する。	当年1回限り		人数制限なし	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可	
	後援会による私費留学をする学生に対する補助	入学後			留学費用支援制度		1年~4年生の大学主催の交換留学(短期研修、長期語学研修を含む)をする学生に対する資金援助。	給付奨学金	1人あたり20,000円以内(留学期間6か月以上は20,000円、6か月未満は10,000円)。			留学を開始する年度に1回	人数制限なし	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可
	後援会による留学を希望する学生への語学試験受験費用補助	在学中	1年生~4年生		資格取得支援制度 留学費用支援制度		1年~4年生の海外の大学への留学を希望する者で当該年度に語学試験(TOEFL iBT、IELTS、TOPIK、ロシア語検定、ドイツ語検定)を受験する者。	給付奨学金	支給額は語学試験の種類及び資格相違等を勘案し、年度ごとに国際交流・協力センターが決定する。			年に1回まで	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請期間を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否			
北海道教育大学釧路校	北海道教育大学基金による修学支援事業(奨学金給付事業)	在学中	学費支援	学費支援	経済的困難度の極めて高い学生に対して、本学が定める選考基準に従い、奨学金を給付する。		給付奨学金	年額100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括		支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可			
	北海道教育大学基金による修学支援事業(海外留学支援事業)	在学中	全年	留学費用支援制度	経済的支援の必要が高い学生を対象に、本学が定める選考基準に従い、海外留学に係る運送費用の一部を補助する。		給付奨学金	上限100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括		毎年度の事業計画に基づき決定する。地域の制限なし	学生支援グループ	併用不可	条件有り併用可			
	学生寮	在学中	全年	寮制度	通学状況、又は経済的状況を調査の上、選考を行う。		その他	寄宿月額1,800～4,300円。その他光熱水費等は自己負担。	全年		男48名、女38名	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可		
	留学による授業料減免	在学中	4年次	入学金・授業料減免	在学中に留学したことにより修業年限を超えて在学し、かつ卒業優等と認められる場合、授業料を半期ごとに全額または半額を免除する。		給付奨学金		一括			支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可		
	北海道教育大学基金による修学支援事業(ワークスタディ事業)	在学中	1年生～4年次	用途を定めない経済的支援	本学の教育研究に係る業務に従事した学生を対象に、手当を支給する。		その他					支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可		
北海道教育大学札幌校	北海道教育大学基金による修学支援事業(海外留学支援事業)	在学中	全年	留学費用支援制度	経済的支援の必要が高い学生を対象に、当該年度に海外留学(3か月以上、ただし海外長期語学研修制度により留学した場合は、その定める期間)する学部、大学院、別科の学生に海外留学に係る運送費用の一部を補助する。		給付奨学金	年額100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括		毎年度の事業計画に基づき決定する。地域の制限なし	国際課	併用不可	条件有り併用可			
	留学による授業料減免	在学中	4年次	入学金・授業料減免	在学中に留学したことにより修業年限を超えて在学し、かつ卒業優等と認められる場合、授業料を半期ごとに全額または半額を免除		免除・減免	毎年度の事業計画に基づき決定する。	一括		毎年度の事業計画に基づき決定する。地域の制限なし	学生支援課 学生支援グループ	併用可	併用可			
	学生寮	在学中	全年	寮制度	通学状況、又は経済的状況を調査の上、選考を行う。		その他	寄宿料 月額4,300円(電気・水道・暖房・ガス別)	全年		男80名、女80名	地域の制限なし	学生支援課 学生支援グループ	併用可	併用可		
	北海道教育大学基金による修学支援事業(奨学金給付事業)	在学中	全年	学費支援	経済的困難度の極めて高い学生に対して、本学が定める選考基準に従い、奨学金を給付する。		給付奨学金	年額100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括			支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。地域の制限なし	学生支援課学生支援グループ	併用可	併用可		
	北海道教育大学基金による修学支援事業(ワークスタディ事業)	在学中	全年	用途を定めない経済的支援	本学の教育研究に係る業務に従事した学生を対象に、手当を支給する。		その他					支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。地域の制限なし	学生支援課学生支援グループ	併用可	併用可		
北海道教育大学函館校	北海道教育大学基金による修学支援事業(奨学金給付事業)	在学中	全年	学費支援	経済的困難度の極めて高い学生に対して、本学が定める選考基準に従い、奨学金を給付する。		給付奨学金	年額100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括			支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可		
	北海道教育大学基金による修学支援事業(海外留学支援事業)	在学中	全年	留学費用支援制度	経済的支援の必要が高い学生を対象に、本学が定める選考基準に従い、海外留学に係る運送費用の一部を補助する。		給付奨学金	上限100,000円(毎年度の事業計画に基づき決定する)	一括			毎年度の事業計画に基づき決定する。地域の制限なし	学生支援グループ	併用不可	条件有り併用可		
	学生寮	在学中	全年	寮制度	通学状況、又は経済的状況を調査の上、選考を行う。		その他	寄宿月額4,300円。その他光熱水費等は自己負担。	修学終了時まで(年限あり)		男 120名、女60名	地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可		
	留学による授業料減免	在学中	4年次	入学金・授業料減免	在学中に留学したことにより修業年限を超えて在学し、かつ卒業優等と認められる場合授業料を半期ごとに全額または半額を免除		給付奨学金		一括			支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可		
	北海道教育大学基金による修学支援事業(ワークスタディ事業)	在学中	全年	用途を定めない経済的支援	本学の教育研究に係る業務に従事した学生を対象に、手当を支給する。		その他					支給人数は毎年予算の範囲内で決定する。地域の制限なし	教育支援グループ	併用可	併用可		
弘前大学	岩谷元彰弘前大学育英基金	その他	10月上旬～11月中旬	用途を定めない経済的支援	1 年次ごとに相応の修得単位数があり、標準修業年限で卒業が見込まれる者。但し、留学による休学期間は修業年限に含めない。 2 1年次学生は4月に入学した者。 3 弘前大学における全授業単位の修得単位の平均が75以上の者。 4 奨学金希望者は、1～3を満たし、かつ家庭の所得が日本学生支援機構第一種奨学金基準(学部別)以下の者。他の奨学金受給に対する給付権はない。 5 育英基金の採用は、学部在学期間中1～2年次(医学部医学科生は1～3年次)で1回、3～4年次(医学部医学科生は4～6年次)で1回までとする。		給付奨学金	奨学金1人20万円	一括給付		24名程度	地域の制限なし	学務部学生課生活支援グループ	併用可	併用可		
	弘前大学基金「ヨロ未来の青森県応援事業」	その他	6月上旬～6月上旬	用途を定めない経済的支援	1 本学の学部・在学する2年次以上の学生で、年次ごとに相応の修得単位数があり、標準修業年限で卒業が見込まれる者。 2 青森県内出身者であること。 3 家計支持者の収入・所得額が日本学生支援機構第一種奨学金基準(学部別)以下の者であり、経済的理由により修学が困難であること。 4 本学における累積GPAの量が2.5以上の者。 5 本学を卒業後に青森県内に就職を希望している者。		給付奨学金	奨学金1人20万円。	一括給付		4名	青森県	学務部学生課生活支援グループ	併用可	併用可		
	弘前大学生活支援奨学金	随時		用途を定めない経済的支援	1 一時的な経済的理由により生活が困難な者が対象。 2 担任教員の同意が必要。		貸与奨学金	一人10万円を上限とし、貸与回数に原則として一回。	申請から2週間程度後に一括振込		制限なし。(ただし、予算の範囲内)	学務部学生課生活支援グループ	併用可	併用可			
	弘前大学国際交流基金助成金	その他	派遣決定後、速やかに。	留学費用支援制度	協定校(本学が国際交流を目的として交流協定の締結を行った大学)に交換留学として派遣、または協定校で実施される3ヶ月未満の派遣プログラムに私費で参加する者、他国政府からの給付金、あるいは日本学生支援機構から給付される奨学金を受給していない者。		給付奨学金	当該年度予算の範囲内で、渡航費により一人あたり4万5千円または2万5千円を上限として支給する。	帰国後、必要書類を確認の上、1回支給。		特に定めはない。	国際連携本部	併用不可	併用不可			
	学生寮	その他	令和7年度は前期:3月8日～10日、後期:3月20日～22日を予定	寮制度	原則学部学生(外国人留学生を含む。)とする。ただし、入寮定員に達しない場合は、大学院の学生(外国人留学生を含む。)並びに外国人学生である4月以降開校、研究、勉強及び特別奨励生(以下「特別奨励生」という。)も入寮可能である。 家計支持者の年間所得状況及び家族状況等を総合的に判断して入寮選考する。		その他					地域の制限なし	学務部学生課課外教育担当	併用可	併用可		
	課外活動団体支援	在学中	各年度末 1年生～4年生	課外活動支援制度	10年以上継続している課外活動団体を対象として、各団体からの要望に基づき、物品支援・施設補修等を実施している。		その他				年間で10件以内で、1団体当たり10万円以内とする。	地域の制限なし	学務部学生課課外教育担当				
	学生ボランティア活動助成	在学中	例年、4月の募集時期	課外活動支援制度	学内外のボランティア活動を実施している課外活動団体について、活動を助成するため、希望する消耗品を支給する。 なお、対象となるには、以下の条件を満たす必要がある。 1 ボランティア活動であること。 2 ボランティア活動として当該年度の集積を有すること。 3 本学構成員のみから成る5名以上の団体であること。 4 営利企業に直接関係がないこと。		その他					地域の制限なし	学務部学生課学生・企画担当				
	TOEIC受験料支援制度	その他	実施年度毎に定めている。	その他	TOEICの受験料支援	本人の申請に基づき、学部学生及び大学院生に対し、TOEIC Listening&Reading Testの公開テスト及び「Institutional Program(IPテスト)」「当該年度実施分)の受験料の一部を給付。		給付奨学金	-TOEIC Listening & Reading Test 公開テスト 6,850円 -TOEIC Listening & Reading Test 公開テスト(リーディング受験割引サービス) 6,250円 -TOEIC Listening & Reading Test 公開テスト(リーディング受験割引サービス) 5,850円 -TOEIC Listening & Reading Test Institutional Program (IPテスト) 3,700円 -TOEIC Listening & Reading Test Institutional Program (IPテストオンライン) 3,700円	申請後の翌月支給		特に定めはない。予算がなくなり次第、受付を停止する。	学務部教務課教養教育担当	併用可	併用可		
	弘前大学基金「弘前大学生活協同組合学生支援金給付事業」	その他	11月～12月頃	用途を定めない経済的支援	(1) 本学の正規の学部学生であること。(申請日時点で在学中の者を除く) (2) 独立行政法人日本学生支援機構(以下「機構」という。)の給付型奨学金に申請したが家計基準により不採用又は給付停止となった者(本学入学期に予約採用で給付型奨学金に申し込み家計基準により不採用となつた者を含む。) (3) 機構の奨学金受給を希望している者(申請中の者を含む。) (4) 申請日の属する年度において、以下の免除及び支援のいずれも受けていない者。 ・弘前大学(平成18年創設第2号)第45条に規定する授業料免除 ・専攻した学部に対する授業料免除 ・青森県国民健康保険団体連合会医師修学資金支援事業 ・弘前大学医学部付属病院看護学生修学資金 ・「ヨロ未来の青森県応援事業」 ・その他、本学で扱う授業料免除及び給付型奨学金		給付奨学金	1人あたり10万円	一括給付		30人	地域の制限なし	学務部学生課生活支援グループ	併用不可	条件有り併用可		
	弘前大学医学部附属病院看護学生修学資金	在学中	2～4学年の4～5月	学費支援 用途を定めない経済的支援	2～4学年・弘前大学医学部保健学科・卒業後、看護師または助産師として弘前大学医学部附属病院での就業を希望することが条件。 なお、卒業後すでに本邦に採用されない場合や、支給した期間分、本院で勤務しない場合などは、修学資金の返還が必要となる。		給付奨学金	毎月90,000円支給		卒業までの期間(最大3年間)		1学年8名程度(応募人数により学年毎の人数調整あり)	医学部附属病院総務課人事グループ	併用可	条件有り併用可		
弘前大学医学部学生修学支援金	その他	在学中随時	用途を定めない経済的支援	対象は医学部医学科に在籍する学生		貸与奨学金	1人10万円を上限とし、貸与回数は原則として1回とする。ただし、特別な事情により生活が困難した場合、上限額、貸与回数共に制限を設けず、予算の範囲内で貸与する。	随時			人数制限なし(ただし、予算の範囲内)	医学部研究科学グループ	併用可	併用可			
岩手大学	成績優秀者の授業料免除	その他	大学側で選考を行い、対象者となつた方に連絡。	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	学費: 学部4年次 学部: 全学部 資格・条件: 各学部において3年次後期までの成績が優秀である者		免除・減免	後期授業料全額免除(267,900円)	4年次後期の授業料を免除。		全学部合計12名程度(学部学生数に応じて選出)	学務部学生支援課	併用可	併用可			
	岩手大学「ハート」基金国際交流・留学生支援事業奨学金	在学中	前期・後期各1回募集を行い、選考予定日に申請	留学費用支援制度	学費: 指定なし 学部: 指定なし 資格・条件: 本学が認めた海外研修プログラムに参加する学部生及び大学院生のうち、他団体からの海外派遣・留学等に關する奨学金の受給者で、指導教員等の推薦を受けた者		給付奨学金	留学期間6か月以上 1人当たり20万円 留学期間6か月未満 1人当たり10万円 短期研修1人当たり4万円	1回選り切り		(2024年度)1名程度 短期研修1名当たり4万円	学務部国際課	併用可	併用可			
	岩手大学「ハート」基金奨学金	在学中	前期・後期に各1回募集を行う。	用途を定めない経済的支援	学費: 指定なし 学部: 指定なし 資格・条件: 本学の学部生で経済的に困難しており、かつ卒業優等と認められる者		給付奨学金	年額10万円を一括で支給			対象年度の4月1日～3月31日	年間60名程度	学務部学生支援課	併用可	併用可		
	入学科免除	入学者候補		入学金・授業料減免	学費: 1年次、編入学生 学部: 全学部 資格・条件: 入学前1年以内において、学費負担者が死亡し、又は入学者もしくは学費負担者が風水害等の災害を受けた場合		免除・減免	入学科(282,000円)の全額、半額又は1/4の額を免除	入学時			未定(年度によって異なる)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	授業料免除	在学中	前期・後期各1回募集を行う。	入学金・授業料減免	学費: 指定なし 学部: 指定なし 資格・条件: ①各課開始6月以内(新入学者は入学前1年以内)において、学費負担者が死亡し、又は入学者もしくは学費負担者が風水害等の災害を受けた場合 ②高等教育の修学支援新制度の申請対象にならない場合で、経済的理由により修学が困難であり、かつ卒業優等と認められる場合		免除・減免	授業料半期(267,900円)の全額、半額又は1/4の額を免除				対象年度の前期、後期	未定(年度によって異なる)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	理工学部修学支援奨学金	在学中	前期・後期各1回募集を行う。	用途を定めない経済的支援	学費: 指定なし 学部: 理工学部 資格・条件: 学力・語学力の基準を満たしており、かつ進学意欲が高く優秀と認められる者		給付奨学金	年額24万円を一括で支給			対象年度の4月1日～3月31日	13名	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
	農学部補助資金	在学中	前期・後期各1回募集を行う。	用途を定めない経済的支援	対象学年: 全学年 対象学部: 農学部 対象条件: 経済的に困難なため学業遂行に支障をきたしている者		給付奨学金	年額10万円を一括で支給				在学期間中1回限り	最大3名程度	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって「(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否		
東北大学	東北大学元気・前向き奨学金(修学支援奨学金)	在学中	学部1年生から6年生	用途を定めない経済的支援 その他	修学支援	(1)対象学生 本学に在籍する学部学生で、以下に掲げるすべての事項に該当し、経済的支援を要する学業成績優秀者 ・令和3年度以降入学の学部1、2、3年生(外国人留学生を除く)(2023年度募集時) ・応募年度の4月1日現在で25歳未満である者 ・本学以外の給付型奨学金、または他の団体・機関からの給付型奨学金を受けておらず、また受給する予定のない者 ・日本学生支援機構給付奨学金が受給対象外の学生のうち、以下の理由で対象外となった者 ・年収基準 ・学業基準(ただし、現在専攻中の者は除く) ・入学時期(高校卒業後2年以上)	給付奨学金	年間36万円(月額3万円)を一括で支給	1年間(4月から翌年3月)	50名程度	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用不可		
	授業料減免制度	在学中	4年生～6年生	学費支援 入学金・授業料減免 顕栄賞奨学金		4年生～6年生(2023年度現在) 経済的理由により、授業料を納付することが困難であると認められ、かつ、学業成績が優秀であると認められる者、その他やむを得ない事情があると認められる者 ただし、日本学生支援機構の給付奨学金の申請をすること、又は給付奨学金に申請しない(できない)正当な理由があること	免除・減免	授業料の全額、2/3、半額、1/3相当額	学期毎	予算による	地域の制限なし	学生支援課	併用可	条件有り併用可		
宮城教育大学	授業料免除	在学中	1年生～4年生	入学金・授業料減免		以下①～④の全てを満たす者 ①高等教育の修学支援新制度の対象外である者 ②教員になろうとする意志が強く、成績が特に優秀である者 ③経済的困難度が高いと認められる者 ④前年度(1年生は前期)において、本学が認めるボランティア活動又は奨励している課外活動に規定の回数以上参加している者	免除・減免	授業料の一部を免除	半年毎に審査	人数制限なし	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可		
	サークルステップアップサポート	在学中	1年生～4年生	課外活動支援制度	大学公認サークル		その他	原則として 1団体につき10万円以内 1団体につき年1回			地域の制限なし	学生課	併用可	併用可		
秋田大学	新入生育英奨学金	その他	入学時のみ	用途を定めない経済的支援		学部新入生のうち、次のいずれかに該当する場合 ①経済的理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる者 ②入学前卒業者、本人の学費を主として負担している者(以下「学費負担者」という。)が死亡し、または本人もしくは学費負担者が風水害、地震等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者。	給付奨学金	10万円を給付。ただし、入学料免除許可者については5万円を給付。	一時金のため、給付は一度限り。	10人程度	地域の制限なし	学生支援・教職課	併用可	併用可		
	学業奨励金	在学中	卒業年度を除く学部学生	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		・対象者/卒業年度を除く学部学生 ・成績優秀者を表彰し、学業奨励金の給付を行う。	給付奨学金	1人 10万円(予定)	一時金のため、給付は一度限り。		教育学部文学部については3名、法学部については4名、理工学部については4名、国際資源学部2名を原則とする。	学生支援・教職課	併用可	併用可		
山形大学	山形大学山形遠征奨学金	入学手続時		学費支援 入学金・授業料減免		学業が極めて優秀で、かつ経済的理由により山形大学への進学が困難な方で、卒業後、山形県の地域振興に貢献して下さる方	給付奨学金 免除・減免	月額5万円の奨学金のほか、授業料を免除	4年間(医学部医学科は6年間)	8名	地域の制限なし	エンrollment・マネジメント部学生支援課	併用可	併用可		
	山形大学エリアキャンパスもみろ土田奨学金	入学手続時		学費支援 入学金・授業料減免		学業が極めて優秀で、かつ経済的理由により山形大学への進学が困難な方で、山形県上地区の高等学校出身の方、県上地区の発展に強い意欲を有する方	給付奨学金 免除・減免	月額4万円の奨学金のほか、授業料を免除	4年間(医学部医学科は6年間)	1名	山形県	山形大学エンrollment・マネジメント部学生支援課	併用可	併用可		
	山形大学 YU Do Best 奨学金	在学中	学部3年生(医学部医学科は5年生)	特待生・成績優秀者		学部3年生(医学部医学科は学部5年生)のうち、成績、人物ともに優秀であり、奨学生にふさわしい学生。奨学生は学部長の推薦に基づき学長が選考します。	給付奨学金	月額3万円	2年間	10名	地域の制限なし	エンrollment・マネジメント部学生支援課	併用可	併用可		
	山形大学修学支援専業主婦学生支援奨学金	随時		学費支援		経済的理由により、一時的に授業料等の支払いが困難になった方	貸与奨学金	30万円まで	1回限り		人数制限なし	エンrollment・マネジメント部学生支援課	併用可	併用可		
福島大学	しのぶ育英奨学金	在学中	福島大学1年以上在籍の学生	用途を定めない経済的支援		①福島大学に1年以上在籍する日本人学履生であること。 ②経済的に困難する学業成績優秀者であること ③日本学生支援機構給付奨学金や他の団体からの給付奨学金を受けていないこと。	給付奨学金	月額5万円	1年間	年間10名程度	地域の制限なし	学生・留学生課	併用不可	併用不可		
筑波技術大学	授業料免除制度	その他	前期:3月頃 後期:9月頃	入学金・授業料減免		本学の学部または大学院研究科の学生(研究生、科目等履修生及び特別聴講生を除く)であって、次のいずれかに該当していること。 (1)経済的理由によって納付期限までに授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績が基準を満たす場合 (2)当該学期の生活費(授業料を除く)・借費・失職又は風水害等の被災等(授業料の全額の前払期間前か月以内)・新入生に於ける入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内又は納付中に発生したものに係る緊急対策のため、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合 (3)学業成績が優秀であると認められる場合、又は国立・公立大学入試支援技術大学学生の表彰に関する規程(平成17年規程第78号)第2条の規定により表彰された場合 (4)社会人として入学した場合 (5)転入生として入学した場合 (6)その他やむを得ない事情があると認められる場合	免除・減免	授業料の全額または半額または一額(287,900円または133,950円または一額)	半額ごとに回		予算の範囲内	地域の制限なし	聴覚障害系支援課学生係/視覚障害系支援課学生係	併用可	併用可	
	入学料免除制度	入学手続時		入学金・授業料減免		本学の学部または大学院研究科に入学する者(科目等履修生及び研究生としての入学者を除く)であって、次のいずれかに該当していること。 (1)主計が維持する者の死亡・借費・失職又は風水害等の被災等(入学前1年以内に発生したものに係る緊急対策のため、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合 (2)前記に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由があるとき	免除・減免	入学料の全額または半額(282,000円または141,000円)	1回限り		予算の範囲内	地域の制限なし	聴覚障害系支援課学生係/視覚障害系支援課学生係	併用可	併用可	
	入学料徴収猶予制度	入学手続時		その他	入学料の徴収猶予	本学の学部または大学院研究科に入学する者(科目等履修生及び研究生としての入学者を除く)であって、次のいずれかに該当していること。 (1)経済的理由によって納付期限までに授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合 (2)その他やむを得ない事情があると認められる場合	その他	納付する必要がある額			入学した年度の2月末日まで入学料の徴収を猶予する。	対象者全員	地域の制限なし	聴覚障害系支援課学生係/視覚障害系支援課学生係	併用可	併用可
	授業料徴収猶予制度	その他	前期:3月頃 後期:9月頃	その他	授業料の徴収猶予	本学の学部または大学院研究科の学生(研究生、科目等履修生及び特別聴講生を除く)であって、次のいずれかに該当していること。 (1)経済的理由によって納付期限までに授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績が基準を満たす場合 (2)主計維持者の死亡・借費・失職又は風水害等の被災等による緊急対策のため、授業料の納付が困難と認められる場合 (3)その他やむを得ない事情があると認められる場合	その他	納付する必要がある額	前納分については8月末日まで、後納分については2月末日まで、授業料の徴収を猶予する。		対象者全員	地域の制限なし	聴覚障害系支援課学生係/視覚障害系支援課学生係	併用可	併用可	
茨城大学	入学料免除	入学手続時		入学金・授業料減免		(対象者) ・入学前1年以内に入学者のもの学費負担者が死亡した場合 ・入学前1年以内に入学者のもの学費負担者が死亡した場合 ・その他やむを得ない事情がある場合 (注)専業主婦 家計の基準により審査の上、決定する ※高等教育の修学支援新制度の対象者は申請不可	免除・減免	入学料の全額又は半額	入学年度のみ		基準に該当する者全員を対象としている	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
	授業料免除	入学後		入学金・授業料減免		(対象者) ・学費負担者が非課税、又は学生本人が社会的養護を必要とする者である場合 ・経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合 ・納付期限の月以内に入学者のもの学費負担者が死亡した場合又は入学前1年以内において学費負担者が死亡、又は学生若しくは学費負担者が風水害等を受け、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合 ・その他やむを得ない事情がある場合 (注)専業主婦 学力基準及び家計基準により審査の上、決定する ※高等教育の修学支援新制度の対象者は申請不可	免除・減免	授業料の全額又は半額若しくは1/4額を免除	半額ごと		基準に該当する者全員を対象としている	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
筑波大学	筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」	在学中	申請時期については大学ホームページ/キャンパスライフ/奨学金・学生生活の支援/奨学金・修学支援/筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」を参照してください。	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援 その他	育児支援、緊急支援	【1】緊急時の経済支援 難病・難症の患者、やむを得ない事由による失職など 【2】国際的医学研究人養成コース学生への経済支援 医学部医学国際的医学研究人養成コース、または人間総合科学研究科(医学の課程)に在学者など 【3】育児支援 教育・保育施設、認可外保育施設等に入学している小学校就学の始期に達するまでの子どもを養育する者など 【4】学業成績優秀者支援 学費4年次の者など 【5】大学院進学奨励支援 学費4年次の者など 詳細については、大学ホームページ/キャンパスライフ/奨学金・学生生活の支援/奨学金・修学支援/筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」を参照してください。 https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support/scholarship/scholarship-tsukuba/	給付奨学金	【1】一時金20万円 【2】毎月6万円の月給、大学院月額6万円 【3】授業料月額の半額を支給(上限2万円) 【4】一時金10万円 【5】一時金10万円	【1】1回限り 【2】1年間 【3】16回 【4】1回限り 【5】1回限り	【1】予算の範囲内で申請のあった人数 【2】予算 【3】予算の範囲内で申請のあった人数 【4】約50名 【5】約50名	地域の制限なし	学生部学生生活課経済支援	併用可	併用可		
宇都宮大学	成績優秀者表彰	その他	年度末	特待生・成績優秀者		対象者は、学部学生 推薦年度におけるGPA(卒業年度学生にあっては、1年次から4年次までの通算GPA)が、所属する年次及び学科等の入学定員数の上位1%(小数点以下四捨五入)以内の者を学業成績優秀者表彰候補者として推薦する	給付奨学金	推薦の規程については、毎年、表彰影響の決定と併せて学務委員会における議を踏んで決定する。	1回限り		地域の制限なし	学部学生支援課	併用可	併用可		
	宇都宮大学30基金 関スポーツ奨学金	在学中	全年	課外活動支援制度		1. 本学の課外活動団体※1)に所属し、積極的にスポーツ活動に参加している者 2. スポーツ活動と学業の両立のため、経済的支援が必要と認められること ※1)「課外活動団体」とは、体育系の認定団体、各種競技大会(競技連盟が主催・運営する公式大会等)に出場している団体をいい、当該団体の選手又はマネージャーとして積極的にスポーツ活動に参加している者を対象とします。	給付奨学金	10万円	1回限り	10人程度	地域の制限なし	学部学生支援課	併用可	併用可		
	宇都宮大学30基金 飯村チャレンジ奨学金	在学中	全年	用途を定めない経済的支援		・学部正規生(留学生除く) ・チャレンジ精神にあふれ大きな志を持っている者 ・経済的支援が必要な者	給付奨学金	48万円(年間)	①1年間	15人	地域の制限なし	学部学生支援課	併用可	条件有り併用可		
	宇都宮大学30基金 入学応援奨学金	その他	高校3年次の秋	学費支援		・栃木県内の高校出身者 ・学部正規生(1年次)に入学する予定の者(外国人留学生を除く) ・世帯年収が一定額以下の者 ・AO入試、推薦入試(1・2)又は一般入試(前期・後期)に出席し、合格した場合に入学することを誓約できる者	給付奨学金	30万円(一時金)		20人	栃木県	学部学生支援課	併用可	併用可		
	宇都宮大学30基金 留学奨励金によるチャレンジ活動支援について	その他	留学後	留学費用支援制度		本学が主催する海外派遣プログラム等(国際研修、インターンシップ等)のうち、経済支援のないもの(専門教育研究の一環としての演習、調査・研究、学術発表、研修旅行等)を除く	給付奨学金	アジア地域:4万円 アジア地域以外:8万円				地域の制限なし	留学生・国際交流センター事務室	併用不可	併用不可	
群馬大学	入学決定料免除	学校出願時		被災者資金支援 その他		今般のウクライナ情勢を受けて、避難した学生の教育研究活動の継続支援のための決定料、入学料、授業料及び宿料免除。	免除・減免	学額17,000円 編入試験料・大学納入費 300,000円 専攻料納入 18,000円	出願時		制限なし	地域の制限なし	学部学生受入課	併用可	併用可	
	群馬大学学生海外派遣支援事業奨励金	在学中	学年は問わない	留学費用支援制度		(1)派遣交換留学(学生交流協定締結大学への1学期以上1年以内の留学)に参加する本学の正規課程に在籍する学部生及び大学院生 (2)本学が実施する海外研修プログラムに参加する本学の正規課程に在籍する学部生及び大学院生 (3)その他学費が認められる研修プログラムに参加する本学の正規課程に在籍する学部生及び大学院生 (4)前3号のほか、学長が特に認める海外で行われる事業等に参加する本学の正規課程に在籍する学部生及び大学院生	給付奨学金	対象事業の内容、人数、期間及び地域を勘案し、役員会の議を経て学長が決定する。 GFL(グローバルフロンティアリーダー)プログラムについては特別手当あり。	各参加学生のプログラム参加期間		予算の範囲内で決定	地域の制限なし	群馬大学学務部海外交流課	併用可	併用可	
	群馬大学基金による「留学(派遣)経費補助事業」による奨学金	在学中	学年は問わない	留学費用支援制度		日本学生支援機構(以下、「JASSO」といふ)海外留学支援制度奨学金等の受給決定者のうち、JASSO第1種奨学金の採用基準(家計基準)を満たしている学生	給付奨学金	JASSO 海外奨学金(月額給付、月額の支払方法はJASSOに準ずる)と同額を上乗せし、次の区分の範囲において実費を補填しない範囲とする。 1)3ヶ月以上2ヶ月分 2)3ヶ月未満の短期留学・研修:1か月分 なお、オンライン留学は学長奨励金と同額を上乗せし、実費を超えない範囲とする。	(1)3ヶ月以上の長期留学・研修:2か月分 (2)3ヶ月未満の短期留学・研修:1か月分 (3)オンライン留学:1回	年間30人程度(留学の期間や予算等により変動する)	地域の制限なし	群馬大学学務部海外交流課	併用可	併用可		
	群馬大学基金「駆けろ、世界を！」グローバルチャレンジプログラム	在学中	学年は問わない	留学費用支援制度		本学に在籍する正規学生あるいは正規生で任意に構成する学生グループで「グローバルチャレンジプログラム」に採択された者	給付奨学金	1件あたり上限50万円(往復航空費(実費)、授業料・プログラム参加費用、留学期間中の活動支援費用)	1回			地域に定めなし(採択件数は1年度に原則3件)	群馬大学学務部海外交流課	併用可	併用不可	
卓越した学生に対する授業料免除	在学中	全年	入学金・授業料減免		群馬大学の学部及び大学院に在籍する卓越した学生を対象とする。	免除・減免	学費相当額		後期	64名	地域の制限なし	学部学生支援課学生生活係	併用可	併用可		

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によつて(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
埼玉大学	【埼玉大学基金奨学金】白楽フットボール奨学金	その他	4年次に在籍する学生から成績優秀者を大学が選抜する	学費支援	理学部分子生物学科および生体制御学科に在籍する4年次生から選抜する。支給は1回限り。	給付奨学金	年額5万円	1回限り	1回限り	4名(各学科2名づつ)	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可	
	【埼玉大学基金奨学金】MARELLI奨学金	在学中	11月頃	学費支援	理学部・工学部の5～4年次生で経済的に事情のある者 ※4年次生は埼玉大理工学部材料博士前期課程に進学予定であること。	給付奨学金	年額30万円	1回限り	最長で博士前期課程2年次に在籍まで	4名(大学院生含む)	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用不可	
	【埼玉大学基金奨学金】エネルギーバール奨学金	入学後		学費支援	工学部情報工学科の在籍生から該当する者を大学が選抜する。 ・区分A…当該年度の前期授業料免除適用者のうち成績優秀な者 ・区分B…埼玉大大学院理工学部材料博士前期課程へ進学が決定している者のうち成績優秀な者	給付奨学金	年額0万円	1回限り	1回限り	・区分A…20名程度 ・区分B…16名	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可	
	【埼玉大学基金奨学金】大栄不動産奨学金	在学中	2年次在籍時の5～7月頃 ※3年次生以上でも募集することがある	学費支援	教養学部・経済学部の2年次生より、理学部・工学部の2年次生より1名を募集。ただし日本人学生に限る。	給付奨学金	年額30万円	1回限り	3年間(4年次まで) ※毎年秋、継続の審査を受ける		各学部2名 ※原則、2年次生から新奨学学生を募集するが、他の学年で定員に空きが出た場合は募集を行う。	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用不可
	【埼玉大学基金奨学金】デジタルベリー奨学金	在学中	毎年度5～9月	学費支援	教養学部生対象	給付奨学金	年額10万円	1回限り	1回限り	4名(2023年度募集) ※前額額によって毎年度異なる	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可	
	【埼玉大学基金奨学金】武島(志方)明子奨学金	在学中	3年次生秋ごろ	学費支援	教育学部3年次生(日本人学生)	給付奨学金	年額3万円	1回限り	1回限り	1名	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可	
	【埼玉大学基金奨学金】高橋基理工事奨学金	在学中	2・3年次生秋ごろ	学費支援	工学部環境社会デザイン学科2～3年次生 ※3年次生は埼玉大大学院理工学研究科に進学予定であること	給付奨学金	年額50万円	1回限り	1回限り	2名	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可	
	【埼玉大学基金奨学金】祐昭奨学金	入学後		学費支援	教育学部4年次生から該当する者を大学が選抜する ・埼玉大大学院専門職学位課程教育学研究科に進学する者のうち、経済的に困難している者	給付奨学金	年額10万円	1回限り	1回限り	2名	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可	
	【埼玉大学基金奨学金】大志奨学金	在学中	3・4年次6～7月頃	学費支援	工学部機械工学・システムデザイン学科3～4年次生(日本人学生) ※大学院生を優先して選抜する	給付奨学金	年額10万円	1回限り	1回限り	2名(大学院生含む)	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可	
	【埼玉大学基金奨学金】Max奨学金	入学後		学費支援	教養学部2年次生から該当する者を大学が選抜する ・経済的に困難している者のうち、成績優秀者	給付奨学金	年額2万円	1回限り	1回限り	3名	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可	
	【埼玉大学基金奨学金】ホワイト奨学金	在学中	9月頃	学費支援	理学部・工学部の1～3年次生で学か・人物ともに優秀な者(日本人学生)	給付奨学金	年額10万円	1回限り	1回限り	5名(大学院生含む)	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可	
	成績優秀者授業料免除	在学中	応募によらず、大学が選抜を行う。	特待生・成績優秀者	学費	学部3年次の学生(夜間主コースの学生を除く)より、大学が選抜を行う。	免除・減免	授与者の当該年度後期授業料(267,900円)を全額免除する。	1回限り		5名程度(各学部1名程度)	地域の制限なし	学生支援課奨学支援担当係	併用可	併用可
	埼玉大学令和6年度半島地震緊急支援奨学金	在学中	学部1～4年生在学中、大学院生在学中	被災者資金支援	学費	下記いずれか。 ・被災したことにより家計が急変し、経済的に困難し、学業継続が困難となった学生であること。 ・災害により学生本人やその家族計が被災し、被災した金額が被災前からの避難給付金が1ヶ月以上継続したことにより、経済的に困難し、学業継続が困難となった学生であること。	給付奨学金	1人当たり15万円	1回限り	(今被災では)1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援課・広域渉外課	併用可	併用可
授業で使用するノートPC購入費の経済的支援	入学後		その他	学費	令和6年度 学部1年次入学者のうち、日本学生支援機構の給付奨学生であり、かつ、経済的困難度がより高い学生	給付奨学金	5万円	1回限り	入学時1回限り	既定予算内まで	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
千葉大学	経済的に困難かつ優秀な学生に対する奨学金	その他	各年度1回募集	特待生・成績優秀者	経済的に困難かつ優秀な成績を修めている学生に対し奨学金を支給 授業料全額免除者より各学部及び大学院各課程成績優秀者1名	給付奨学金	年額10万円(変更の可能性あり)				地域の制限なし	学部制学生支援課	併用可	併用可	
	家計急変者への就学支援	その他	急変発生時	用途を定めない経済的支援	家計支持者の死亡や、風水害等の災害により家計が急変した者に対し奨学金を支給(年間人数制限あり)	給付奨学金	10万円(変更の可能性あり)				地域の制限なし	学部制学生支援課	併用可	併用可	
	東京海洋大学	東京海洋大学経済支援給付制度	随時	学費支援 被災者資金支援	申請資格 原則として、申請の3ヶ月以内に主たる学費負担者の死亡、病気(3ヶ月以上の治療を要し、勤務できない場合)、失職、破産、倒産、自然災害の被災等により家計が急変し、生活に困窮するに等しい者(収入を合算した金額が専ら発生前の2分の1以下程度に減少することが見込まれ、かつ東京海洋大学授業料免除徴収額等及び月別納付基準(以下「基準」という。))に適合するなど経済的に困難している者。	給付奨学金	最高250,000円					地域の制限なし	学生サービス 奨学係	併用可	併用可
修学支援事業資金貸付事業	入学後		学費支援	(資格者) 学部学生(留學生を除く)のうち、東京海洋大学授業料免除徴収額等及び月別納付基準に適合し、かつ申請年度に(大学等における)修学の支障をきたす事由(令和6年度は申請年度)及び入学前における修学の支障に関する法律施行規則(令和元年度科学省令第9号。以下「修学支援法等」という。))に基づく授業料等減免申請を行った者。 但し、申請年度に修学支援法等に基づく授業料等減免を受けた者を除く。	給付奨学金	1人あたり10万円					地域の制限なし	学生サービス 奨学係	併用可	併用可	
お茶の水女子大学	入学金・授業料減免制度	その他	入学料減免・入学手續料 授業料減免・在学中に各年度2回(前期・後期)	入学金・授業料減免	(入学料減免) ・入学料の納付が難しく困難であり次のいずれかに該当する学部生 (1)進学行政法人日本学生支援機構の給付型奨学金の給付対象となる者 (2)入学前1年以内において、家計の急変事由がある者 (授業料減免) ・経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績優秀と認められる学部生 ・独立行政法人日本学生支援機構の給付型奨学金の給付対象となる学部生	免除・減免	入学料・授業料の全額又は一部			入学料減免・入学手續料 授業料減免・在学中に各年度2回(前期・後期)	減免対象人数について規定無し	学生・キャリア支援課	併用可	併用可	
	みがかずば奨学金	その他	入試直前(9月)	用途を定めない経済的支援	①日本の高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者 ②当該年度の月に本学前期1年生に入学する予定の者で、本学に強く入学を志望する者 ③成績、人物ともに優秀で、大学進学において経済的支援が必要と認められる者 (①～③のすべてを満たす者)	給付奨学金	60万円(1人あたり30万円)		2年間	20名	地域の制限なし	学生・キャリア支援課	併用可	条件有り併用可	
	小澤美奈子奨学金	その他	入試直前(9月)	用途を定めない経済的支援	①日本の高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者で、引き続き本学理学部各学科、生命科学部食物栄養学科若しくは共創工学部各学科に強く入学を志望する者又は本学前期3月に卒業見込みの者で、引き続き本学大学院博士前期課程ライフサイエンス専攻、理学専攻若しくは生活工学専攻等に強く入学を志望する者 (①～③のすべてを満たす者) ②成績、人物ともに優秀で、大学又は大学院において修学上経済的支援が必要と認められる者 (①～②のすべてを満たす日本国籍を有する者)	給付奨学金	100万円(1人あたり25万円)		4年間	2名		地域の制限なし	学生・キャリア支援課	併用可	併用可
東京大学	東京大学さつき会奨学金	その他	本学一般入試・推薦入試出願予定の11月上旬(予定)	用途を定めない経済的支援	申請資格 本学一般入試・推薦入試出願予定者で下記項目全てに該当する女子。 (1)日本の高等学校又は中等教育学校を卒業見込みの者、高等専門学校第3学年を修了した者又は修了見込みの者。 (2)本学前期1年生に入学予定の者で、本学に強く入学を志望する者。 (3)本学大学院(自然科学系)に入学予定の者で、自宅から大学までの通学時間が有利特恵を利用しない場合に、徒歩を以て1時間30分以上。 (4)成績、人物ともに優秀(調査書の学習成績欄がA以上)で、大学進学において経済的支援が必要と認められる者。 (5)卒業見込みの高等学校長等(以下「学校長」という。)が推薦する者。 (6)入学後にさつき会が行う面談(年に1回を予定)に出席でき、さつき会の活動に積極的に参加できる者。 ※詳細は本学ホームページの下記を参照 https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/welfare/h02_12.html	給付奨学金	①月額2万円 ②入学時に入学支援金(30万円)を支給			①学士課程における標準修業年限の期間 ②入学時に1回限り	若干名	地域の制限なし	東京大学教育・学生支援部奨学課奨学課 2人入学時に1回限り	併用可	併用可
	東京大学新学生奨学金	その他	出願する年度の1月中旬～下旬(予定)	用途を定めない経済的支援	申請資格 本学一般入試・推薦入試出願予定者で下記の項目すべてに該当する者。 (1)日本の高等学校又は中等教育学校を卒業した者または卒業見込みの者、高等専門学校第3学年を修了した者または修了見込みの者、(高等学校卒業程度認定試験合格者を含む)。 (2)本学前期1年生に入学予定の者で、本学に強く入学を志望する者。 (3)成績、人物ともに優秀(調査書の学習成績欄がA以上)で、大学進学において経済的支援が必要と認められる者。 (4)卒業(見込み)の高等学校長等(以下、「学校長」という。)が推薦する者。 ※詳細は本学ホームページの下記を参照。 https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/welfare/h02_18.html	給付奨学金	年額50万円		入学後1年間	2名		東京大学教育・学生支援部奨学課奨学課 2人入学時に1回限り	併用可	併用可	
東京外国語大学	大学独自の授業料免除制度	入学後		入学金・授業料減免	高等教育の修学支援新制度の支援対象とならない者で、学費負担者の死亡や風水害の被災といったやむを得ない事由による申請に対して授業料免除を実施する。 以上の授業料免除については1年～4年生の全学年を対象、前半期の授業料免除申請は4月初旬、後半期の授業料免除申請は10月初旬にそれぞれ大学ウェブサイトに申請を開始すること。	免除・減免	全額免除・半額免除。		前半期と後半期に分けて授業料免除を実施	人数の制限はないが、予算の範囲内で実施する。	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用可	
東京芸術大学	学芸むさしの奨学金(緊急支援)	随時		用途を定めない経済的支援	家計支持者の死亡、重病者しくは重大な事故等により家計が急変し、または災害救助法、天災融資法等の適用を受ける地震・火災・風水害等の被害若しくはこれら以外の災害に準ずる程度の被害により家計が急変し、修学が困難になった者	給付奨学金	30万円又は15万円		1事由につき1回限りの給付	若干名(予算の範囲内)	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	学芸むさしの奨学金(学費支援)	その他	1年生～4年生(各学期に申請)	学費支援	学部学生のうち、国の「高等教育の修学支援新制度」の家計基準・学業成績基準を満たしているにもかかわらず、年齢要件や再申請不可などの理由により、同制度の支援を受けられない学生。	給付奨学金	半期10万円	1回限り	(各学期に申請)	半期16名程度	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
東京農工大学	東京農工大学派遣留學奨学金	入学後		学費支援	(1)本学に在学する3年次(共同教養学科は4年次)以上の学部学生 (2)本学の大学院博士課程又は博士後期課程への強い進学意思のある者 (3)外部機関が主催する奨励金決定試験の結果が一定基準以上の者 (4)学業成績が優秀であると認められる者(授業料免除基準に準ずる。) (5)経済的支援が必要と認められる者(授業料免除の全額免除の基準に準ずる。)	給付奨学金	月額10万円		大学院博士課程修了まで	毎年2名	地域の制限なし	学務課	併用可	併用可	
	一橋大学	学業優秀学生奨学金	その他	大学が決定するため申請は不可	特待生・成績優秀者	前年度中に優秀な成績を修め、かつ、人物的に優れた者(原則として、各学部2年～4年の各1名に1年間支給)	給付奨学金	月額53,580円		1年間	各学部各学年1名	地域の制限なし	学部制学生支援課奨学事業係	併用可	条件有り併用可
一橋大学	オデッセイコミュニケーションズ奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援	日本国籍を有し、経済的困難度が高く、かつ、学業優秀、心身ともに健全で、一橋大学国際学生宿舎に居住する学部学生(毎年夜間千名・1回限り)	給付奨学金	月額50,000円		1年間	若干名	地域の制限なし	学部制学生支援課奨学事業係	併用可	併用不可	
	小林輝之助記念奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援	学業、人物ともに優秀であり経済的理由により修学が困難な日本国籍を有する学部学生(毎年度4名・標準修業年限まで)	給付奨学金	月額50,000円		標準修業年限まで	4名	地域の制限なし	学生支援課奨学事業係	併用可	併用不可	
	入学料免除	入学手續料		入学金・授業料減免 被災者資金支援	【対象】 ①学部に入学者で、入学前1年以内において、学費負担者が死亡し、又は本人若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けたことにより納付が難しく困難な場合 ②上記①に準ずる場合であって、相当と認められる事由がある場合	免除・減免	入学料(282,000円)の全額または半額を免除				地域の制限なし	学部制学生支援課奨学事業係	併用可	併用不可	
	経済的困難者及び災害被災者に対しての検定料免除制度	学校出願時		被災者資金支援	【免除対象となる入学希望者】 一般課程、学校推薦型選抜、外国学校出身者選抜 【免除の対象】 (1)主たる家計支持者が給与所得者(公的年金受給者を含む。)の場合は、入学希望年度日の前年総収入金額が400万円以下である場合。主たる家計支持者が給与所得者以外の場合は、入学希望年度日の前々年度の所得金額が218万円以下である場合 (2)主たる家計支持者が災害救助法適用地域において、入学希望年度日の1年以内に被災した場合 (3)②に準ずる場合であって学長が相当と認める事由がある場合	免除・減免	検定料(17,000円)を免除				地域の制限なし	入試課入試係	併用可	併用可	
	一橋大学海外派遣留學奨学金	入学後		留學費用支援制度	一橋大学海外派遣留學制度内定者	給付奨学金	滞在費・派遣先国・地域に応じて月額6～10万円 留學準備金 20～30万円		派遣留學期間(12ヵ月以内)	年間12名程度	地域の制限なし	教務課留學支援係	条件有り併用可	条件有り併用可	
	グローバルリーダー育成海外留學奨学金	入学後		学費支援 留學費用支援制度	グローバルリーダー育成海外留學制度内定者	給付奨学金	留學準備金、派遣先大学の授業料および寮費相当額		留學期間中	年間4名以内	地域の制限なし	教務課留學支援係	併用不可	条件有り併用可	
	経海外留學支援資金	入学後		留學費用支援制度	①告知期間中の高等学校出身かつ学業優秀な学部学生 ②外国の高等教育機関へ半年(半年間)または1年間(1年間)派遣される者	給付奨学金	半留學費(半年間):100万円 通年留學(1年間):200万円			年間10名上限		告知係	教務課留學支援係	併用不可	併用不可
	一橋大学基金短期留學研修奨学金等	入学後		研修支援制度 留學費用支援制度	本学が実施する短期留學プログラムに参加する者	給付奨学金	研修費用総額の20%相当			年間160名程度		地域の制限なし	教務課留學支援係	条件有り併用可	条件有り併用可
	桐原忠幸基金海外留學支援資金	入学後		研修支援制度 留學費用支援制度	海外語研修(英語)及び一橋大学海外派遣留學制度に参加する学部生で、学業優秀で、かつ経済的支援が必要な者	給付奨学金	①海外語研修(英語):研修費用総額の約30% ②一橋大学海外派遣留學制度:留學準備金(40～60万円)、滞在費(月額6～10万円)		①1回の支給 ②留學準備金は1回の支給、滞在費は留學期間中	年間20名程度		地域の制限なし	教務課留學支援係	併用不可	条件有り併用可
	サマースクール奨学金	入学後		研修支援制度	サマースクール等留學制度内定者	給付奨学金	プログラム費用の20%		1回限り		年間35名程度	地域の制限なし	教務課留學支援係	併用可	条件有り併用可

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によつて(4)対象学部・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学部・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否		
横浜国立大学	横浜国際交流会館	その他	2月上旬から2月中旬	寮制度	対象：学部、大学院の新生および在学が対象 入居期間：2年以内 ※世帯収入600万円以下（給与収入）、492万円以下（給与外収入）の者を優先する		その他	資料 5,700円/月 共益費 5,130円/月 ※共益費にはインターネット代を含む。 ※電気代、水道代は別途負担。			地域の制限なし	学部・国際戦略部学生支援課学生支援係	条件有りて併用可	条件有りて併用可		
	大岡インターナショナルレジデンス	随時		寮制度	対象：資格、本学学生・特になし 入居期間：修業年度		その他	【ワルルーム】 資料 33,000円/月 共益費 11,000円/月 入居一時金 55,000円 ※共益費にはインターネット代、水道代を含む。 ※電気代、コインランドリー、シャワー代は別途負担。 【1F】 資料 60,000円/月 共益費 7,350円/月 入居一時金 66,000円 ※共益費にはインターネット代を含む。 ※電気代、ガス代、水道代は別途負担。			地域の制限なし	学部・国際戦略部学生支援課学生支援係	併用可	併用可		
	常盤台インターナショナルレジデンス	その他	2月頃にウェブサイトで見学予定	寮制度	対象：資格、本学学生・特になし 入居期間：修業年度		その他	【シェアユニットタイプ】 資料 32,500円/月 共益費 6,300円/月 水道光熱費 15,510円/月 入居一時金 55,000円 【プライベートタイプ】 資料 43,500円/月 共益費 6,300円/月 水道光熱費 15,510円/月 入居一時金 55,000円 ※水道光熱費には電気・ガス・水道・インターネット代を含む。			地域の制限なし	学部・国際戦略部学生支援課学生支援係	併用可	併用可		
	YNU大塚奨学金	在学中	学部2年生	用途を定めない経済的支援	本学の学部の正規課程に在籍する2年生の日本人学生(外国人留學生は対象外)で、成績優秀かつ経済的理由により修学が困難な者を対象とする。原則として、他の給付型奨学金との併給は不可とするが、高等教育の修学支援機構給付奨学金については併給を可とする。奨学生に採用された場合に、大学が開催する「目録型奨学金」等に参加することを義務とする。		給付奨学金	50,000円/月額		学部卒業までの3年間支給。引き続き本学大学院修士(博士前期)課程に進学する場合、修士(博士前期)課程2年間も支給。継続審査あり。	採用人数 4～5名	地域の制限なし	学部・国際戦略部学生支援課経済支援係	併用可	併用不可	
	Y60奨学金(シャトージョット奨学金)	在学中	全年	留学費用支援制度	本学に在籍する学部生および大学院生	成績、家計の基荷		給付奨学金	50,000円/名	1回限り	予算による	地域の制限なし	学部・国際戦略部グローバル推進課留学交流係	併用不可	条件有りて併用可	
	国際学術交流奨励事業(国際会議等出席・海外調査研究等)	在学中	全年	研修支援制度 研究費支援 課外活動支援制度	本学に在籍する学部生および大学院生			給付奨学金	100,000円・150,000円・200,000円(地域により異なる)・30,000円(オンライン参加)	1回限り	予算による	地域の制限なし	学部・国際戦略部グローバル推進課留学交流係	併用可	条件有りて併用可	
	YNU竹井孝子記念奨学金	在学中	学部1年生	用途を定めない経済的支援	本学の学部の正規課程に在籍する1年生の日本人女子学生(外国人留學生は対象外)で、母子父子家庭または困難のない家庭の中で、成績優秀かつ経済的理由により修学が困難な者を対象とする。原則として、他の給付型奨学金との併給は不可とするが、高等教育の修学支援機構給付奨学金については併給を可とする。奨学生に採用された場合に、大学が開催する「目録型奨学金」等に参加することを義務とする。			給付奨学金	50,000円/月額	学部卒業までの4年間支給。継続審査あり。	3名	地域の制限なし	学部・国際戦略部学生支援課経済支援係	併用可	併用不可	
	横浜国立大学交換留学(派遣)奨学金	在学中	どの学年でも支給可。交換留学に派遣される時に支給。	留学費用支援制度	本学に在籍する学部生および大学院生			給付奨学金	6～8万円/月(日本学生支援機構海外協定派遣の金額と地域に準ずる)	派遣期間	予算範囲内による(JASSO採択がなかったときのみ)	地域の制限なし	学部・国際戦略部グローバル推進課留学交流係	併用不可	併用不可	
	新生入スタートアップ支援金	その他	入学時のみ3～4月初旬募集	用途を定めない経済的支援	本学の学部の正規課程に入学する1年生の日本人学生(外国人留學生は対象外)で、成績優秀かつ経済的理由により修学が困難な者(当年度の、世帯年収が?1万円未満(税込)の世帯者)を対象とする。他の奨学金との併給は可。			給付奨学金	150,000円/1回	1回限り	20名程度	地域の制限なし	学部・国際戦略部学生支援課経済支援係	併用可	併用可	
	八幡わじ・熱木建吾奨学金	在学中	学部2年生、修士(博士前期)課程1年生	用途を定めない経済的支援	学部または大学院の正規課程に在籍する日本人学生(外国人留學生は対象外)で、以下の条件を満たしており、成績優秀かつ経済的理由により修学が困難な者を対象とする。 ・学部：経済学部、経営学部、都市科学部都市社会共生学部の2年生 ・大学院生：大学院修士(博士前期)課程1年生または工学部、理学院理学部、都市イノベーション学部の博士課程前期1年生 原則として、他の給付型奨学金との併給は不可とするが、高等教育の修学支援機構給付奨学金については併給を可とする。奨学生に採用された場合に、大学が開催する「目録型奨学金」等に参加することを義務とする。			給付奨学金	50,000円/月額	学部生・学部卒業までの3年間支給 大学院修士(博士前期)課程に進学する場合、修士(博士前期)課程2年間も支給。いずれも継続審査あり。	3名	地域の制限なし	学部・国際戦略部学生支援課経済支援係	併用可	併用不可	
横浜国立大学学術交流奨励事業(交換留学派遣学生奨学金)	在学中	どの学年でも支給可。交換留学に派遣される時に支給。	留学費用支援制度	本学に在籍する学部生および大学院生			給付奨学金	100,000円	派遣期間に問わず1～1年1回のみ	10名以内(令和3年度予定)	地域の制限なし	学部・国際戦略部グローバル推進課留学交流係	併用不可	併用不可		
上越教育大学	上越教育大学(びきの)奨学金	入学後		学費支援	日本学生支援機構の給付奨学金を除く、授業料免除選考基準に該当する1～4年生の学校教育学部学生を対象とする。		給付奨学金	前期・後期各 80,000円。	前期・後期 各1回	10人程度	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	条件有りて併用可		
長岡技術科学大学	1年入学特待生(VOS特待生、スーパーVOS特待生)	在学中	学部第1学年に入学し、第3学年に進級する者で、学内推薦による。	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		①VOS特待生：学部1年次及び2年次の成績が極めて優秀で、課程主任が推薦する者で、かつ、大学院修士課程に進学する意欲があると認められる者。 ②スーパーVOS特待生：VOS特待生のうち、特に学業成績が優秀で大学院博士後期課程まで進学する意欲があると認められる者。	免除・減免	①VOS特待生：学部3年次から2年間の授業料半額不徴収 ②スーパーVOS特待生：学部3年次から大学院修士課程までの授業料半額不徴収、博士後期課程進学後は授業料全額不徴収。大学院修士課程進学時の入学料全額不徴収	なし	①VOS特待生：毎年度各名 ②スーパーVOS特待生：毎年度VOS特待生のうち若干名	地域の制限なし	学生支援課奨学支援係	併用可	併用可		
	3年入学特待生(VOS特待生、スーパーVOS特待生)	学内出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		①VOS特待生：高等専門学校3年次または4年次の成績が極めて優秀(学内順位が1/3以下)において上位5%以内)であつて出身高等専門学校が推薦した者で「大学院修士課程」または「5年一貫制修士課程」に進学する意欲があると認められる者。 ②スーパーVOS特待生：VOS特待生のうち、高等専門学校の3年次及び4年次の学内順位が2割以下かつ上位5%以内の者で「大学院博士後期課程」または「5年一貫制修士課程」に進学する意欲があると認められる者	免除・減免	①VOS特待生：入学後2年間の授業料半額不徴収、学部入学料全額不徴収 ②スーパーVOS特待生：学部3年次から大学院修士課程までの授業料半額不徴収、博士後期課程進学後は授業料全額不徴収。大学院入学料全額不徴収。大学院修士課程進学時の入学料全額不徴収	なし	①VOS特待生：毎年度20名 ②スーパーVOS特待生：毎年度VOS特待生のうち、10名を上限とする。	地域の制限なし	入試課入学試験第1係、学生支援課奨学支援係	併用可	併用可		
	長岡技術科学大学基金奨学金	その他	当該事由が発生してから原則6か月以内	その他	家計急変による経済的支援	次のいずれかに該当し、給付することが適当であると学長が認めた者 ・学費を主として負担している者(以下「学費負担者」といふ)が死亡(本人が学費負担者である場合を除く)又は破産した者 ・学費負担者の家庭が、地震、水害、火災等により、全壊、大規模半壊、半壊、床上浸水、全壊又は半壊のいずれかに該当した者	給付奨学金	被災等の程度により、給付額を決定(最大60万円)	同一の事由による申請は1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援課奨学支援係	併用可	併用可		
	長岡技術科学大学基金経済的支援を必要とする入学料免除選考者に対する修学支援給付金	入学手続時		学費支援	入学料免除を許可された者に、家計評価額が低く、当該家計評価額の同額者多数により免除を許可されなかった者			給付奨学金	10万円	当該年度の入学料免除選考結果後 1回	未定	地域の制限なし	学生支援課奨学支援係	併用可	併用可	
	長岡技術科学大学基金ゼロワン研究所奨学金	在学中	学部第3年次で、課程主任の推薦による	学費支援				給付奨学金	月額4万円		学部3年次の10月から学部を卒業するまでの1年6か月	毎年度1名	地域の制限なし	学生支援課奨学支援係	併用可	併用可
	新潟大学	輝け未来！新潟大学入学応援奨学金	その他	申請期間：令和5年9月28日(月)～11月24日(金)	寮制度 用途を定めない経済的支援		高等学校(中等教育学校を含む)を令和4年3月卒業見込みの者で、次の1～4の条件すべてを満たす者 1 令和5年度1学期又は前期までの評定平均値が3.5以上の者 2 新潟大学の総合型選抜、学内推薦型選抜、または一般選抜(前期型)に出願し、合格した場合は入学を確約できる者 3 世帯の年収が前年における収入と同程度で計画的に収入を確保している者 4 本学の広報活動への協力や報告会等への参加が可能なる者	給付奨学金 その他	①40万円(用途を限定しないため、入学に費やす費用に広くお使いいただけます) ②学生数入居時の優先権(希望者のみ)	①1回限り(入学時に給付) ②入学時	50名	地域の制限なし	学部学生支援課奨学支援係	併用可	併用可	
新潟大学学業成績優秀者奨学金	その他	申請によつて、各学部長の推薦により学費が選考決定する	特待生・成績優秀者			新潟大学に在籍する第2年次以上の学部学生のうち、前年度に取得した単位数の合計が修業年間に卒業するために必要な標準修得単位数以上の者で、かつ、前年度の成績評価においてGPAの値(GPAを採用していない学部は、「履」以上の割合)に在籍する者として認められる者	給付奨学金	年度ごとに決定(参考：令和4年度の成績による令和5年度給付額・・・1名あたり10万円)	当該年度において、1回限り	各学部各年次から3名	地域の制限なし	学部学生支援課奨学支援係	併用可	併用可		
新潟大学修学支援賞与金	入学後		学費支援			新潟大学に在籍する学生(研究生、科目等履修生等の非正規学生を除く)のうち、家計事情等の理由により、一時的に必要な学費の支弁が困難となった者、またはそれに該当する者	貸与奨学金	5万円以上10万円までの範囲(無利子)	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学部学生支援課奨学支援係	併用可	併用可		
新潟大学修学応援特別奨学金	入学後		学費支援 被災者資金支援			新潟大学に在籍する学生(研究生、科目等履修生等の非正規学生を除く)のうち、次の1及び2のいずれにも該当する者 1 学費負担者の疾病、障害、事故、被災もしくは死亡等、または火災、風水害等の災害等により家計が急変したことに伴い、学業の継続が困難となった者 2 独立行政法人日本学生支援機構奨学基金の緊急採用奨学金または応急採用奨学金の申込みを行い、採用となつた者	給付奨学金	月額3万円		最長1年間(独立行政法人日本学生支援機構奨学基金の緊急採用奨学金または応急採用奨学金の貸与期間内に限る)	人数制限なし	地域の制限なし	学部学生支援課奨学支援係	併用可	併用可	
新潟大学神田奨学金	在学中	学部3年生または4年生(医学部医学科及び歯学部歯学科の学生は5年生または6年生) ※令和5年度の募集はありません。	学費支援			以下の1～5の項目にいずれも該当すると認められる者 1 学費の経済的支援を必要としていること 2 新潟県出身で、以下の条件のいずれかに該当する学生であること イ 新潟地域での起業に強い意欲がある者 ロ 新潟地域の産業発展に強い意欲がある者 3 学部3年生または4年生(医学部医学科及び歯学部歯学科の学生は5年生または6年生) 4 前年次までに標準修得単位数以上を修得していること 5 給付期間中に新潟大学神田奨学金に該当する交流奨学金(年2回予定)に参加できる者	給付奨学金	月額5万円(毎年4月及び10月に6ヶ月分をまとめて支給)	1年間(審査により1年間を限度に更新する場合があります。)	3名程度	新潟県	新潟大学サポート課推進室	併用可	併用可		
入学料徴収猶予	入学手続時		入学金・授業料減免			新潟大学に入学する学生(研究生、科目等履修生等の非正規学生としての入学者を除く)のうち、以下1～3のいずれかに該当し、願ひ出た者 1 経済的理由によつて納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者 2 入学前1年以内において、学費負担者が死亡し、または本学に入学する者もしくは学費負担者が風水害等の災害を受けたことにより、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者 3 その他やむを得ない事情があると認められる者	免除・減免	入学料の徴収を猶予	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学部学生支援課奨学支援係	併用可	併用可		
授業料徴収猶予	入学後		入学金・授業料減免			新潟大学に在籍する学生(研究生、科目等履修生等の非正規学生を除く)のうち、以下1～4のいずれかに該当し、各期ごとに願ひ出た者 1 経済的理由により納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合 2 学生もしくは学費負担者が風水害等の災害を受け、納付が困難であると認められる場合 3 行方不明の場合 4 その他やむを得ない事情があると認められる場合	免除・減免	授業料の徴収を猶予(前期間は9月15日まで、後期間は3月10日まで徴収を猶予する)	該当期ごとに1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学部学生支援課奨学支援係	併用可	併用可		
授業料免除(コロナ緊急対策)	入学後		入学金・授業料減免			新潟大学に在籍する学生(研究生、科目等履修生等の非正規学生を除く)のうち、以下の基準をすべて満たす者 1 国内地方公共団体(新潟県)から感染症の発生拡大による収入減少が認められる者等を支援対象として実施する公的支援の受給証明書の提出が完了した者、または家族支援者(父母等)の一方または両方の歳入が前年同月分の所得または収入を4割以上減少し、令和元年度分、令和2年度分もしくは令和3年度分の所得と比較して1/2以下となっていること 2 専ら学生生活の維持に必要とする通常の授業料免除の累計基準の範囲内となっていること ※ 学力基準を満たす必要はありません	免除・減免	全額免除または半額免除	該当期ごとに1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学部学生支援課奨学支援係	併用可	併用可		
授業料免除(特定災害時)	入学後		入学金・授業料減免			新潟大学に在籍する学生(研究生、科目等履修生等の非正規学生を除く)のうち、以下の1及び2～5のいずれかに該当する者 1 以下のいずれかの災害により被害を受け、市町村等の発行する「震災証明書」が提出できる者 ・ 東日本震災 ・ 平成二十八年熊本地震 ・ 平成三十年五月二十日から七月十日までの間の豪雨及び暴風雨による災害 ・ 平成三十年新潟県内地震 ・ 令和元年八月十三日から九月二十日までの間の暴風雨及び豪雨による災害 ・ 令和元年十月一日から同月二十六日までの間の暴風雨及び豪雨による災害 2 1の災害により、自身または主たる学費負担者の居住する住宅に被害が生じたことにより、震災証明書に「半壊」以上の認定を受けた場合に限り。 3 1の災害により、主たる学費負担者が死亡した。または申請時点において行方不明である者 4 1の災害により、主たる学費負担者の勤務または自営する企業等が休業等となり、収入・所得が災害発生前を大きく下回つた者 5 1の災害により、自身または主たる学費負担者の居住地が指定区域または計画的避難区域に指定され、避難を余儀なくされた者	免除・減免	全額免除または半額免除	該当期ごとに1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学部学生支援課奨学支援係	併用可	併用可		

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によつて(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
金沢大学	金沢大学留学支援制度スタディアワード奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援 派遣定めない経済的支援 留学費用支援制度 その他	奨学金獲得のための旅費支援	・大学院研究交流枠(派遣) 本学に在籍する大学院正課生で、学修、研究及びラボローテーション等で海外へ連続し、本学が定める機関に所属する研究者と研究交流を企画 ・学域・大学院派遣枠 本学に在籍する正課生で、本学の公式海外派遣プログラムの参加者、或いは、公式海外派遣プログラムと同等である国際担当理事が認める海外研修等に参加する者(※単位認定を伴うものに限る)、又は、派遣留学制度を利用しない海外の高等教育機関に学部専攻で年内に留学する者 ・外部奨学金獲得支援枠 本学に在籍する正課生で、外部奨学金の書類選考等に選抜され、面接試験等に際して旅費が必要となる者 ・在籍延長支援枠 本学に在籍する正課生で、留学許可を得て海外留学することによって、標準修業年限を超えて在籍する必要がある者 ・派遣留学報告会アワード:本学派遣留学生で、派遣留学報告会において優秀な発表を行った者	給付奨学金	・大学院研究交流枠(派遣):7日以内は5万円、8日以上は連続都市により月額6~10万円を別途定める期間(最長1年) ・学域・大学院派遣枠:別途定める条件及び連続都市により月額5~10万円を別途定める期間(最長1年) ・外部奨学金獲得支援枠:交通費相当額 ・在籍延長支援枠:在籍延長期間により最大50万円(1回限り) ・派遣留学報告会アワード:1位5万円、2位3万円、3位2万円	(5)金額を参照のこと	未定(年度予算による)	地域の制限なし	国際部留学企画課	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	緊急学生支援金	その他	貸与を希望する月	学費支援 派遣定めない経済的支援 旅費者資金支援 救済支援		家計急変により経済的に困難している本学正課生学生	貸与奨学金	学生1人あたり、上限10万円(申請時点で授業料未納者には上限25万円)を無利子・無保証人で貸与	1回	未定	地域の制限なし	学務部学生支援課学生支援係	併用可	併用可	
	融合学域入試成績優秀者修学支援制度(社会人修学支援)	学校出願時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		融合学域学生対象 入学者選抜試験(3年次編入入学試験を含む。)の社会人選抜において優秀な成績で合格した社会人	免除・減免	・入学金(282,000円)の全額免除 ・授業料(535,800円/年)の全額免除	4年間(標準修業年限) ※3年次編入学生は2年間	毎年、入試成績優秀者1名 ※3年次編入入学試験受験者も1名を含む	地域の制限なし	金沢大学融合系事務部学生課学生係	併用可	併用可	
	理学・作業療法ダブルプロフェッショナルプログラム	その他		①検定料返付 入学後 ②入学金免除・申請不要 ③授業料免除・申請不要	入学金・授業料減免 その他	検定料返付	①検定料返付 ②入学金免除 ③授業料免除	①検定料返付 検定料相当額 ②入学金免除 入学金相当額 ③授業料免除 授業料相当額	①検定料返付:1回限り ②入学金免除:1回限り ③授業料免除:標準修業年限内	①検定料返付:1学年5名を上限 ②入学金免除:1学年5名を上限 ③授業料免除:1学年5名を上限	地域の制限なし	医薬保健系事務部保健学支援課保健学係	併用可	併用可	
山梨県・由美子能登復興支援基金奨学金	その他	申請期間:令和6年6月19日(水)から 令和6年6月21日(金)まで		被災者資金支援		・令和6年能登半島地震による被災内容がのいづれかに該当する本学の正課生学生 1. 学費負担者が死亡又は行方不明 2. 学費負担者の居住する自宅が被災が被害	給付奨学金	1. 学費負担者が死亡又は行方不明:40万円(20万円×2回(学期ごと)) 2. 学費負担者の居住する自宅が被災:①半壊以上は40万円(20万円×2回(学期ごと))②半壊又は一部損壊は5万円(1回限り)	(5)金額を参照のこと	人数制限なし	地域の制限なし	学務部学生支援課学生支援係	併用可	併用可	
福井大学	福井大学学生協奨学金	その他	毎年10月頃	学費支援		令和2年度以降入学の学部学生(留学生を含む)で、高等教育の修学支援新制度の対象外となった者のうち、困難度の高い世帯の学生を対象とする。	給付奨学金	1人当たり10万円を支給する	一括支給	毎年度当初に決定する	地域の制限なし	学務部学生サービス課	併用不可	併用可	
	福井大学学生修学支援奨学金	その他	毎年10月頃	学費支援		令和2年度以降入学の学部学生(留学生を含む)で、高等教育の修学支援新制度の対象外となった者のうち、困難度の高い世帯の学生を対象とする。	給付奨学金	1人当たり10万円を支給する	一括支給	毎年度当初に決定する	地域の制限なし	学務部学生サービス課	併用不可	併用可	
	福井大学基金予約奨奨学金	その他	毎年11月頃		用途を定めない経済的支援		以下(1)~(4)のすべてを満たす者 (1)日本の高等学校又は中等教育学校を令和6年度に卒業見込みの者 (2)令和7年度前期卒業見込み、総合型選抜、学校推薦型選抜1、学校推薦型選抜2、一般選抜(前期日程・後期日程)の選抜試験に出願又は出願予定の者で、本学に入学を志望する者 (3)成績・人物も優秀であり、学校長の推薦が得られる者で、大学進学において経済的支援が必要と認められる者 (4)生計維持者(父兄又は父兄に代わって生計を支えている者)※1の令和6年度の所得が50万円以下である者 ※1 生計維持者とは、原則父兄(いづれかいない場合は1人)です。ただし、父兄がい無い場合は代わって生計を支えている人となります。 ※2 所得とは、令和6年度所得証明書の「令和5年度合計所得金額」の額とします。	給付奨学金	30万円	一括支給	10名程度	地域の制限なし	学務部学生サービス課	併用可	併用可
	福井大学学生海外派遣支援金	その他	随時受付(但し、原則としてプログラム参加1カ月前まで申請期間とする。)	留学費用支援制度		次のすべての条件を満たす者 (1)本学の正規課程に在籍している者 (2)前年度の成績評価係数が90/300以上の者 (3)2024年度(2024/4/1~2025/3/31)に留学する者 (4)海外派遣学生を対象とした他の支援(奨学金等)の受給額が5万円以内の者 (5)本学の海外研修プログラム及び交換留学に参加する者 (6)推薦・推薦状の取得済みの者 (7)帰国後に、本学の国際交流に協力できる者 (8)2024年度の年齢は1人目のみとする。 (9)日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度奨学金との併給不可 (10)各年次に申請すべき単位数を満たしていること(支援金支給の際の参考とする) 単位数の詳細については、教務課国際課 (11)指定された期限までに申請手続きを行い、国際課に申請書等を提出すること (12)帰国後10日以内に所定の報告書提出すること (文書等に告知する場合は要しない) (13)上記の申請資格及び条件並びに下記の支援額に定めるもののほか、その他必要な事項はグローバル・エンゲージメント推進本部が別に定める	給付奨学金	(海外研修プログラム・交換留学(渡航型)) 支給金額:留学期間および、派遣先国・地域により異なる 留学期間:6ヶ月以上・15万円 ・1学期以上の交換留学:24週以上の連続(期間には連続日を含む)等 ・6か月以上の専攻課・*12万円 原則日以上の3か月未満、指定都市(3万円)、甲地域(7万円)、乙地域(5万円)、丙地域(3万円) ※地域は日本学生支援機構海外留学支援制度に準ずる	各学生へ、海外留学終了後、一括支給。 ※年度内の支給は、1人1回ののみ	特に制限はないが、予算の範囲内で例年適宜対応。	地域の制限なし	学務部国際課	併用可	条件有りで併用可	
福井大学自然災害被災学生への修学支援金	その他	自然災害による申請事由の発生月の翌月から起算して6ヶ月の期間内	被災者資金支援		本学に在籍する学部生及び大学院生(非正規生を除く)で、在学中に発生した自然災害により被害を受け、以下の(1)~(3)のいずれかに該当する理由により、修学の継続が困難となった者 (1)学生本人又はその学費負担者が居住する日本国内の住宅が全壊、半壊、流出、床上浸水、床下浸水(ただし、住宅の修繕費が50万円を超える場合に限る。)又はこれに準ずる被害を受けた場合 (2)学費負担者が、災害により発生した行方不明となった場合 (3)(1)又は(2)に準ずる場合であって、相当と認められる理由がある場合 ※入学前・休学中に発生した災害は対象外。 ※成績不振等により授業に出発していない者は、対象外。	給付奨学金	10万円	支援回数は一回の災害につき1回	人数制限なし	地域の制限なし	学務部学生サービス課	併用可	併用可		
福井大学学生海外派遣渡航支援金	その他	随時受付(但し、原則としてプログラム参加まで申請期間とする。) 最終締切は毎年2月末とする。	留学費用支援制度		①本学の正規課程に在籍する者(ただし、外国人留学生は除く) ②日本学生支援機構海外留学支援制度(協定型)奨学金又は福井大学学生海外派遣支援金の申請資格及び要件を満たす者 ③本学授業料免除の対象者、又は明らか理由で授業料免除対象外であるが、授業料免除対象家計基準を満たす者 ④在籍する学部・研究科の学部長又は研究科長の推薦がある者	給付奨学金	①往復航空券料×0.8(1万円未満切り捨て) ②支援額の上限を20万円とする。 ※往復航空券料とは、航空券、諸税、燃油サーチャージ、取扱手数料の合計とする。 ※基準となる航空券は購入時のものとし、運路日変更にかかった費用などは含まない。 ※支援対象はエコノミークラスを使用する場合のみとし、預け荷物の重量超過料金その他のオプション追加料金は含まない。	1回限り	予算の範囲内で適宜対応	地域の制限なし	学務部国際課	併用可	併用可		
山梨大学	山梨大学特別待遇学生制度	その他	各学部の最終学年に在籍し、学業、人物ともに優秀である者を各学部において選考。	特待生・成績優秀者	学業成績が特に優れ、かつ人物優秀と認められる学部の最終学年に在籍する学生。	免除・減免		当該年度の半期分授業料の全額(267,800円)	1回限り、一括	教育学部2名、医学部4名、工学部7名、生命環境学部4名	地域の制限なし	教学支援部学生支援課	併用可	併用可	
	山梨大学成績優秀者表彰	その他	各学部の2学年(医学部医学科は3学年)に在籍し、学業、人物ともに優秀である者を各学部において選考	特待生・成績優秀者	・学業成績が特に優れ、かつ本学学生の模範となると思われる者であること ・学部の3年生(医学部医学科4年生)であること ・成績基準は、課程又は科目における前年度までの学業成績が上位10%以内であること	給付奨学金	10万円	一括	教育学部2名、医学部4名、工学部7名、生命環境学部4名(令和6年度実施)	地域の制限なし	教学支援部学生支援課	併用可	併用可		
	山梨大学山勝屋グループ人材育成奨学支援金制度	その他	工学部:4月・9月の国際学会発表および海外選抜に於いて7月に発表、10月~3月の国際学会発表および海外選抜に於いて11月に発表。 医学部:随時	留学費用支援制度 課外活動支援制度		工学部 ・以下①~③が支援対象事業となる ① 学生海外派遣事業 ② 大学院生国際学会等参加支援事業 ③ 若手研究者海外派遣事業 医学部 ① 学生海外派遣事業 対象学年・学部 医学部生(留学生を除く) ・賞状・成績評定が10以上の者 が対象プログラム (1)本学と交流協定を締結している外国の大学へは本学が実施する海外研修または実習 (2)本学医学部で単位認定する海外で行われる臨床実習で、連続する21日以上の期間にわたり実施されるもの ② 大学院生国際学会等参加支援事業 ・対象年/学部:医学系大学院生 ・賞状・条件:募集年度中に指導教員等と共に海外の国際学会等に参加し、口頭またはポスター発表を行うこと	給付奨学金	工学部:実務地域・期間により、 ① 学生海外派遣事業6万円~20万円/件、 ② 大学院生国際学会等参加支援事業:万円~20万円/件 医学部 ① 渡航・留学期間によって異なる。(医学部の規程により併用が認められている奨学金を除く、他の助成を受ける場合、その金額が差し引かれる) ② 支給先によって異なる。(他の助成を受ける場合、その金額が差し引かれる)	定められた額を申請者の銀行口座へ振り込む。(支給は一回)	工学部 人数制限はないが、予算額と募集件数によって異なる。 医学部 ① 10人 ② 6人	地域の制限なし	工学部、工学城支援課教務グループ、医学部、医学城事務部学務課留學生担当	条件有りで併用可	条件有りで併用可	
	山梨大学海外留学支援プログラム事業	その他	12月~1月	留学費用支援制度		対象学年:全学年 対象となる留学:海外の本学協定大学等において本学主催のプログラムにおける学習又は研究することを目的とし、国際化推進委員会が承認したものである。 対象となる留学:に留学等を行い、派遣支援金の受給を希望し、本学に在籍する正規の学生で学部等が承認した者を対象とする。	給付奨学金	6か月以上の留学等を行う学生1人につき10万円 6か月未満の留学等を行う学生1人につき旅行地域により次の通りとする: A地域(シンガポールを除くアジア) 5万円 B地域(シンガポール、ブルーム、ハワイ、サンパ) 6万円 C地域(北米(北地域以外のアメリカ合衆国各地域、カナダ)、A及びB地域以外の地域) 7万円 D地域(その他の留学が支給される場合で、その奨学金等の総額が本派遣支援金を下回る場合には、奨学金等の総額と派遣支援金との差額を支給することができる。	期間はなく、1回の支給となる	該当年度の予算による	地域の制限なし	グローバル推進課	併用可	条件有りで併用可	
	山梨大学工業奨学基金制度	在学中	学年の指定なし	学費支援		山梨大学工業会に加入していること(支給決定後でも可) ・成績優秀でかつ授業料に困難している学生 ・在学中に経済的理由で学業の継続が困難な学生 ・工学部、生命環境学部、修士課程工学専攻、修士課程生命環境学専攻の学生	給付奨学金	30万円	一括	6~7人程度	地域の制限なし	工学城支援課	併用可	併用可	
	山梨大学大村記念基金奨学基金制度	その他		特待生・成績優秀者		・一般入試(前期日程)の受験者で、本学が認める特に優れた成績で合格し、かつ入学した者(医学部医学科、生命環境学部を除く) ・医学部医学科は年次生で、本学が認める特に優れた成績(1~4年生)を修めた者 ・生命環境学部は年次生で、本学が認める特に優れた成績(1~3年生)を修めた者 本学が認める特に優れた成績(1~3年生)を修めた者	給付奨学金	30万円	一括	18名以内	地域の制限なし	教学支援部学生支援課	併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを示しています。大学によつては(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
信州大学	信州大学知の森基金 入学サポート奨学金	その他	総合選抜、学校推薦型選抜は9月上旬、前期日程選抜は12月上旬	用途を定めない経済的支援		①日本の高等学校又は中等教育学校を2025年3月卒業見込みの者。 ②大学の総合選抜、学校推薦型選抜又は一般選抜(前期日程)に出席を予定し、合格した場合に入学することを確約できる者。 ③生計維持者の令和6年度の住民税課税標準額の合計が125万円(給与収入の目安は400万～500万円)以下である者。	給付奨学金	10～40万円 ※日本学生支援機構給付奨学金の採用状況により給付額が決定します	1回	20名程度	地域の制限なし	学生総合支援センター	併用可	併用可
	信州大学知の森基金 吉川建設奨学金	在学中	3年生及び4年生	用途を定めない経済的支援		工学部水環境・土木工学科及び建築学部の3年生及び4年生のうち成績上位者	給付奨学金	15～36.5万円	1回	12名	地域の制限なし	学生総合支援センター	併用可	併用可
	信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための学生への海外活動(交換留学)支援	その他	・1次募集締切:6月中旬 ・2次募集締切:1月上旬	留学費用支援制度		・本学の学生で、出国から帰国まで9ヶ月以上の期間を海外の大学に交換留学する者 ・在学1学期において、過去に本学での交換留学(協定派遣)奨学金その他の当該留学に係る民間奨学金等(給付型)の支援を受けていない者 ・令和6年度中に海外へ渡航し、留学を開始する者	給付奨学金	・150,000円/人(3ヶ月以上6か月未満) ・300,000円/人(6ヶ月以上1年未満)	1派遣につき1回支給	年間16名程度	地域の制限なし	国際部 国際企画課	併用不可	併用不可
	信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための学生への海外活動(短期)支援	その他	学生個人ではなくプログラム単位での応募 第1次募集締切:6月中旬 第2次募集締切:11月上旬	留学費用支援制度		①信州大学の正規課程に在籍する者 ②プログラムに参加し、グローバルな視野を広げたいと考えている者 ③同一課程において、過去に本学での交換留学(協定派遣)奨学金その他の当該留学に係る民間奨学金等(給付型)の支援を受けていない者 ④当該プログラムに係る支援費を受給しない者 ⑤英語を使用するプログラムについてはTOEIC400点相当以上のスコアを提出できる者 ⑥それ以外の言語を使用するプログラムについてはプログラム担当教員がそれ相応の語学力を持っていると証明できる者	給付奨学金	JASSOが定める支援地域区分に応じた支援額から1万円を引いた金額を支給する 指定都市 70,000円 甲地区 70,000円 乙地区 60,000円 丙地区 50,000円	1回限り	年間140名程度(予算の中で割り当て可能な人数への支援)	地域の制限なし	国際部 国際企画課	併用不可	併用不可
岐阜大学	岐阜大学応援奨学生	その他	・11月頃に次年度奨学生の募集開始 ・学部等による選考	特待生・成績優秀者		・学業成績が優秀で、人権等が保たれている者 ・岐阜大学の学生を除く在学生のうち、次年度引き続き在籍している学生	給付奨学金	月額3万円	1年間	12名	地域の制限なし	学務部学生支援課学生支援係	併用可	併用可
	岐阜大学短期留学(派遣)奨学金	その他	8/10月頃	留学費用支援制度		岐阜大学と学術交流協定を締結している外国の大学に留学する学生	給付奨学金	月額4万円(留学期間中)、15万円又は10万円(一括支給)	1年以内	大学全体で8名以内	地域の制限なし	学務部国際専任課留学支援室留学支援係	条件有り併用可	条件有り併用可
	岐阜大学短期海外研修奨学金	その他	2月・6月・10月	留学費用支援制度		外国の高等教育機関等で6か月未満の短期研修(語学研修、実習、短期プログラム等)を行う学部学生。	給付奨学金	最大9万円(一括)	1回限り	50名以内	地域の制限なし	学務部国際専任課留学支援室留学支援係	条件有り併用可	条件有り併用可
	ウエスタンデジタル奨学金	その他	・10月頃に次年度奨学生の募集開始	その他	障害のある学生が理系職種でキャリア形成を図ることに対しての支援	・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は障害手帳のいずれかを保有する正規生 ・医学部、工学部、応用生物科学部内の、次年度引き続き在籍している学生	給付奨学金	月額5万円	1年間	2名(大学院生含む)	地域の制限なし	学務部学生支援課学生支援係	併用可	併用可
静岡大学	成績優秀者に対する授業料免除制度	随時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		○対象 ①学士課程の第3学年 ②学士課程の第4学年 ③修士課程の第2学年 ④博士課程の学生 ○基準 本学が定める成績基準による	免除・減免	半期授業料(①～④)、入学料免除(④)	半期	①7名 ②6名 ③14名 ④授業料半期15名程度、入学料5名程度	地域の制限なし	学生生活課	併用可	併用可
	協定校等での海外留学支援金	在学中	留学終了後	留学費用支援制度		①協定校等での海外語学実習に参加した者(他機関から支援があった者を除く)(医学科5～6年) ②協定校等での基礎研究実習に参加した者(医学科2年) ③JWPA大学留学研修に参加した者(他機関から支援があった者を除く)(医学科、看護学科1～2年) ④JWPA大学留学研修で参加した者(他機関から支援があった者を除く)(医学科、看護学科1～2年) ⑤慶北大学看護大学での国際看護実習に参加した者(看護学科3年) ⑥メソバ大学看護センター看護学部での国際看護実習に参加した者(看護学科4年) ⑦国際サービス・トレーニングに参加した者(医学科4～4年)	給付奨学金	①3万円 ②2万円 ③3万円 ④4万円 ⑤2万円 ⑥5万円 ⑦3万円	一回の滞航に対して支給	対象者全員に支給される(①～⑦合わせて50名程度)	地域の制限なし	学務部国際化推進室留学係	併用可	併用可
浜松医科大学	浜松医科大学後援会貸付制度	在学中	1～6年次	用途を定めない経済的支援		新型コロナウイルス感染症拡大によりアルバイト休止・退職を余儀なくされた場合、生活維持が困難となった学部・全学年の学生に対する生活支援制度。	その他	貸付金は月額5万円以内(1万円単位)、無利子・無担保。	最長6か月間。	上限なし。	地域の制限なし	学務課学生支援係	併用可	併用可
	浜松医科大学後援会一時貸付金	在学中	1～6年次	用途を定めない経済的支援		学生生活において緊急時の出費(病気、怪我等で急にお金が必要になった場合、仕送りが遅れた時など)に際し、一時援助(貸し付け)を行う。	その他	貸付金の上限は5万円、無利子・無担保。	一回限り。	制限なし。	地域の制限なし	学務課学生支援係	併用可	併用可
	入学検定料免除	その他	出願前	その他	入学検定料免除	対象者 (1) 本学が実施する入学者選抜試験の志願者で、本人または主たる養育支持者が災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する者 ア 罹災が全壊、大規模半壊、半壊、流失のり実証書が得られる場合 イ 財・金等被害者が死亡又は行方不明の場合 (2) 居住地が福島第一原子力発電所事故により、警戒区域、計画的避難区域、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者	免除・減免	入学検定料(令和7年度入試:17,000円)	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	入試課入試試験係	併用可	併用可
	寄附料免除	随時	寄附制度	寄附料免除	学生寮に入寮している学生で、授業料免除を申請している者うち、授業料が全額免除となった場合。	免除・減免	寄附料の半額を免除する。				地域の制限なし	学生支援課 保健・栄養係	併用可	併用可
愛知教育大学	「愛知教育大学奨学金 ひらく」学費支援奨学金	随時	学費支援	学費支援		全学年対象 ・授業料免除を申請している中で家計基準の全額免除適格者のうち授業料を受けられなかった者 ・独立行政法人日本学生支援機構の給付奨学生のうち、廃止の際の支援区分が第1区分(本学)の学力基準を満たしている者。(ただし、廃止となった者の除却は、当該年度の1回に限る。)	給付奨学金	10万円を一括で支給 (大学院生で長期留学及び特別支援教育専攻科生は5万円)			地域の制限なし	学生支援課 奨学支援係	併用可	併用可
	「愛知教育大学奨学金 ひらく」緊急支援奨学金	随時	その他	特別な事情により家計が急変し、修学が困難になった者への支援	全学年対象 特別な事情により家計が急変し、修学が困難になった者への支援 ①学費を主として負担している者(以下「学費負担者」という。)が死亡した場合 ②学生又は学費負担者が火災、自然災害等の被害を受けた場合 ③学費負担者が会社の倒産、解雇等により失業した場合 ④学生又は学費負担者が大規模な災害により災害救助法適用地域において被災するなど、免除規程第18条第1項第3号に該当する場合	給付奨学金	給付額 10万円を一括で支給(ただし、申請者の属する世帯の経済困難度が高い場合は、20万円)			地域の制限なし	学生支援課 奨学支援係	併用可	併用可	
	ALIC協学支援基金奨学金(地域協働教育体験活動・多文化領域)	在学中	学部3～4年生(地域協働教育体験活動(多文化領域))の履修可能時期	留学費用支援制度		学部3～4年生で地域協働教育体験活動(多文化領域)の履修により海外へ渡航する者のうち、日本学生支援機構の給付奨学生または経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者	給付奨学金	選給先の地域・都市により、独立行政法人日本学生支援機構が実施する海外留学支援制度(協定派遣)により支給される奨学金月額を基に、本学が別に定める額	1回の履修につき1回まで	予算の範囲内	地域の制限なし	学生支援課 奨学支援係	併用可	併用可
	愛知教育大学未来基金(交流協定大学への留学希望学生に対する留学支援事業)	その他	交流協定大学への派遣留学応募時	留学費用支援制度		派遣留学生のうち成績上位者	給付奨学金	留学期間中 5万円/月	留学期間中(6ヵ月以上1年以内)	3名程度	地域の制限なし	国際企画課	併用不可	条件有り併用可
	優等学生支援奨励金(新入学生支援)	その他	入試成績優秀者が選出されるため、申請は不要です。	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		各入試区分の成績最上位者(学部1年次入試のみ)	給付奨学金	30万円	入学後1回限り	3名	地域の制限なし	学生課生活支援係	併用可	併用可
豊橋技術科学大学	特別優秀学生支援奨励制度(学部3年次編入学生支援)	学校出願時	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		学部3年次推薦入試合格者のうち支援希望者(高等専門学校全体の評定平均値が4.8以上、かつ、所属学科の4年次成績が上位10%)	給付奨学金	年額60万円または年額24万円(年2回に分けて支給)	2年間	20名程度	地域の制限なし	学生課生活支援係	併用可	併用可	
	優秀学生支援奨励制度(在学生支援)	その他	成績優秀者が選出されるため、申請は不要です。	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援		学業等の成績優秀者	給付奨学金	年額276,000円(年2回に分けて支給)	1年間	若干名	地域の制限なし	学生課生活支援係	併用可	併用可
	基金による奨学金	在学中	学部1年次～4年次	用途を定めない経済的支援		学部1年次～4年次の学生で、独立行政法人日本学生支援機構第一種奨学金奨学生かつ2024年度前期授業料免除採用者(申請中の場合も応募可)。ただし、特別優秀学生奨学金受給者を除く。	給付奨学金	年額24万円(半額を前期と後期に分けて支給)	2年間または最短期間	3名	地域の制限なし	学生課生活支援係	併用可	併用可
	入学料免除制度	入学手続時		入学金・授業料減免		新入生のうち、入学前1年以内において、入学する者の学費負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けた者	免除・減免	入学料相当額またはその半額	1回限り	人数制限なし ただし予算の範囲内	地域の制限なし	学生生活課奨学支援係	併用可	併用可
	授業料免除制度	その他		入学金・授業料減免		1年～3年生のうち、以下のいずれかに該当する者 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者 新入生は前期分は入学手続時、後期分は大学が指定する時、在学生は入学前6月以内において、学費負担者が死亡し、又は本人若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けた者	免除・減免	授業料相当額またはその半額	半期に1回	“人数制限なし ただし予算の範囲内”	地域の制限なし	学生生活課奨学支援係	併用可	併用可
	名古屋工業大学ひとづり未来基金	その他		学費支援		新入生のうち、入学料免除選考において、入学料全額免除の資格を有すると判定され、かつ、予算の都合等により入学料免除不許可となった者	給付奨学金	入学料相当額の半額	1回限り	“人数制限なし ただし予算の範囲内”	地域の制限なし	学生生活課奨学支援係	併用可	併用可
	名古屋工業大学ホレナキ奨学金	在学中	対象学年の前年度12月頃	用途を定めない経済的支援		高度工学教育課程・創造工学教育課程3年次または基幹工学教育課程4年次に在学する学生(外国人留学生を除く)、博士前期課程に進学を希望し、人物及び学業成績、研究業績が特に優れた者	給付奨学金	年間144万円	2年間	“28名程度 ただし年度により変動の可能性あり”	地域の制限なし	学生生活課奨学支援係	併用可	併用可
	名古屋工業大学ユニテッド・セミコンダクター・ジャパン奨学金	在学中	対象学年の4月頃	用途を定めない経済的支援		学部最終年次に在学し、研究室に配属されている学生(外国人留学生を除く)で、学業成績が優秀と認められ、前年度までの GPAが3.0以上でそれを維持する見込みがある者	給付奨学金	年間50万円	1年間	“2名程度 ただし年度により変動の可能性あり”	地域の制限なし	学生生活課奨学支援係	併用可	併用可
名古屋工業大学	名古屋工業会給付型奨学金	在学中	対象学年の6月頃	用途を定めない経済的支援		学部1年次に在学する学生で、経済的理由により修学が困難であると認められる者	給付奨学金	年額24万円	4年間	“2名程度 ただし年度により変動の可能性あり”	地域の制限なし	学生生活課奨学支援係	併用可	併用可
	学生研究奨励	在学中	“1年～5年生 毎年12月頃”	その他	教育研究活動の活性化のための奨励金の給付	学会発表、論文発表等を活発に行い実績を上げている者	給付奨学金	10万円または5万円	年1回	“10万円10名 5万円40名”	地域の制限なし	学生生活課奨学支援係	併用可	併用可
	学生プロジェクト支援	在学中	“1年～5年生 毎年11月頃”	その他	学生が学外行事に参加するために必要な経費の給付	個人またはグループで学外機関が実施するコンベンションなどの行事に参加する者	給付奨学金	“交通費、消耗品等相当額 個人の場合2万円、グループ場合は10万円を限度とする”	年1回	“人数制限なし ただし予算の範囲内”	地域の制限なし	学生生活課奨学支援係	併用可	併用可
	国際化推進事業	その他	募集要項に定める申請期間	留学費用支援制度		卒業研究に着手している4年生	給付奨学金	12万円	1回限り	10名程度	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
三重大学	三重大学生物資源学部選進文二奨学金	在学中	3年生	特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援		三重大学生物資源学部3年次に在学する学生(外国人留学生を除く)であって、次の各号のいずれにも該当する人。 (1)特待生など文で生活が困難であると認められる人 (2)将来、三重県内で、専攻、専修、水産および職業の専攻に携わる見込みがある人 (3)品行が正しく、学業が優れ、かつ、心身共に健康で意欲的な人	給付奨学金	年額46万円	2年間	2名	地域の制限なし	生物資源学部研究チーム総務担当	併用可	併用可	
	三重大学医学部附属看護学看護士奨学金	在学中	2年生以上	学費支援 用途を定めない経済的支援		看護士・助産師を養成する学校・専門学校等に在学中の方(2年生以上)で、免許取得後、三重大学医学部附属病院の看護師・助産師として勤務を希望する者	貸与奨学金	月額5万円(卒業後、看護師・助産師の免許を取得し、三重大学医学部附属病院に採用され、一定期間勤務した場合は返還を免除)		36名	地域の制限なし	三重大学医学部 病院管理部 総務課 人事係	併用可	条件有り併用可	
	三重大学医学部附属看護士奨学金	その他	医学科 9月中旬 看護学科 4月下旬	その他	海外実習旅費の一部助成	三重大学医学部に在学する学生であって、次の各号に該当する者とする (1)経済的理由により修学に困難していると認められる者 (2)将来、医師、看護師等医療に携わる見込みがあると認められる者 (3)品行が正しく、学業が優れ、かつ、心身共に健康で意欲的な者 (4)期成が必要と認められる者	給付奨学金	実費又は15万円のいずれか低い額	一度限り	7名程度	地域の制限なし	医学部 病院管理部 学務課	併用可	併用可	
	三重大学教育学部同窓会奨学金	入学後		学費支援 用途を定めない経済的支援		三重大学教育学部同窓会会員・父母連絡会 入会者	貸与奨学金	30万円	一度限り		10名	地域の制限なし	三重大学教育学部同窓会	併用可	併用可
	三重大学工学部USJIC奨学金	在学中	3年生	特待生・成績優秀者 学費支援 用途を定めない経済的支援		三重大学工学部に在学する第3年次の学生(外国人留学生を除く)であって、次の各号の全てに該当する者とする。 (1)学業成績が優秀と認められ、申請年度の前年度のGPAが3.0以上でそれを維持する見込みがある者 (2)将来、三重県内の企業に就職する見込みがある者 (3)品行が正しく、かつ、心身共に健康で意欲的な者 (4)奨学金給付期間中にユニファイド・セコンダリー・ジャパン株式会社 三重工場への企業訪問(※)ができる者 ※①工場見学・先輩社員との交流、②自身の専攻もしくは研究に関する発表会を予定	給付奨学金	年額50万円	1年間	2名	地域の制限なし	工学部研究チーム学務担当	併用可	併用可	
	三重大学国際交流特別奨学金制度	その他	交換留学開始時	留学費用支援制度		海外協定大学へ1学期以上留学する学生で、ある一定の語学力が認められる者	給付奨学金	15万円	出発時に一括で支給	年間20名以内		地域の制限なし	国際・情報部 国際交流チーム	併用可	併用可
	三重大学学生海外チャレンジ応援事業	その他	事業の申込受付時	留学費用支援制度		学部学生対象、自身の学修やキャリア形成に欠かせないと考えられる独自の海外選抜計画を支援する。	給付奨学金	選抜先、滞在日数に応じて最大50万円	出発時に一括で支給	20～40人		地域の制限なし	国際・情報部 国際交流チーム	併用可	併用可
英語能力試験にかかる支援補助事業															
	三重大学生涯学習センター奨学金	在学中	①基本枠 学部1～3年 ②臨時枠 学部全学年	学費支援 用途を定めない経済的支援		【対象学年】 ①基本枠 学部1～3年 ②臨時枠 学部全学年 【資格・条件】 (1)三重大学学士課程に在籍する者、ただし留学生を除く。 (2)経済的に修学が困難であると認められ、申請時点において独立行政法人日本学生支援機構給付奨学金の支給を受けていない者。 (3)品行が正しく、意欲的であり、将来活躍する社会人として活動できる見込みがある者。 ※臨時枠は、上記資格のほか機構の家計急変採用へ申請したものの不採用となった者または機構の家計急変採用事由に該当する家計急変採用への申請ができない者であることが条件。	給付奨学金	年額30万円		①基本枠 最長2年間 ②臨時枠 採用年度限り	①基本枠 5名 ②臨時枠 3名程度	地域の制限なし	学務部学生支援チーム	併用不可	併用可
英語能力試験にかかる支援補助事業	在学中	正規生全学年		資格取得支援制度		三重大学における正規学生のうち、申請日時点で以下(1)～(5)のいずれかに該当する学生。ただし、以下(2)、3)、5)においては、申請日時点で支給停止中の学生を除く。 (1)非課税世帯の学生(留学生を除く) (2)高等教育の修学支援新制度に採用されている学生 (3)日本学生支援機構の第一種奨学金・第二種奨学金 (4)経済困難学生を対象とした授業料免除制度のいずれかに採用されている学生 (5)経済的理由により民間奨学金の奨学金を受給している学生	給付奨学金	1万円	受験年度につき1回限り	200名	地域の制限なし	学務部学生支援チーム	併用可	併用可	
滋賀大学	つづけるくん	入学後		入学金・授業料減免		学部生・大学院生を対象とする。学費負担者の家計急変などの特別な理由により、修学を継続することが著しく困難である学生に対し、授業料を1/2以内の範囲で免除	免除・減免	各期の授業料の1/2以内	1回限り		各期10名程度	地域の制限なし	学生支援課	条件有り併用可	併用可
	入学料の減免制度	入学手続き時		入学金・授業料減免		入学前1年以内において、入学する者の学費を主として負担している者が死亡し、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合	免除・減免	282,000円	入学時		予算の範囲内で決定	地域の制限なし	学生課学生支援係	条件有り併用可	併用可
	授業料の減免制度	その他	半期ごとに申請	入学金・授業料減免		各期ごとの授業料の納期前6月以内(新入学生の入学した日の属する期分の減免に係る場合は、入学前1年以内)において、学生の学費を負担している者が死亡し、又は本人若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けた場合	免除・減免	267,900円	半期		予算の範囲内で決定	地域の制限なし	学生課学生支援係	条件有り併用可	併用可
	入学料の減免制度	入学手続き時		入学金・授業料減免		入学前1年以内において、入学する者の学費を主として負担している者が死亡し、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合	免除・減免	282,000円	入学時		予算の範囲内で決定	地域の制限なし	学務課学生支援係	条件有り併用可	併用可
	授業料の減免制度	その他	半期ごとに申請	入学金・授業料減免		各期ごとの授業料の納期前6月以内(新入学生の入学した日の属する期分の減免に係る場合は、入学前1年以内)において、学生の学費を負担している者が死亡し、又は本人若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けた場合	免除・減免	267,900円	半期		予算の範囲内で決定	地域の制限なし	学務課学生支援係	条件有り併用可	併用可
京都大学	京都大学入学料免除、授業料免除	その他		入学料免除は、入学手続き時 授業料免除は、入学手続き後	入学金・授業料減免	対象学年 入学年次(入学料免除) 全学年(授業料免除) 学部 全学部 入学料免除出願資格 1. 入学前1年以内において、出願者の学費負担者が死亡し、または出願者もしくは学費負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合 2. 1. に準ずる場合であって総長が相当と認める事由がある場合 授業料免除出願資格 1. 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合 2. 授業料の納付期間前6月以内(入学した日の属する期分の授業料免除の場合は、入学前1年以内)において、学費負担者が死亡し、または出願者もしくは学費負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合 3. 2. に準ずる場合であって総長が相当と認める事由がある場合	免除・減免	入学料免除: 入学料282,000円 授業料免除: 授業料半期分267,000円 ※授業料免除については、前期・後期に分けて免除の可否、免除額を決定する。			地域の制限なし	教育推進・学生支援部学生課奨学課	併用可	併用可	
	京都大学久能賞	入学後		学費支援		出願資格 (1)21世紀における地球規模の課題を解決し、よりよい世界を目指す、社会に貢献したいという高い志を持ち、科学・技術分野において自らの独創的な事を持つ意欲のある本学女子学生。 (2)学士課程又は修士課程に在籍する者。ただし、要項を参照する者に限る(翌年度に在籍する課程は問わない)。 (3)受賞年度における段次及び受賞の要年度における報告会に出席できる者。 (4)募集年度において、選考を受けている学生は、本賞に申請することはできない。	給付奨学金	1,200,000円(年額)	1年間		原則2人	地域の制限なし	教育推進・学生支援部学生課奨学課	併用可	併用可
	短期派遣プログラムの選抜支援	その他		留学費用支援制度		対象学年 全学年 対象学部 全学部・学科 資格: 京都大学の正規学生 条件: 短期留学プログラムに参加が認められた者(条件はプログラム毎に異なる)	給付奨学金	東アジア・ASEAN地域対象のプログラム: 6万円 欧州・ニューゼaland・10万円 北米: 12万円	プログラム終了後に支給		各プログラムの定員(10～20名程度)	地域の制限なし	国際・共通教育推進部国際教育交流課海外留学課	併用可	併用可
	CFプロジェクト(Create the Future Project)奨学金	入学後		学費支援		出願資格 (1)本学の正規の教育課程に在籍する者。 (2)学業優秀である者。 (3)日本学生支援機構第一種奨学金の家計基準を満たす者。または、日本学生支援機構第二種奨学金の家計基準を満たす者に準じると本学が認めた者。	給付奨学金	月額5万円(年額60万円)。	4年制の学部学生(支援期間: 2年間) 6年制の学部学生(支援期間: 3年間)		学部募集枠: 100名程度	地域の制限なし	教育推進・学生支援部学生課奨学課	併用可	併用可
	京都大学基金緊急支援一時金・京都大学修学奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援 被災者資金支援		全学生対象、次の各号に掲げる事由のある者。 京都大学基金緊急支援一時金 ・学生の学費を主として負担する者が死亡したとき。 ・学生または学費負担者が災害(風水害、地震または火災等)により被災したとき。 なお、被災による申請事由は学生または学費負担者の自己の全壊・半壊・全壊・半壊・床上浸水に限られる。 京都大学修学奨学金(本学が指定した大規模災害の場合に限る) ・学費負担者が死亡または行方不明となったとき。 ・学生または学費負担者の居住する住宅が倒壊(全壊・半壊・全壊・半壊・床上浸水)したとき。	その他	京都大学基金緊急支援一時金: 25万円 京都大学修学奨学金: 10万円	1回限り		人数制限なし	地域の制限なし	教育推進・学生支援部学生課奨学課	併用可	併用可
	京都工芸繊維大学	京都工芸繊維大学特待生制度	その他	申請不要(大学にて対象者を選抜)	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		成績が優秀な学部2年次から学部4年次生	給付奨学金 免除・減免	当該年度の前期の授業料の金額	毎次ごとに1回限り		第2年次から第4年次までの各年次につき、各課履修者千名	地域の制限なし	学生支援・社会連携課経済支援係	併用可
授業料徴収猶予	その他	前期学期: 3月、後学期: 9月	その他	入学料・授業料徴収猶予		次のいずれかに該当する人であること。 1. 経済的理由により納付予定日に授業料の納付が困難であると認められる人 2. 学生又は学費負担者が風水害等の災害を受け、納付が困難であると認められる人	その他	前期学期は7月31日まで、後学期は翌年1月31日まで徴収を猶予			条件を満たす全員	地域の制限なし	学生支援・社会連携課経済支援係	併用不可	併用可
入学料徴収猶予	その他	入学手続き時及び入学前	その他	入学料・授業料徴収猶予		次のいずれかに該当する人であること。 1. 経済的理由によって納付期限までに納付が困難である人 2. 入学前1年以内において、学費負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受け、納付が困難であると認められる人	その他	春入学者は入学年度の7月31日まで、秋入学者は入学年度の1月31日まで徴収を猶予			条件を満たす全員	地域の制限なし	学生支援・社会連携課経済支援係	併用不可	併用可
KITグローバル人材育成プログラム	在学中	3年次以上		留学費用支援制度		交換留学 3回以上、前年度の成績評価係数2.30以上、前年度の語学成績の成績評価係数2.30以上またはTOEICスコア550以上 グローバル・インターナショナル(研究留学) 4回以上、前年度の成績評価係数2.30以上、前年度の語学成績の成績評価係数2.30以上またはTOEICスコア550以上	給付奨学金	月額30,000円～100,000円。	8日以上1年以内		特になし	地域の制限なし	国際課留学生係	条件有り併用可	条件有り併用可
KIT短期海外英語研修補助	随時			留学費用支援制度		対象: 工学部前全学年 資格: KIT短期海外英語研修(アイルランド、オーストラリア)の派遣先それぞれに参加者選考に合格した者。	給付奨学金	一名あたり、最大20万円の留学費用補助(派遣先、参加人数により変動)	留学時の一回のみ(運送費の一部として振込)		①アイルランド: 10名(予定) ②オーストラリア: 10名(予定)	地域の制限なし	学務課学企係	併用可	併用可
大阪大学	大阪大学交換留学奨学金(派遣)	その他	留学準備中	留学費用支援制度		3か月以上1年以内の交換留学を行う学生 対象: 博士後期課程の学生は対象外	給付奨学金	月額5万円(年間60万円を上限とし、留学開始時に一括振込み)			本学が認めた派遣期間(ただし、予算の都合により、派遣期間の一部のみ支給することがある。)	地域の制限なし			
	大阪大学未来基金 住友化学グローバルリーダー育成助成金	その他	留学準備中	留学費用支援制度		本学の正規生で、海外のトップレベル大学または研究機関へ留学する者(将来、日本の製造業にて勤務する意思を有する者)	給付奨学金	留学期間が6か月未満: 60/80万円 留学期間が6か月以上: 90/120万円			任意(原則3か月以上)	地域の制限なし			
	インターナショナルカレッジの奨学金等財政支援	その他	制度により異なる。	特待生・成績優秀者		制度により異なる。	給付奨学金	制度により異なる。			制度により異なる。	制度により異なる。	地域の制限なし		
	大阪大学部入学生(女子学生)対象 入学支援金制度	その他			用途を定めない経済的支援		理学部、工学部、基礎工学部に入学した優秀な女子学生。	給付奨学金	1名あたり20万円の入学支援金を支給します。		50名。	地域の制限なし			
	大阪大学交換留学奨学金(受入)	その他	全学交換留学プログラム申請時。		用途を定めない経済的支援		協定校の推薦を受け、大阪大学の全学交換留学プログラムに申請。	給付奨学金	支給額の目安は、一学期間の留学で32～40万円、一年間の留学の場合は30～88万円。			地域の制限なし			

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によつて(4)対象学部・学部・資格・条件の内容に他の申請期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他の具体的な内容」	(3)支援の種類	「その他の具体的な内容」	(4)対象学部・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
大阪教育大学	短期派遣留学に係る授業料免除	在学中	学年指定なし(留学を行う年度を標準とする)	入学金・授業料減免	短期派遣留学(交換留学)として本学から海外交流協定締結大学に派遣される者	免除・減免	後期授業料の全額	後期授業料1回限り	10名以内	地域の制限なし	学生支援課奨学厚生係	併用可	併用可	
	大阪教育大学教育振興奨励学金	その他	申請を要しない。(授業料免除申請書のうちから本学で選考)	用途を定めない経済的支援	前期授業料全額免除許可者のうち、学業成績及び家計計画により選考	給付奨学金	50,000円	1回限り	10名程度	地域の制限なし	学生支援課奨学厚生係	併用可	併用可	
	大阪教育大学修士支援奨励学金	在学中	1年次・9月申請	用途を定めない経済的支援	1年次生であつて、学業成績及び人物が優秀な者であつて、経済的支援を必要とする者	給付奨学金	5万円又は10万円(レポート評価により決定)	1回限り	20名程度	地域の制限なし	学生支援課奨学厚生係	併用可	併用可	
	大阪教育大学緊急災急奨励学金	随時		用途を定めない経済的支援	申請資格(次の①～③を満たすこと) (1)新型コロナウイルス感染症 送還の物理的などの原因により、自身または家庭の収入等が減少、または支出が増大したことにより、修学が困難となり、経済的支援が急を要する者(入学後の修学が困難であると認められる者) (2)世帯収入が日本学生支援機構第二種の家計基準以下であること (3)算出にあつて、連帯保証人を選任することができること	貸与奨学金	10万円		原則2年間(卒業年月をまたぐ場合は卒業年月の2か月前まで)	50人程度	地域の制限なし	学生支援課奨学厚生係	併用可	併用可
兵庫教育大学	授業料免除	その他	前期2月中旬、後期7月下旬	入学金・授業料減免	【対象者】 ・日本学生支援機構給付奨励学金の申込資格を満たさない者 ・経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者	免除・減免	全額免除:267,000円(授業料全額) 3/4免除:200,925円(授業料267,900円の4分の3に相当する金額) 半額免除:133,950円(授業料267,900円の2分の1に相当する金額)	①半額毎 ②1回限り	・予算の範囲内	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
	入学金免除	入手機続時		入学金・授業料減免	【対象者】 ・入学前1年以内において、本学に入学者の学費を主として負担している者(学費負担者)が死亡し、又は本学に入学者若しくは学生が自死を遂げた者(遺族)が、入学後の修学が困難であると認められる者 ・前号に該当する場合であつて、学長が相当と認める場合	免除・減免	全額免除:262,000円(入学金全額) 3/4免除:211,500円(入学金262,000円の4分の3に相当する金額) 半額免除:141,000円(入学金262,000円の2分の1に相当する金額)	①1回限り	・予算の範囲内	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
	課外プロジェクト	在学中	1年次生～4年生	課外活動支援制度	【応募要件】 兵庫教育大学の大学院生(修士課程・専門職学位課程)及び学部生が実施責任者となり、大学院生・学部生がグループで取り組み、学生自身が自主的・主体的に企画・運営するもので、原則として応募年度の3月末日までに終了すること。 【選考方法】 学生委員会において、提出された計画書を基にヒアリングを行ったうえで審査し決定	その他	プロジェクト1件あたり20万円を上限。	①1年間 ②1回限り	予算の範囲内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	新型コロナウイルス感染症による家計急変に係る授業料免除	在学中	1年次生～4年生	入学金・授業料減免	対象学部:新型コロナウイルス感染症による収入減少があつた者のうち、当該事由に基づく公的支援を受給している者、又は事由発生後の世帯収入が急変前と比較し、1/2以下となつている者 条件:本学において提出書類に基づき「家計評価額」を算定し、本学の定める基準を満たした者	免除・減免	半分期授業料の3分の1の額を限度として免除	①半額毎 ②1回限り	予算の範囲内	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
	新型コロナウイルス感染症感染拡大による家計急変に係る入学金免除	入手機続時		入学金・授業料減免	申請資格:入学手続前3か月以内に新型コロナウイルス感染症の感染拡大による収入減少があつた者のうち、当該事由に基づく公的支援を受給している者、又は事由発生後の世帯収入が急変前と比較し、1/2以下となつている者 条件:本学において提出書類に基づき「家計評価額」を算定し、本学の定める基準を満たした者	免除・減免	94,000円(入学金282,000円の3分の1の額を限度として免除)	①1回限り	予算の範囲内	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
奈良教育大学	後援会学習奨励費	入学後		学費支援	学部及び大学院に在学する学生で、学業・人物ともに優秀と認められ、将来、有望な人材になる人対象	給付奨学金	月額1万円	1年間	年間10名	地域の制限なし	後援会事務局	併用可	併用可	
和歌山大学	和歌山大学家計急変奨励学金	随時		学費支援 その他	生活費	下記条件のいずれかに該当する者。 ①学費負担者の失業、稼働、倒産、病後、病後若しくは死亡等の理由により家計が急変し、修学の継続が困難となり、かつ、その他の経済的支援を受けれない者。ただし、家計急変の申請が急を要する者であること。 ②学費負担者又は学生が地震、風水害等の被害を受けたことにより家計が急変し、修学の継続が困難となった者。	貸与奨学金	一時金として10万円、20万円、30万円より申請者が選択する。	一時金	予算の範囲内	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用不可
	和歌山大学システム工学部奨励学金	その他	システム工学部の委員会で決定する。	学費支援	下記条件を満たす者に限る。 ①システム工学部に在籍する学生であること。 ②学業成績及び人物と優れた者であること。 ③家庭の経済状況等により修学困難と認められる者のうち、勉学意欲が旺盛と認められる者であること。	給付奨学金	システム工学部の委員会で決定する。	システム工学部の委員会で決定する。	システム工学部の委員会で決定する。	システム工学部 シス研	併用可	併用可		
鳥取大学	鳥取大学修士支援事業奨励学金	入学後		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	特待生・成績優秀者	①大学等における修学の支援に関する法律(令和元年法律第8号)に基づく給付奨学生について、選考認定における学業成績の基準を基に、GPA値の高い者。 ②日本学生支援機構の第一種奨学生について、選考認定における学業成績の基準を基に、GPA値の高い者。(1年次生については、高等学校における成績の平均値による。)	給付奨学金	1人当たり3万円	年1回	①50人程度 ②280人程度	地域の制限なし	学生部学生生活課	併用可	併用可
	鳥取大学優秀学生育成奨励学金	入学後		特待生・成績優秀者	特待生・成績優秀者	学業成績、スポーツ、芸術又は社会貢献活動のいずれかの分野において秀でており、かつ、人格に優れ、他の学生の模範となると認められる者。学部長等からの推薦による。各学部1名。	給付奨学金	1人当たり10万円	年1回	4人	地域の制限なし	学生部教育支援課	併用可	併用可
	鳥取大学尚徳会奨励学金	入学後		特待生・成績優秀者 学費支援 奨励費支援 奨励費支援	対象学生は、地域学部生。 ①授業料及び入学金に入学する経費の支援、鳥取大学における学費支援制度に基づく授業料等減免に関する規程により申請を行ったが、不許可にわたつた者のうち次に掲げる者に奨励費を支給する。 イ 入学金免除申請者で不許可になつた者 ロ 授業料免除申請者で不許可になつた者のうち、鳥取大学における学費支援制度に基づく授業料等減免に関する規程に定められた学業成績の要件を満たさない者 ハ その他学費負担者の急な退職、失職などにより授業料を支払うことが困難になつた者 ②国内外における職業実習や学生への出張、及び実習等に要する経費の支援。 ③地域学部等の許可を得て行う海外留学の旅費費用等に要する経費の支援。 ④学生の履修となる特に関与する研究等の業績をあげた学生の表彰、鳥取大学尚徳会から推薦された者。	給付奨学金	(3)の①(入学金)の1/4、②(授業料)の半額、③(奨励費)は授業料半額の1/4、④(学費)は授業料半額の半額又は全額に相当する額。 ①は、1回当たり、国内5万円、国内2万円を上限(1人当たり2万円を限度)。 ②は、1回当たり、5万円、ただし、日本学生支援機構の留学生交流支援制度からの支援がある者は除く。 ④は、2万円。	随時	人数制限なし(ただし財源の範囲内)	地域の制限なし	地域学術会計係、教務係	併用可	併用可	
	鳥取大学正光奨励学金	入学後		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援	正確、正義の業績が高く評価され、本学学生を向上させた認められる者、経済的困難者であつて他の奨励金の適用を受けることが困難な者、又は地域の活性化に寄与する者と期待される者として、理事が特に必要と認め、推薦した者	給付奨学金	60万円を限度	1回限り	若干名	地域の制限なし	学生部学生生活課	併用可	併用可
	夢チャレンジ奨励学金	入学後		用途を定めない経済的支援	・本学の学部1年生 ・日本学生支援機構の第一種奨励学金受給対象者と同程度の家計基準である者 ・本学の授業料免除の家計基準を満たす者であつて、自宅外通学している者(ただし、日本学生支援機構の給付奨学金の交付を受けている者及び入籍者を除く)	給付奨学金	20万円	1年次(9月と2月に10万円ずつ支給)	20人(内外外国人留学生2名)	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
鳥取大学	中長期インターンシップ支援金	その他	毎年7月中旬のインターンシップ開始前に募集	課外活動支援制度	企業体験等やPBL型課題を通じて実践した地域課題解決活動で、受け入れ先からの報酬を伴わない実研修日数の合計が当該年度において10日以上かつ50時間以上であること。	給付奨学金	3万円	修業年限に1回支給	10名の範囲内	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	短期海外研修プログラム奨励学金	在学中	1年生～4年生	留学費用支援制度	各学部等が実施する海外留学・研修プログラムに参加する者	給付奨学金	給付額は単位取得が可能な場合は2万円、それ以外の場合は3万円とする。		人数制限なし	地域の制限なし	企画部国際課	併用可	併用不可	
	グローバルチャレンジ奨励学金	在学中	1年生～4年生	留学費用支援制度	(1)交換留学等により1か月以上の期間留学する者 (2)自ら企画する海外留学・研修プログラムまたは外部団体・機関が企画・実施する海外でのボランティア活動やインターンシップ等を主な目的とするプログラムに参加する者	給付奨学金	(1)派遣地域がアジア地域の場合には15万円、アジア地域以外の場合には25万円を上限とする。 アジア地域とは、外務省が定めている区分に準拠します。 (2)5万円	1回限り	年間10名程度	地域の制限なし	企画部国際課	条件有り併用可	条件有り併用可	
	県内定着奨励学金	在学中	3年生	就職支援	卒業時に次の①～③のいずれかを満たす意思を有する者 ①鳥取県内に本社を有する事業所等へ就職すること ②鳥取県内に本社を有する事業所等の鳥取県内支店等において、鳥取県内の地域に限定して募集及び採用される地域限定採用※1により就職すること ③鳥取県内で個人事業を営むこと ※2:地域限定採用とは、鳥取県内の地域に限定して募集・採用され、勤務をする採用方法を意味します。 ただし、本奨励金と同様の鳥取県内への就職等を支給条件とした奨励金等を受給している以下の者は対象となりません。 ・奨励金受入支援基金を財源とする奨励金のうち県内企業に就職が決めた学生が受給する奨励金など ※3:財源については、担当部署(学生支援課)へお問い合わせください。 ＜給付条件＞ 申請書のうち、将来にわたり鳥取県内の活性化に貢献したいという意識が高く、学業成績が優秀であり、以下の①～④のうちいずれかの活動に参加実績があることを条件とする。 ①鳥取県内の事業所等が主催するインターンシップ等の修業中キャリア形成支援に係る取組※3 ②キャリアデザインプログラム等の鳥取県内の事業所等と協同して行う各種プロジェクト活動 ③大学が指定する鳥取県内事業所等との交流企画 ④その他海外留学、キャリア形成に関する具体的な活動等 ※3:インターンシップ等の学生のキャリア形成支援に係る取組とは、令和5年度より類型化されたインターンシップを含むタイプ1から4のすべてを指します(別表参照)。	給付奨学金	事業費の範囲内で1人につき30万円とし、学部3年次は就職活動準備金として、学部4年次は定着準備金として各年15万円を給付します。ただし、学部4年次は鳥取県内の事業所等に正規採用※1として就職等が決定した受給者に対し給付します。	学部3年次は1月末日までに、学部4年次は卒業月までに支給するものとする。	20人(内外外国人留学生2名)	地域の制限なし	鳥取県	学生支援課	併用可	併用可
	海外派遣学生支援事業	在学中	留学終了日に応じて、年2回(4月と10月)に申請期間を設ける。	留学費用支援制度	本学の正規課程に在籍し、次のすべての条件を満たす者 (1)下記①～⑥のうち、いずれかの派遣制度に基づき海外の大学等に派遣され、当該年度中に留学等を終了した者 ① 岡山大学短期留学プログラム(EPDK)による派遣 ② 岡山大学グローバル人材育成取組の取組する短期研修プログラムおよび短期海外研修等による派遣 ③ 大学院・部局間交流協定等に基づく派遣(交換留学) ④ 学部・専攻科で実施されている派遣 ⑤ ①～④以外で大学院の合意文書等に基づく派遣留学プログラム ⑥ 岡山大学グローバル人材育成取組が認める派遣留学プログラム (2) 学部3年次生以上の場合は、各学部における各年次での標準研修単位数を修得した者 (3) 海外派遣学生を対象とした他の給付奨励金を受給しない者	給付奨学金	派遣地域がアジア地域の場合には3万円、アジア地域以外の場合には15万円を支給します。 アジア地域とは、外務省が定めている区分に準拠します。	一時金として支給します。	300名程度(学業状況に応じて変更の場合あり)	地域の制限なし	国際部留学交流課	併用可	条件有り併用可	
	広島大学	広島大学光り輝く奨学制度	在学中	2年次生	入学金・授業料減免 用途を定めない経済的支援	(1)学力の基準 所属学部の標準修得単位数を修得し、1年次から2年次前期までのGPAが80以上。 (2)経済的困難度の基準 前年の総収入金額を対象とし、世帯全員の年収・所得の合計金額から、家族構成や家庭事情等に応じて本学が定めている特別控除額を差し引いた金額が、本学で定めた収入基準額以下であることが必要です。 (3)人物評価の基準 入学時から出願時までの間に広島大学学生懇話会規則により懇話会員を受けていない者	給付奨学金 免除・減免	在学中(3年次以降)の授業料全額免除および奨学金給付(毎月10万円)	在学中(3年次以降)の標準修業年限	若干名	地域の制限なし	学生生活支援グループ(奨学担当)	併用可	併用可
広島大学未来応援H2U奨学制度	学校出願時			用途を定めない経済的支援	広島県内の児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、自立援助ホーム、ファミリーホーム又は児童家庭の出身者で広島大学の学部の新1年生として入学する方	給付奨学金	修学準備金30万円給付(入学時) 奨学金給付(月額2万円)(毎月及び12月25万円) 広島大学治の大学生宿舎(広島島)に入学する場合は、その寮宿料及び共通経費 他の奨学制度との併用・併給も可能	在学中(標準修業年限終了まで)	3名	広島県	併用可	併用可		
広島大学フェニクス奨学制度	学校出願時			入学金・授業料減免 用途を定めない経済的支援	本制度に申請された方のうち、一般選抜(前期日程・後期日程)、光り輝く入試総合型選抜Ⅱ型または光り輝く入試学校推薦型選抜Ⅱ型(ただし、医学部医学科(ふるとく)を除く)の本学入試試験により合格し、以下の2つの基準をともに満たした新入生 (1)学力の基準 大学入学共通テストの得点が、志願する学部・学科等の大学入学共通テスト試験合格点合計の原則として80%以上であること (2)経済的困難度の基準 経済的困難度は、前年の総収入金額を対象とし、世帯全員の年収・所得の合計金額から、家族構成や家庭事情等に応じて本学が定めている特別控除額を差し引いた金額が、本学で定めた収入基準額以下であること	給付奨学金 免除・減免	在学中(授業料全額免除 および 奨学金給付(毎月10万円))	在学中(標準修業年限終了まで)	15名	地域の制限なし	学生生活支援グループ(奨学担当)	併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によつて(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
山口大学	山口大学基金 七村奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援	学部学生(外国人留学生を除く)のうち、学力が優秀で生計維持者の収入または所得が本学の定める基準に該当する者。新規申請は、入学(編入)した年度のみ可能であり、毎年の申請・審査により2年目以降も継続支給が可能となる。支援期間は最長で学部の修業年限までとなっている。	給付奨学金	年額630,000円(月額70,000円×9か月)	1年間(毎年継続申請・審査を受けることにより2年目以降も継続支給が可能) 審査年度(学部の修業年限)までの継続支給が可能	年間10名以内(新規採用者数)	地域の制限なし	学生支援部学生支援課	併用不可	併用不可	
	特別待遇学生制度	その他	本人の申請に基づき、学部長の推薦に基づき選考を行う。	特待生・成績優秀者	在学中の学業成績が特に優れ、かつ、人物優秀であると学部長の推薦に基づき選考され認められた者(学部学生に限る。1年生前期は除く)	免除・減免	半額ごと授業料の半額を免除	半期	前期100名 後期128名	地域の制限なし	学生支援部学生支援課	併用可	併用可	
	山口大学医学部及び大学院医学系研究科高度学術医育養成コースSCEA	在学中	学部第4～6年次	用途を定めない経済的支援	医学部医学科の高度学術育成特別プログラム(SCEAプログラム)を履修している学部生	貸与奨学金	月額90,000円	SCEAプログラム履修期間(学部生として最大3年間)	毎年度2名	地域の制限なし	医学部学務課 教育・学生支援係	併用可	併用可	
	山口大学医学部保健学科看護奨学金	その他	募集時期:5月、10月	用途を定めない経済的支援	①当該年度の年度当初に山口大学医学部保健学科又は山口大学大学院医学系研究科保健学専攻に在籍する学生 ②将来医師に携わるとの強い希望と意志を持ち、保護者の経済的困難のため学業を続けることが困難な学生	貸与奨学金	授業料半額(207,800円)と同等級とする。 ※ただし、保健学科会議が認めた場合は、さらに半額100,000円を限度に増額することがある。	15月及び10月の2回の募集時期とし、それぞれ半期分の貸与期間のみを行う。 2再申請可能	若干名	地域の制限なし	医学部学務課 教育・学生支援係	併用可	併用可	
	山口大学経済学部職業会計人奨学金奨学金	その他	申請時期:10月	用途を定めない経済的支援	職業会計人コースで学ぶ学生	貸与奨学金	1人800,000円以内	1回限り	若干名	地域の制限なし	経済学部経営学科 職業会計人コース事務局	併用可	併用可	
	山口大学経済学部上奨学金	その他	申請時期:2月	用途を定めない経済的支援	職業会計人コースで学ぶ学生	給付奨学金	1人800,000円以内	1回限り	若干名	地域の制限なし	経済学部経営学科 職業会計人コース事務局	併用可	併用可	
	山口大学工学部常盤工業奨学金	その他	8月上旬～8月下旬	用途を定めない経済的支援	(1)常盤工業委員会の終身会費を支払った者又は現在において支払っている者 (2)成績優秀であると認められる者 (3)休学中でない者 (4)留学期でない者 (5)修業年限を超えていない者 (6)購買学生又は政府派遣留学生でない者	給付奨学金	年額100,000円	1年(再申請可能)	32名	地域の制限なし	工学部学務課学生係	併用可	併用可	
	山口大学医学部国際医学文化交流奨学金海外留学経済支援	その他	7月下旬まで	留学費用支援制度	・医学部医学科自己開発コース等における海外留学をする学生 ・他の奨学金制度からの支援金の額の合計が50万円以内でない者 ・申請期間および4週間以上	給付奨学金	1人200,000円	1年	5名	地域の制限なし	医学部学生課 教育・学生支援係	条件有り併用可	条件有り併用可	
鳴門教育大学	卓越した学生に対する授業料免除	在学中	最終学年(4年次)の大学が指定する時期	特待生・成績優秀者	最終学年に在籍する学生のうち、学業成績並びに生活態度が極めて優れ、所属の専修・コース長から推薦のあった者	免除・減免	後期授業料全額免除	最終学年(4年次)の後期分	原則、2名以内	地域の制限なし	教務部学生課学生係	条件有り併用可	併用可	
愛媛大学	緊急医師確保対策に伴う授業料免除	在学中	6年次に進級時	入学金・授業料減免	医学部特別選抜試験(推薦制)地域特別特待生(推薦)による入学者で、愛媛県地域医療医師確保奨学金の授受給者のうち、6年次に進級した者。	免除・減免	授業料相当額を免除	医学部6年次の1年間	(3)に該当する人数	愛媛県	教育学生支援部学生生活支援課	併用可	併用可	
	愛媛大学「修学サポート奨学金」制度	随時		学費支援	次の項目の1に該当する特別な事情により修学を継続することが困難であると認められる学生で、学力基準及び家計基準を満たしている者 ・家計支持者が会社の倒産、解雇等により失職した場合(2年中自己の意思で退職した場合を除く) ・家計支持者が死亡又は離世した場合 ・家計支持者が破産した場合 ・病気、事故、会社倒産、経営不振その他家計急変の事由により、著しく支出が増大又は著しく収入が減少した場合	給付奨学金	当該学期の授業料相当額	当該学期	当該年度の予算額に基づき決定する	地域の制限なし	教育学生支援部学生生活支援課	併用不可	併用可	
	愛媛大学基金奨学金「太陽石油奨学金」	在学中		用途を定めない経済的支援	・各学部の3年次生(医学部医学科にあっては5年次生) ・大学院の修士課程、教職大学院の課程及び博士前期課程の1年次生 (応募資格) (1)愛媛大学に在学する者であること(正課程に在るか又は留学期を申請できない)。 (2)経済的理由により学費の支弁が困難と認められる者。 (3)留学期に在り、学業優秀であり、かつ、品行方正であること。 (4)奨学金を借ること、学業や研究より一層の専念及び発展が期待される者。 (5)過去に「太陽石油奨学金」を受給していない者。	給付奨学金	50万円/年 ※法文学部法蘭西の学生は25万円/年	給付時一括払い	毎年度20人程度	地域の制限なし	教育学生支援部学生生活支援課	併用可	併用可	
	愛媛大学「地域定着促進」特別奨学金	在学中		就職支援	・各学部の3年次生(医学部医学科は5年次生)又は修士課程、博士前期課程及び教職大学院の課程の1年次生 ただし、次の者を除く ①医学部医学科の学生のうち地域特待推薦により入学した者 ②留學外国人留学生及び外国政府の派遣する留學生 ③過去にこの奨学金を受給した者 ④定額を有する者(自営業を含む、アルバイト・パートを含むなど) ⑤就職先が既決している者 ⑥休学中の者 【給付条件】 ①キャリア形成に関する科目等の単位を修得済み又は履修中であること。 ②県内企業・教育機関・自治体等への就職活動等に参加済み又は参加予定であること。 ③県内企業・教育機関・自治体等への就職活動を行い、その状況報告を行うこと。 ④在学上の就職活動支援に意欲があること。 ⑤就職後は、本学が指定する就業状況等の情報提供を誓約すること。 ⑥奨学金交付式に出席できる者	給付奨学金	愛媛県内就職応援奨学金として20万円を給付(一括払い)	1回限り	25名	愛媛県	愛媛大学教育学生支援部学生生活支援課 学生生活支援チーム	併用可	併用可	
高知大学	高知大学修学支援基金奨学金	その他	令和6年7月12日～7月30日	学費支援 用途を定めない経済的支援	本学の学部に通学する学生のうち、次の各号に掲げる事項をすべて満たした者とす。 ①修学に意欲があり、本学の教育目標に沿った授業を修める見込みがあること ②高知大学授業料免除及び徴収額予定基準に定める家計基準以下であること ③アルバイト等一助金を得ていること	給付奨学金	上限30万円/年	1年間	20名以内	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可	
	高知大学医学部同業奨学金奨学金	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援	医学部医学科1～6年生、医学部看護学科1～4年生で学費困難な学生を対象とする。 ただし、外国人留学生及び外国政府の派遣する留學生を除く。 ①日本学生支援機構奨学金の貸与申請がない者 ②都道府県等の各種奨学金の貸与を受けている者 ③前年度の進級判定の不合格者	給付奨学金	4万円/月を上限	1年間	若干名	地域の制限なし	医学部・病院事務部学生課	併用可	併用可	
	高知大学池田奨学金	その他	年度当初	学費支援 用途を定めない経済的支援	1～4年生・最終海外学部森林資源環境科学科又は森林資源科学科・学費の支弁が困難で他から奨学金を受けない者(高知県の高等学校出身で学術優秀・志願型国公立学生)	給付奨学金	年額:5万円(月額5,000円×10ヶ月)	給与開始月から10月間	年間1名	高知県	総務部総務課学務室学生支援係	併用不可	併用不可	
	高知大学国際交流基金(交換留学支援型)	在学中	在学中(1～4年(医学科は6年まで))	留学費用支援制度	1～4年生(医学部医学科は1～6年生)・全学部・4月1日から翌年3月31日までに開始する留学で協定等に基づき外国の大学へ留学(3ヶ月～1年間)する次の本学学生に対して、留学支援のための奨学金を交付し、入学後の学習効果の向上を図る。 (1)本学の学部又は大学院の正規課程に在籍している者 (2)学業・人物ともに優れ、経済的援助が必要であると認められる者 (3)留学期間終了後、本学に戻り、学業を継続する者または本学を卒業する予定である者 ただし、他の団体等から月額8万円以上の派遣奨学金等を受けようとしている者を除く。	給付奨学金	アジア地域:21万円 その他の地域:35万円	留学期間による	7名程度	地域の制限なし	研究国際部地域連携課総務係	条件有り併用可	条件有り併用可	
	国際交流基金(短期派遣プログラム型)	在学中	在学中(1～4年(医学科は6年まで))	留学費用支援制度	1～4年生(医学部医学科は1～6年生)・全学部・4月1日から翌年3月31日の間に開始される本学又は協定校により作成された正規または正規に準じる短期派遣プログラム(派遣期間は7日以上3ヶ月以内のもの)に基づき、大学間交流協定校等へ派遣される本学学生に対して、派遣プログラム参加に係る費用の一部を奨学金として支給する。	給付奨学金	アジア地域:2万円 その他の地域:12万円	期間に関わらず定額支給	10名程度	地域の制限なし	研究国際部地域連携課総務係	条件有り併用可	条件有り併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によつて(4)対象学部・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合 がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学部・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
九州大学	入学科免除制度	入学手続時		入学金・授業料減免	入学前1年以内において、入学者の学費負担者が死亡又は入学者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学科の納付が著しく困難であると認められた者の入学科の全額又は半額を免除する。	免除・減免	282,000円	入学時			地域の制限なし	学務部キャリア・奨学支援課奨学生納付金免除係	併用可	併用可	
	九州大学基幹教育奨励賞(奨学金)	入学後		特待生・成績優秀者	【対象】学部1年次履修の基幹教育科目の成績が特に優れている者50名	給付奨学金	年額35万円	1回	50名以内		地域の制限なし	学務部キャリア・奨学支援課奨学金係	併用可	併用可	
	山川賞	入学後		特待生・成績優秀者	山川健次郎初代校長の名を冠した賞であり、九州大学教育革新が指向する、人間性、社会性、国際性、専門性に対して優れた志を持ち、学業成績が優秀な学部学生を選挙し、奨学金を給付します。 【対象】学部1～3年 【選考方法】書類審査及びヒアリング審査	給付奨学金	年額100万円	最長修業年限	10名程度		地域の制限なし	学務部キャリア・奨学支援課奨学金係	併用可	併用可	
	九州大学修学支援奨学金	入学後		学費支援	特に経済的な支援を要し、学業成績が優秀である本学の学部生30名程度	給付奨学金	月額3万円	1年間		30名程度		地域の制限なし	学務部キャリア・奨学支援課奨学金係	併用可	条件有り併用可
	利孝奨学金	入学後		学費支援	【対象】次のすべてに該当する者 ・現在2年次以上の学部学生(日本人) ・人間性豊かな志が大人格に感じられている者 ・学業成績が特に優れている学生で、かつ経済的困難度が高い者 【給付人数】3名程度	給付奨学金	月額10万円	最長修業年限		3名程度		地域の制限なし	学務部キャリア・奨学支援課奨学金係	併用可	併用可
	緊急支援助成(九州大学学生後援会の助成金)	入学後		用途を定めない経済的支援 被災者資金支援	父母等が九州大学学生後援会に入会している学生及び同一理由で過去に申請したことがない学生で、次に掲げるすべての事項に該当する者。 ア 家計支持者が失業・破産・事故・病気・死亡若しくは火災・風水害等の災害等により家計が急変し、生活の維持が極めて困難であると認められる者 イ 家計急変の事由が発生した月から12ヶ月以内である者 ウ 学習意欲があり、学業を継続し修了できる見込みがある	給付奨学金	30万円、40万円または50万円	同一の家計急変の事由での助成は、一人につき一回に限る。		原則年間10名		地域の制限なし	九州大学学生後援会事務局	併用可	併用可
	九州大学基金支援助成事業「海外留学支援事業」(学部・大学院共通 海外留学渡航支援)	入学後		留学費用支援制度	九州大学の正規課程に所属する学生で、次のいずれかによる留学が決定した者、又は予定している者 ただし、当該留学についての資金から該職員からの支援を受けている者は、対象外 ① 学生交渉協定に基づく交換留学(大学間又は部局間) ② グラブル・ディプリ=取組のための留学	給付奨学金	海外留学渡航支援金の支給額は、留学先の国及び地域に応じて次に掲げる額 A 区分 5万円 台湾、大陸韓国 B 区分 10万円 中華人民共和国、東洋アジア C 区分 15万円 南アジア、北米(ハワイ)、大洋洲諸島、モンゴル、ロシア(極東) D 区分 20万円 オセアニア E 区分 25万円 北米(ハワイを除く)、中米、南米、ヨーロッパ、ロシア(極東を除く)、中東、アフリカ	2事業年度連続して支給することはできない		40名程度		地域の制限なし	国際部留学課海外留学係	条件有り併用可	条件有り併用可
	九州大学交換留学奨学金	入学後		留学費用支援制度	大学間交換留学学生として決定された者	給付奨学金	一人一律6万円	最長12ヶ月		20名		地域の制限なし	国際部留学課海外留学係	併用不可	併用不可
	九州大学基金支援助成事業「海外留学支援事業」(学部・大学院共通 短期留学支援)	入学後		留学費用支援制度	九州大学の正規課程に所属する学生で、本学主催の支援対象短期プログラムへの参加を認められた者(成績等要件あり)	給付奨学金	支援額:1人あたり60,000円(現地派遣)または20,000円(オンライン) ※オンラインの場合は、学生負担が2万円以上のプログラムに限る。	学部・学部における在籍期間中それぞれ1回限り		約100名		地域の制限なし	国際部留学課海外留学係	併用可	併用可
	市川勲奨学金	入学後		学費支援	応募資格 次のいずれかに該当し、日本語を持つ学部生 ・社会的養護を必要とする者(児童養護施設等に入所している方など) ・経済的困難を必要とする者(両親と同居し、学生自費で生計を立てている者) ・経済的に極めて困難し、修学に支援が生じている学部1年生 採用人数 2名以内	給付奨学金	保護者がいない者 月額10万円 保護者がいる者 月額5万円	最長修業年限		2名以内		地域の制限なし	学務部キャリア・奨学支援課奨学金係	併用可	併用可
	中本博雄賞 修学支援奨学金	その他	入学前	学費支援 入学金・授業料減免	応募資格 次の(1)～(5)のすべてに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を申請年度に卒業見込の者、又は申請年度の前年度に卒業した者 (2) 申請年度の前年度5月1日から2月28日までに入学者となる者 (3) 学業成績(高等学校等の1年次から申込時までの全履修科目の評定平均値)が4.3以上の者 (4) 経済的事由により大学入学後の修学が困難である者 (5) 日本国籍を有する者 採用人数 10名程度	給付奨学金 免除・減免	月額8万円の奨学金(返還不要)及び授業料全額支援	最長修業年限		10名程度		地域の制限なし	学務部キャリア・奨学支援課奨学金係	条件有り併用可	併用可
	授業料免除	在学中	1年生～4年生(6年制課程は、1年生～6年生)	入学金・授業料減免	1 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者 2 授業料の納付期前(前入生は入学前1年以内)において、学生の学費を主として負担している者(以下「学費負担者」と言う)が死亡又は若しくは学費負担者の病気等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる者	免除・減免	本学が認定した経済的困難度に応じて、授業料の全額・半額・4分の1の額の免除を行う	前期および後期				地域の制限なし	学務部キャリア・奨学支援課奨学生納付金免除係	併用可	併用可
九州大学未来人材育成奨学金	在学中		学費支援 研究費支援	以下のすべてに該当する者 ・本学の学部又は学部の正規学生 ・学業成績が優秀である者 ・日本語能力試験1級(N1)レベル程度の日本語でのコミュニケーションが可能な者	給付奨学金	年額80万円	1年間			毎年度、民間企業による九州大学基金への寄付に基づく学費資金の総額により決定	地域の制限なし	学務部キャリア・奨学支援課奨学金係	併用可	併用可	
九州工業大学	経済的支援(BYOD)	その他	入学前	その他	ノートパソコン必須化に伴う経済的支援	ノートパソコン購入費を全額または半額支援する。 対象学部 1年生(入学前課) 対象学部 工学部、情報工学部 資格・条件 ・経済的な事情によりノートパソコンを用意することが困難な学生 ・日本学生支援機構の給付奨学金(採用候補者)かつ、次に該当する学生 ア 入学前1年以内に学費負担者が死亡した場合の学生自費を全額支援 イ 上記以外の学生で経済的困難度が高い学生若しくは半額支援 ・生協から購入する場合に限る。	その他	入学前1年以内に入学金負担者が死亡した場合等の学生若干名⇒全額支援 上記以外の学生で経済的困難度が高い学生若干名⇒半額支援(自己負担額15万円程度)			地域の制限なし				
	学長表彰(学業成績優秀賞)	在学中	各学部において被推薦者を選挙し、学長へ推薦	資格取得支援制度 その他	・優秀な学業成績を修めた学生を表彰し、希望する者には、本学生として必要と認められる語学検定試験の受験料を支援する。 ・海外インターンシップの参加を希望する者に参加費を支援すると共に、希望するインターンシップ企業に優先的に配属する。	優秀賞(3年次生) 1年次から2年次までの2年間における学業成績が優秀な学生 優秀賞(2年次生) 1年次における学業成績が優秀な学生	その他				地域の制限なし				
福岡教育大学	学業成績優秀者奨学金	在学中	3年生	特待生・成績優秀者		教育学部4年次に在籍する学生で、学業において優秀な成績を修めた者に対して支給する奨学金です。	給付奨学金	1人あたり10万円	1回限り	20名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	国際交流協定校派遣支援奨学金	その他	学年問わず、協定派遣留学の応募時	留学費用支援制度		全学生	給付奨学金	留学先の国(地域)ごとに規定している金額(1人あたり24～32万円)	1回限り			地域の制限なし	連携推進課	併用不可	併用可
佐賀大学	佐賀大学かさぎ奨学金	入学手続時		特待生・成績優秀者	①日本の高等学校若しくは中等教育学校を卒業見込の者及び卒業した者 ②一般入試を免除し合格した者のうち、成績上位の者 ③入学入試後に奨学金の支給を希望する者 採用予定人数1名を標準 但し、毎年度の継続の判定あり。	給付奨学金	年間300,000円	4年間(医学部医学科は8年間)但し、毎年度の継続の判定あり。		58名	地域の制限なし	学務部学生生活課	併用可	併用可	
	古賀常次郎記念奨学金	在学中	学部1年次	用途を定めない経済的支援		①学部1年生 ②各学部1名 ③推薦候補者のうち、佐賀県出身者(保護者が佐賀県在住者) 独立行政法人日本学生支援機構の給付奨学金第1種(支給給付者佐賀県出身の学生のうち、最も支援が必要とされる候補者から各学部1名を受給者として選考する。 なお、受給が決定した学生については、選考条件(就学状況、成績状況)を満たしているか確認を行い、受給の可否を決定する。	給付奨学金	年間200,000円(10月3日 各100,000円)	1年間(入学年度限りとする)		6名	佐賀県	学務部学生生活課	併用可	併用可
長崎大学	長崎大学海外留学奨学金	在学中	学部生及び大学院生が対象者に1回、4月頃	留学費用支援制度		本学に在籍したまま、本学が実施する派遣プログラム等により派遣される日本人学生で、次に掲げる要件を満たす者。 (1)学業成績が優秀で、人物等に優れている者で、かつ、原則として別に定める成績水準を満たす者 (2)その他学長が認めた者	給付奨学金	上限10万円(派遣地域により異なる)	同一年度に一回限り		地域の制限なし	学生支援部 留学支援課 留学生教育・支援班	併用不可	併用不可	
	田辺グローバル交流推進基金奨学金	在学中	学部生及び大学院生が対象者に1回、5月頃及び6月頃	留学費用支援制度		本学に在籍したまま本学が実施する単位取得を伴う派遣プログラム等により派遣される日本人学生で、次に掲げる条件を満たす者 (1)長崎グローバルコース(履修)終了学生 (2)学業成績が優秀で、人物等に優れている者で、かつ、別に定める成績水準を満たす者 (3)その他留学生教育・支援センター長が認めた者	給付奨学金	上限10万円(派遣地域により異なる)	同一年度に一回限り		地域の制限なし	学生支援部 留学支援課 留学生教育・支援班	併用不可	条件有り併用可	
	長崎大学入学時給付奨学金	学校出願時		特待生・成績優秀者		各学部(医学部は医学科と保健学科の一般選抜(前日選抜)の合格者上位20%以内の長崎県内出身者及び県外出身者のトータル27名の合計4名(全学部合計44名)を奨学金の給付対象者とす。	給付奨学金	30万円(入学科相当)	入学時		最大44名 ・長崎県内出身者枠 ・長崎県外出身者枠に区分	地域の制限なし	学生支援部学生支援課	併用可	併用可
	医学部研究医コース奨学金	在学中	研究医コースの第4年次から第6年次の年間一回、受験希望者を募る。	特待生・成績優秀者		医学部医学科研究医コースの第4年次から第6年次までに在学する中で、受給を希望する者	給付奨学金	月額5万円	3年間(大学院進学後に支給継続あり)		最大3名	地域の制限なし	生命医科学域・研究所事務部 学務課(医学部)	併用可	併用可
	井上清治医学研究奨励基金	在学中	各年度の前期に受給希望者を募る。	特待生・成績優秀者		在学中に優れた研究発表を国際学会、国際誌に行った者、あるいは将来国際的な医療・研究活動を期待できる医学系大学院生、学部学生に奨学金として提供する。ただし、在学中1人1回の支給とする。	給付奨学金	20万円	在学中1回の支給		5名	地域の制限なし	生命医科学域・研究所事務部 学務課(医学部)	併用可	併用可
長崎百合野病院・江崎義男海外留学支援基金	在学中	第3年次及び第5年次の3～6月に募集される海外リーダー候補者及び海外派遣臨床実習の志願された派遣候補者から受給希望者を募る。 グローバルリーダーの育成を目的し、リーダーとして未来の医療・研究活動を期待できる医学科生。	留学費用支援制度		第3年次及び第6年次に実施される海外リーダーセミナー及び海外派遣臨床実習に参加する者。	給付奨学金	1名につき上限20万円	選抜対象期間		年間400万円まで	地域の制限なし	生命医科学域・研究所事務部 学務課(医学部)	条件有り併用可	条件有り併用可	
大分大学	久保奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者		2年生～4年生の経済学部学生(研究生等は除く)(休学中および留学中の者、或いはそれを予定している者は応募できません。) 入学後の実績GPAが、4.0以上の者であること。 ※GPAは、少最第3位を標準とする。	給付奨学金	年額60万円(前・後期分をまとめて支給する)	①1年間 ②在学期間中に2回まで支給可能。		地域の制限なし	経済学部総務係	併用可	併用可	
	夢と希望の連携奨学金	その他	各学部からの推薦による	特待生・成績優秀者		2年次生、3年次生及び4年次生の学部学生のうち、前学年の学業成績がきわめて優秀である者。	給付奨学金	一人あたり10万円(一括)			地域の制限なし		併用可	併用可	
宮崎大学	TOEIC・TOEFL試験成績優秀者奨学金	その他	6月、9月、11月、1月 4回	特待生・成績優秀者		本学に在籍する日本人学生又は日本人大学院生のうち、在学中にTOEIC試験又はTOEFL試験の成績が優秀であった者、TOEICスコアが600点以上700点未満又はTOEFLスコアが70点以上100点未満で1回、TOEICが700点以上800点未満又はTOEFLが90点以上90点未満で1回、TOEICが900点以上又はTOEFLが90点以上1.0の最多で3回申請することができる。	給付奨学金	TOEICスコア又はTOEFLスコアに応じて、5,000円～50,000円を給付。			地域の制限なし		併用可	併用可	
	海外研修奨学金	随時		留学費用支援制度		本学が行う海外研修プログラムへの参加が経済的理由により困難な者	給付奨学金	10万円を限度			地域の制限なし		併用可	併用可	
	課外活動奨励会	その他	12月(年に1回)	課外活動支援制度		課外活動において優秀な成績を収めた者(団体)、その他奨励に値する顕著な功績等があった者(団体)	その他	成績、大会規模、貢献度等を考慮し、50,000円を上限とする。			地域の制限なし		併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によつて(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
鹿屋体育大学	特別奨学金給付制度	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援 被災者資金支援	特別奨学金の給付の対象者は、次のいずれかの事由により経済的に著しく困難であり、かつ修学態度が良好で、指導教員の推薦を得た者とする。 ①学費負担者の死亡 ②学費負担者の失職(会社の倒産による解雇又は早期退職等) ③学費負担者の健康 ④学費負担者の親族等による長期療養 ⑤学費負担者の自宅家屋の火災、風水害、震災等の罹災 ⑥その他学費負担者の責にふらぬ事由 ただし、次のいずれかに該当する者は、特別奨学生としない。 ①学部学生で修業年限を超えて在学している者 ②学部2年次終了時に30単位以上修得していない者 ③学部3年次終了時に30単位以上修得していない者 ④大学院学生で標準修業年限を超えて在学している者		給付奨学金	20万円	随時	5人程度	地域の制限なし	学生課 生活支援係	併用可	併用可	
	入学科特別免除制度	その他	出願時の競合格績に基づき大学が選考するため申請不要	入学金・授業料減免	競合格績優秀者(学部入学科) 総合選抜(SS)入試による入学者全員と、学校推薦型選抜による入学者のうち、オリンピック・世界選手権・アジア大会等の国際大会への出場者や全国大会で優秀な競合格績を持つ者の中から顧問教員の推薦を得た者。ただし、1競技につき2名まで(SSを優先)。		免除・減免	入学科(¥282,000)の全額免除	入学時	学部 競合格績優秀者 1競技につき2名まで(総合選抜SSを優先)	地域の制限なし	学生課 生活支援係	併用可	併用可	
	授業料特別免除	その他	学業成績、又は競合格績に基づき大学が選考するため申請不要	入学金・授業料減免	①学業成績優秀者(学部)・・・2年以上学業成績を累計の移得単位数(累積)及びGPA(年間及び累積)で評価し、成績優秀者(各年次(年間・累積)上位3名)。 ②競合格績優秀者・・・2年以上学部学生及び大学院修士課程学生で、オリンピック・世界選手権・アジア大会等の国際大会代表選手や日本選手権優勝などの優秀な競合格績を収めた学生のうち、顧問教員の推薦を得た者。(ただし、1競技2名まで)			免除・減免	前期授業料267,900円全額免除 学業が特に優秀と認められた学生については、「前」後期分の授業料を免除する。 このほか、学部4年(本学修士課程進学予定者を除く)を対象とした「後期分授業料」の免除がある。		①各年次(年間・累積)上位3名 ②1競技2名	地域の制限なし	学生課 生活支援係	併用可	併用可
琉球大学	入学科免除	入学手続時		入学金・授業料減免	令和2年度開始の修学支援新制度対象者を除く、学部学生・留学生・大学院生を対象とし、世帯の総収入が概ね200万円(学部生)または300万円(大学院生)未満、家計支持者死亡、災害の被災者等で授業料の納付が困難な者。		免除・減免	入学科の全額又は半額の減免	入学時に1回	予算に限り実施 令和5年度実績:全額免除47名 半額免除2	地域の制限なし	琉球大学 学部 学生支援課 学生課	併用不可	併用可	
	従来制度による授業料免除	その他	前期の授業料免除:3月～4月 後期の授業料免除:9月～10月	入学金・授業料減免	留学生・大学院生を対象とし、世帯の総収入が概ね550万円未満、家計支持者死亡、災害の被災者等で授業料の納付が困難な者。		免除・減免	申請学期の授業料の全額又は半額の減免	1学期	予算に限り実施。 (令和5年度実績) 前期:全額免除14名、半額免除86名 後期:全額免除17名、半額免除34名	地域の制限なし	学生部 学生支援課 学生課	併用不可	併用可	
	国立大学法人琉球大学基本運轉基金等 人材育成支援事業 海外留学支援制度(協定派遣)	その他	在学中(短期交換留学派遣候補生として採用後)	留学費用支援制度		・全学年・全学部対象 ・短期交換留学(協定派遣)制度に申請した者 ・前年度の成績評価係数が2.30以上である者 ・派遣先が北米又は欧米地域である者 ・派遣留学期間中に他の機関から助成を受けることがない者		給付奨学金	12万円/月額×派遣期間(最大12か月)+留学準備金24万円	交換留学派遣期間中(上限12か月)	年間2名程度	地域の制限なし	学生部国際教育課	併用不可	併用不可
	琉球大学QUEST基金 国際交流支援事業 短期派遣研修プログラム助成	在学中	全学年	留学費用支援制度		・全学年・全学部対象 ・本学が実施する短期派遣研修プログラムのうち、当該年度内に開始されるプログラムに参加することが確定している者 ・申請時の適算GPAが2.50以上である者 ・同一学期に、本助成の給付を受けていない者 ・留学先機関の所在地が、外務省の「領事サービスセンター(海外安全相談)」の情報提供サービス等における「海外安全ホームページ」上レベル2:不要不急の渡航は止めてください。』以上に該当する地域ではないこと。		給付奨学金	上限8万円～15万円(派遣地域により異なる)	上記成績を上限として一括給付	100名程度	地域の制限なし	学生部国際教育課	条件有りて併用可	条件有りて併用可
	琉球大学QUEST基金 国際交流支援事業 短期交換留学(協定派遣)奨学金	在学中	短期交換留学派遣候補生として採用後	留学費用支援制度		・全学年・全学部対象 ・日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者(特別永住者を含むが、定住者は含まれない) ・琉球大学短期交換留学(派遣)制度により派遣決定している者 ・申請時の適算GPA3.00(理、医、工、農学部の学部学生は適算GPA2.50)以上の者 ・短期交換留学(協定派遣)期間中に、他の機関から奨学金等の支援を受けることがない者		給付奨学金	6～8万円/月額(派遣地域により異なる) 派遣期間:上限11か月 留学準備金:16万円(累計基準あり)	交換留学派遣期間中(上限11か月)	年間35名程度	地域の制限なし	学生部国際教育課	併用不可	併用不可
	琉球大学QUEST基金 国際交流支援事業 英語能力試験受験料助成	在学中	在籍期間中(全学年、休学者も申請可)	資格取得支援制度 その他	語学能力試験助成制度	・全学年・全学部対象 ・本学の学部又は研究科の正規課程に在籍する学生で、在籍期間中に留学を希望する者のうち、募集期間内に実施された英語能力試験を受験した(休学者も申請可) ・対象試験:IELTSアカデミックモジュール、TOEFLBT		給付奨学金	1回の受験につき2万円	年間2回まで、在籍期間中4回まで受験可能	年間100名程度	地域の制限なし	学生部国際教育課	併用可	併用可
	令和6年度就職活動等支援事業	在学中	1年生～4年生	就職支援 その他		①就職活動(内定)報告書提出に伴う支援金の支給 【対象者】 内定又は内定を未だ取得した就職生 【支援金の支給額】 1件4,000円(1名あたり2件まで) 【募集期間】 令和6年6月17日～令和7年2月28日 ※予算に達し次第、募集を終了する。(上限報告書300件) ②海外就職(キャリア形成)活動に伴う宿泊費補助金の支給 【対象者】 在学中 【支援金の支給額】 1件4,000円(1名あたり1件まで) 【募集期間】 令和6年6月17日～令和7年1月31日 ※予算に達し次第、募集を終了する。(上限申請件数200件) ③海外企業(東京都)等を巡る研修の実施(学生は一部自己負担あり) 【対象者】 1～3年次の在学学生(10*15名) 【支援内容】 東京近郊の大手企業や就活イベントを訪問する研修の実施(一部学生負担あり) 【募集期間】 令和7年2月17日～令和7年2月21日	その他			(3)①【支援金の支給額】のとおりに ②【支援金の支給額】のとおりに ③③海外企業(東京都)等を巡る研修の実施について、本学の定める予算にて執行する。学生は一部費用を自己負担し参加するもの。	①150*200名まで ②200名まで ③10*15名	地域の制限なし	学生部 学生支援課 就職係	併用可	併用可
	琉球大学修学支援基金による学費支援事業	在学中	HP等にて案内。年に1回実施。	学費支援		【対象学年・学部】 各学部・研究科・学年を対象とし、各学部・研究科からの推薦に基づき、修学支援基金運営委員会での審議により決定。 【申請対象】 ・前年度又は当該年度における学費負担者死亡、風水害等の被害により経済的に著しく困難している者 ・前年度又は当該年度における学費負担者病弱等により、経済的に著しく困難している者 ・当該年度に授業料免除に申請し、全額免除ならなかった者で、経済的に著しく困難している者	給付奨学金	一律5万円支給。	1度の実施につき1回。	予算に限り実施。 (令和5年度実績) 69名	地域の制限なし	学生部 学生支援課 学生課	併用可	併用可	
	独自制度による授業料免除	その他	前期:3月～4月 後期:9月～10月	入学金・授業料減免		学部学生(留学生除く)で以下の事由のうち、経済的理由によって授業料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。 ・令和2年度以降入学の学部学生で、修学支援新制度へ申込みできない者 ・令和2年度以降入学の学部学生で、修学支援新制度へ申込みの経費が対象外となった者 ・令和元年度以前入学の学部学生で、修業年限超過により修学支援新制度へ申込みできない者	免除・減免	定期月110,000円、夜間月55,000円の減免。 ただし、予算の範囲内において当該制度については全額免除とすることができ。	学期毎	予算に限り実施。 (令和5年度実績) 前期:全額免除48名、一部免除78名 後期:全額免除50名、一部免除6名	地域の制限なし	学生部 学生支援課 学生課	併用不可	併用可	
	公益財団法人琉球大学後援財団国際交流奨励事業「留学生派遣奨励金」	在学中	短期交換留学派遣候補生として採用後	留学費用支援制度		・全学年・全学部対象 ・琉球大学短期交換留学(派遣)制度に申請した者 ・成績評価係数が2.30以上の者 ・短期交換留学(派遣)制度にかからず、本申請に係る留学(派遣)期間について、本申請に重畳して助成を受けていない者		給付奨学金	6万円/月額×派遣期間(上限10か月)	交換留学派遣期間中(上限10か月)	年間2名	地域の制限なし	学生部国際教育課	併用不可	併用不可
琉球大学同窓会奨学金	在学中	1年生～4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援		対象:全学年、全学部 条件:家計困難、かつ、真摯に留学活動(学費意欲のある者)		給付奨学金	①給付額60万円(1年分) ②給付額30万円(1年分) 給付額は同窓会で決定	1年間	①3人 ②4人	地域の制限なし	学生部学生支援課学生課	併用可	併用不可	
琉球大学後援財団奨学事業「EY税理士法人 プロフェッショナル育成奨学金」	在学中	1年生～4年生	学費支援 資格取得支援制度		対象:学部生、大学院生 条件:税理士、公認会計士、社会保険労務士または日商簿記1級の資格取得を目指している学生で、経済的理由により奨学金を必要としている者。卒業または今年度に琉球大学後援財団の奨学金を受給していない者。		給付奨学金	年額30万円	1年間	5名	地域の制限なし	学生部学生支援課学生課	併用可	併用可	
琉球大学後援財団奨学事業「琉球大学税理士育成奨学金」	在学中	1年生～4年生	学費支援 資格取得支援制度		対象:学部生、大学院生 条件:税理士資格取得のための受験勉強中で税理士試験1科目以上合格者である者。過去に本奨学金を受けたことがない者。		給付奨学金	年額10万円	1年間	2名	地域の制限なし	学生部学生支援課学生課	併用可	併用可	
琉球大学後援財団奨学事業「全保連未来創出奨学金」	在学中	1年生～3年生(医学科の場合は1年生から5年生)	学費支援 用途を定めない経済的支援		対象:1年生から3年生(医学科の場合は1年生から5年生)学部学生または最終年次以内に在籍する大学院生。 条件:上記のうち成績優秀な者。過去または今年度に琉球大学後援財団の奨学金を受給していない者。		給付奨学金	年額20万円	1年間	学部生5名、大学院生2名	地域の制限なし	学生部学生支援課学生課	併用可	併用可	
琉球大学後援財団奨学事業「金育青少年育成財団大学生奨学金」	在学中	4年生(医学科の場合は6年生)	学費支援 用途を定めない経済的支援		対象:最終年次に在籍する学部学生 条件:上記のうち成績優秀な者。過去または今年度に琉球大学後援財団の奨学金を受給していない者。		給付奨学金	年額10万円	1年間	5名	地域の制限なし	学生部学生支援課学生課	併用可	併用可	
琉球大学後援財団奨学事業「砂川恵伸奨学金」	在学中	1年生～4年生	学費支援 用途を定めない経済的支援		対象:全学年、全学部 条件:成績優秀な学部学生で、経済的に困難している者。過去または今年度に琉球大学後援財団の奨学金を受給していない者。		給付奨学金	年額25万円	1年間	学部学生3名、大学院生1名	地域の制限なし	学生部学生支援課学生課	併用可	併用可	
公立ほこだて未来大学	公立ほこだて未来大学授業料等の免除等	在学中		入学金・授業料減免	大学側に在学し、修学支援法第8条に定める認定を受けた場合に準ずる者として、基準に適合する場合。		免除・減免			①入学科 該当者には下記金額の全額または2/3または1/3を減免する。 地域内のみ:226,000円 地域外のみ:310,000円 ②授業料 該当者には下記金額の全額または2/3または1/3を減免する。 各期:267,900円(1年額:535,800円) の全額、2/3、1/3を減免	地域の制限なし		併用可	併用可	
	海外留学助成制度	その他	留学時	留学費用支援制度			その他	助成金 150,000円 渡航費および海外留学保険料として、留学出発前に支給します。 許可を得た留学期間を満了するに、自己都合により途中で帰国した場合は、助成金を返還しなければならない場合があります。	原則1人1回		地域の制限なし		併用可	併用可	
	22世紀奨学金制度	在学中	学部2年次選抜時	特待生・成績優秀者		学部1年次の適算GPAの上位者 参考:https://www.fun.ac.jp/news/9104		給付奨学金	総額100万円(表彰人数により分配)	学部2年次選抜時1回		地域の制限なし		併用可	併用可
札幌市立大学	授業料減免制度	入学後		入学金・授業料減免	対象:学部1～4年生(修学支援新制度対象外)、助産学専攻科生、研究科博士前期課程1～2年生、研究科博士後期課程1～3年生 条件:以下のすべての条件に該当する者(私費外国人留学生を除く) ①経済的理由により納付が困難であつて学業優秀と認められる者のうち、[学部生(修学支援新制度対象者)]に該当しない学生 ②日本学生支援機構の奨学金又はそれに類する奨学金の貸付もしくは給付を受けている者 ③申請に必要な書類を提出期限までに提出できる者		免除・減免	半期授業料の半額、1/3の額	前期(4～9月)、後期(10月～3月)	当該年度の予算により実施人数が決定する	地域の制限なし	学生課学生支援係	併用不可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によつて(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併用可否	
創価立大学	授業料減免制度	在学中	4年次	入学金・授業料減免	高等教育の修学支援新制度移行に伴う経過措置として、新制度において第3区分または対象外と認定された在学学生(4年次)を対象に、本の独自授業料減免制度の案計及び卒業成績の基準を満たす場合、授業料を半額減免とする。		免除・減免	半額減免 133,950円	1学期に1回	人数制限なし	地域の制限なし	総務課			
	東日本大震災に関する授業料減免制度	在学中		入学金・授業料減免	東日本大震災で被災された在学学生に対して、り災の状況により授業料の減免の措置を講じる。 1 死亡又は6か月以上の療養による生活困難 2 障害を有する半歳(年齢)以上の障害(持病のみ) 3 その他緊急事例(震災等) 4 福島第一原子力発電所の事故の影響による居住地(政府による避難指定区域に限る)からの避難 —一時帰郷等の被害 1)に該当する場合、入学料、授業料共に全額免除。 2,3,4のいずれかに該当する場合、生活保護受給者又は市町村控除課課税者は、入学料、授業料共に全額免除。それ以外は入学料、授業料内に半額減免。 5)に該当する場合、入学料が6万円減免。授業料については半額減免とする。 ※入学料・・・302,000円、授業料(前期・後期)各247,900円		免除・減免			人数制限なし	地域の制限なし	学生課			
	留学派遣補助事業	在学中		留学費用支援制度	協定校へ派遣される本学の学生に対し、その留学費用の一部を補助する。		その他	①韓国・台湾派遣留学生 渡航費用補助 上限300,000円、保険料補助 上限50,000円、健康診断書作成費用 実費 ②カナダ派遣留学生 派遣先大学の授業料 約200,000円、ホームステイ費用 約350,000円	1回の留学につき1回のみ	台湾、韓国 2名ずつ カナダ 3名	地域の制限なし	総務課			
	学生研究活動助成費交付制度	在学中		課外活動支援制度	学生の学外での研究活動に要する旅費の一部を助成することにより、学生の研究活動を支援し、その充実を図ることを目的とする。 助成対象は、専門課程1・2(3年生科目)及び専門演習Ⅱ(4年生科目)における学外研究活動。ただし、レクリエーション活動は対象外。		その他	学生1人につき、 ①参加地が北海道内の場合、上限1万円 ②参加地が北海道外の場合、上限2万円 ③参加地が海外の場合、上限5万円 ※助成金の額は、助成上乗額又は、実費の何れか低い金額とする。	1年度につき1回	3～4年生(R4年度は675名)が対象。 R3年度の助成実績は2名。	地域の制限なし	学生課			
	創価しんさん地域人材育成奨学会	在学中	3年生	特特生・成績優秀者	(1) 3年次の学生で、年次ごとに相応の単位を修得し、標準修業年限(4年)で卒業が見込まれる者 (2) 今年度開始時点の通常GPAが3.0以上である者 (3) 学業以外の活動にも積極的に取り組んでいる者 (4) 卒業後に創価団体に貢献を希望している者 (5) 反社会的勢力と関わりがない者		給付奨学金	年額10万円	1年間	年間3名	地域の制限なし	事務高学生課	併用可	併用可	
名古屋立大学	名古屋立大学給付型奨学金	その他	申請締切:毎年6月中	特特生・成績優秀者	1. 給付対象者 給付型奨学金は、向学心があり、学業成績が優秀な本学学生であつて、本学学生の属する世帯の奨学金の給付を受けよとする年度の前年の所得所得金額(所得税法(昭和40年法律第33号)第22条第2項に規定する所得所得金額をいう。)が424万円未満の者を給付対象者とします。 生計維持者の被扶養者が2人以上いるときは、本学学生を除く被扶養者1人につき38万円を乗じた額を加算して得た額未満の者を給付対象者とします。 2. 奨学生の決定方法 給付型奨学金を受けることができるのは、各学部各学年ごと1人となつており、合計で18人となります。 奨学生の決定にあつては、申請があつた本学学生のうち、2～4年生は奨学金を給付する年度の前年度の成績が最も優秀な学生を、1年生は奨学金を給付する年度の前期の成績が最も優秀な学生を、それぞれ奨学生として決定します。 3. 給付金額 給付型奨学金の給付金額は、月額2万円です。 4. 給付期間 給付型奨学金を給付する期間は、奨学生として決定した当該年度1年間とします。		給付奨学金	月額2万円	奨学生として決定した当該年度1年間	各学部各学年1人(合計16人)	地域の制限なし	事務高学生課	併用可	併用可	
	名古屋立大学災害一時給付奨学金	随時		被災者資金支援	1. 給付対象者 次の各号のいずれかに該当する者を給付対象者とします。 (1) 当該学部等で、学生の属する世帯の家業等に相当の損壊があつた場合 (2) 学生の属する世帯の生計維持者が死亡し、又は重度心身障害者(名古屋市重度心身障害者及びひびり親家親等の医療費の助成に関する条例(平成18年条例第13号)第2条第1項に該当する者をいう。)の認定を受けた場合 (3) その他特別に支拂する特別の事があることが市長が認めた場合 2. 奨学生の決定方法 申請を受理したときは、その内容を審査し、災害一時給付金を給付すべきものと認めるときは、災害一時給付金の給付を決定するものとします。 3. 給付金額 災害一時給付金の給付金額は10万円とし、申請理由1件につき1回とします。		給付奨学金	10万円	申請理由1件につき、1回1回限り	人数制限なし	事務高学生課	併用可	併用可		
	名古屋立大学学生海外留学奨学金	随時		留学費用支援制度	1. 交付対象者 次の各号のいずれかに該当する者となります。 (1) 外国の大学等に相当する教育施設の課程に在学して、その課程を履修する者 (2) 海外で短期研修を受講する者 (3) 本学が実施する海外交流事業に参加する者 2. 交付対象経費 (1) 航空運賃 (2) 留学先教育施設の授業料、施設利用費等 (3) 受入れ国の国際空港から留学先までの国内交通費(1往復分) (4) 空港料、燃料費、タクシー料及び出国手續費用 (5) 滞在料(食費、教養(パソコン)取得手續費用) (6) 海外生活保護費 (7) 滞在費又はホームステイ料 (8) 海外交流事業に参加する場合は、前各号に掲げる費用の一部又は全部を含む同事業の参加費用 3. 交付金額 交付対象経費の2分の1以内で、6万円を限度とします。また、交付は本学に1回限りとします。		給付奨学金	留学費用の2分の1(5万円上限)	在学中1回限り	人数制限なし	事務高学生課	併用可	併用可		
公立千歳科学技術大学	災害救助法適用地域からの受験に関する特別措置	その他	入学検定料の免除、出願開始日の遅滞前、入学料の免除、各試験個別の入学手続期間中	被災者資金支援	災害救助法適用地域(入学予定年月日から前1年以内に災害救助法が適用された地域)の災害により次のいずれかに該当し、本人に必要経費を全て申請許可された者。 (1) 主たる学費負担者が所有する自宅家屋が損壊(全壊・大規模半壊)した場合 (2) 主たる学費負担者が死亡または行方不明の場合 ※ 災害救助法適用地域については、日本学生支援機構のホームページを参照してください。 <a href="https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/riji/chiki/index.html">https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/riji/chiki/index.html</a>		免除・減免		入学検定料:出願手続時 入学料:入学手続時		地域制限なし	入試広報課	併用可	併用可	
旭川立大学	特別奨学生	在学中	学部2～4年生	特特生・成績優秀者		・学部2～4年生 ・学業成績優秀かつ、人柄に優れ、他の学生の模範になると認められる者	給付奨学金	年5万円	1年間	若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	同窓会「立錫会」奨学生	在学中	学部2～4年生	特特生・成績優秀者		・学部2～4年生 ・人物・学業共に優秀である者	給付奨学金	年3万円	1年間	若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
	後援会奨学生	在学中	学部1～4年生及び大学院生	特特生・成績優秀者		・学部1～4年生及び大学院生 ① 経済的理由により学業の継続が困難である者 ② 学業成績が強く学業継続の意思がある者	給付奨学金	年5万円	1年間	若干名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可	
札幌医科大学	授業料減免制度(大学独自制度)	その他	前期申請期間:3月上旬～4月上旬、後期申請期間:7月中旬～8月中旬	その他	授業料減免(入学金は対象外)	学部生・大学院生・専攻科生を対象とし、学費の支弁が極めて困難な事情にある学生	免除・減免	書案により対象となつた学生について、各区分に応じて減免 ①全額免除 ②1/2減額 ③1/3減額	半期毎(前期・後期)	人数制限なし(当該年度の予算額に依り決定)	地域の制限なし	事務高学務課・学務・学生支援係	併用不可	併用可	
	札幌医科大学小野和子奨学金	在学中	毎年度9月下旬、学年に制限なし	学費支援		①学業、人物ともに優れた学生であつて、経済的理由により修学が困難である者 ②毎年度前期又は後期において、本学授業料の減免対象となる者	貸与奨学金	年額60万円(無利子)	貸与を決定した年度から標準修業年限まで	毎年度5名以内	地域の制限なし	事務高学務課・学務・学生支援係	併用可	併用可	
青森県立保健大学	授業料減免	入学後	1年～4年生の学部学生対象	入学金・授業料減免		給付型奨学金の支給対象者として認定を受けることができない者で、家計基準及び学力基準のいずれにも該当する学部生	免除・減免	(1) 授業料の全額免除 (2) 授業料の3分の2の免除 (3) 授業料の3分の1の免除 (4) 授業料の4分の1の免除	年2回(前期・後期)	人数制限なし	地域の制限なし	教務学生課	併用不可	併用可	
宮城大学	授業料減免(経済的理由による減免)	その他	前期分:4月～5月頃 後期分:9月～10月頃	入学金・授業料減免		対象:外国人留学生や大学院生等、国の修学支援新制度への申請が不可である者 条件:経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ、学業成績が優良である場合	免除・減免	本学が定める条件を満たす者に対し、当該期に係る授業料を全額減免又は半額減免		年間20名程度	地域の制限なし	事務高学生支援課学生支援グループ	併用不可	併用可	
秋田県立大学	学部入学生特待生制度	在学中	1年生の指定された時期	特特生・成績優秀者		秋田県内の高等学校等を卒業(修了)した者で、次の①から③のいずれかの条件を満たす者 ①すべての選抜区分の入学者において、大学入学共通テストの得点率(※)が、システム科学技術学部および生物資源科学部の各学部で最上位の者 ②総合型選抜および推薦選抜1・Ⅱ・Ⅲにより選抜された入学生で、大学入学共通テストの得点率(※)が70%以上である者 ③一般選抜により選抜された入学生で、大学入学共通テストの得点率(※)が75%以上である者 (※)本学の一般選抜で各学部が定める5教科7科目または5教科8科目の得点率です。ただし、総合型選抜および推薦選抜1・Ⅱ・Ⅲにより選抜された入学者の場合は、「成績通知書」を提出した者に限りま。	給付奨学金	年間授業料相当額	年間授業料相当額	決定された年度から4年間給付(ただし、当該年度の学業成績(結果)により、翌年度の奨学金の給付が停止される場合がある)。	制限なし	秋田県	秋田キャンパス 教務チーム	併用可	併用可
	学部在学学生特待生制度	在学中	2年生～4年生	特特生・成績優秀者		本学部在学中の成績等により決定された者(2～4年生の者で当該年度進級者に限る)。ただし、学部入学生特待生を除く	給付奨学金	年間授業料相当額の半額	決定された年度の末日まで	学年ごと20名以内	地域の制限なし	秋田キャンパス 教務チーム	併用可	併用可	
	学生寮	随時		寮制度		実家が秋田キャンパスから60キロ以上離れている、または片道1時間30分以上かかること、経済的理由により入寮を希望する学生で、授業料減免適用基準を満たす者については優先的に入寮できる。	その他	実費 月額5,000円	学部、大学院在籍期間中	男女各120名まで	地域の制限なし	秋田キャンパス 学生チーム	併用可	併用可	
	秋田県立大学20周年記念奨学金	在学中	学部1年生～4年生、大学院1年生～3年生	用途を定めない経済的支援		次のすべてを満たす者 (1) 秋田県内高校を卒業し、交付時に在学している正規生 (2) 学業を継続することが経済的理由が認められる者 (3) ①に定める成績基準を満たした者 (4) 過去に秋田県立大学10周年記念奨学金又は本奨学金の交付を受けていない者	給付奨学金	20万円	在学期間に1回	1年度あたり最大10名交付	秋田県	秋田キャンパス 学生チーム	併用可	併用可	
	秋田公立奥州大学	秋田公立奥州大学奨学金制度	その他	申請不要、本学在学中の成績等により学長が選考する。	特特生・成績優秀者		2年生から4年生までの当該年度の進級者のうち、前年度通常学業成績の優秀者から決定	給付奨学金	予算の範囲内で決定(一人あたり10万円予定)	決定時に一括支給	学年ごと2年生および3年生は3名以内、4年生は6名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
国際教養大学	AU留学時成績優秀者報奨奨学金	その他	各学期末(年度末を除く)に、留学中に交換留学へ出発する学部生から、成績優秀者を選考する。	特特生・成績優秀者		留学より大学が履修付ける1年間の交換留学に出発する学部生(留学候補生)の中から、当学期のGPA 上位者を大学が選抜する。	給付奨学金	100,000円	一回限り	①年間10名を上限とする。	地域の制限なし	学生課 学生支援チーム	併用可	併用可	
	AU秋田県出身学生奨学金「わか村奨学金」	入学後		学費支援		2012年4月以降に入学した秋田県出身学生(学部生、院生、特別科目等履修生)のうち、本制度に申請し、大学が定めた期日までに授業料を納付した学生	給付奨学金	①80,100円/学期 240,050円/学期(本学独自授業料減免制度適用の場合)	学期毎に申請、採用。	人数制限なし	秋田県	学生課 学生支援チーム	併用可	併用可	
	AU秋田県外出身学生奨学金「修学支援奨学金」	入学後		学費支援		2012年4月以降に入学の秋田県外出身の学部生で、国の高等教育修学支援新制度の適用を受けていない学部正規生。かつ、本制度に申請し、大学が定めた期日までに授業料を納付した者。	給付奨学金	国の高等教育修学支援新制度の支援区分(Ⅰ～Ⅶ)により、学期毎に①80,100円 254,400円 ②248,700円 ③203,100円/学期のいずれか。	学期毎に申請、採用。	人数制限なし	地域の制限なし	学生課 学生支援チーム	併用可	併用可	
	AUアンバサダー奨励金	入学後		研修支援制度		国内外あるいはオンラインで開催される国際会議または研究発表会に参加する学部学生、特別科目等履修生、大学院生で、その参加が本人、あるいは大学に有益と認められる場合、旅費、登録料等を補助。本人の申請を受けて選抜。	給付奨学金	国内最大2万円、海外最大5万円、オンラインによる参加最大1万円	支給は一人一回まで。	国内10人、海外1人、オンラインによる参加35人(※オンライン参加は2024年度限り)	地域の制限なし	学生課 学生支援チーム	併用可	併用可	
	AUふきのとう特別奨学金	入学後		学費支援		毎年1月の申請時点で、授業料減免、各種給付型奨学金が不適用の正規学生(院・学部)および特別科目等履修生が対象。本人の申請を受けて、家計状況や成績等を大学が総合的に判断し、選抜。	給付奨学金	15万円/回	1回限り。採用年度数の応募は不可。	若干名	地域の制限なし	学生課学生支援チーム	併用不可	併用不可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によっては「(4)対象学年・学部・資格・条件」の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
山形県立米沢実業大学	教育振興奨学金	随時		学費支援	家計支持者の就職、破産、病気、風水被害等により家計が急変し、日本学生支援機構奨学金の緊急・応急採用奨学金を利用しても不足する場合、申請により本学教育振興奨学金を貸与する制度になります。		貸与奨学金	一年度あたり60万円以内、上限120万円			地域の制限なし	総務企画課	併用可	併用可	
	授業料免除	入学後		入学金・授業料減免	経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績優秀と認められるとき、その他やむを得ない事情(災害による損失等)があるときは、申請により返還の上、その期の授業料の半額又は全額を免除する制度です。 要件は①原則として日本学生支援機構等の奨学金を受給している学生又は受給見込みのある学生で、経済的理由によって納付が困難であると認められ、かつ、学業優秀と認められる場合②授業料の滞りた時期ごとの6ヶ月以内(1年生の前期分の授業料の滞りた場合は、入学前1年以内)において、学生の学費を全額支払っている者が死亡し、又は学生本人又は学費負担者が風水被害等の災害を受ける等のやむを得ない事情があり、納付が困難であると認められる場合です。 成績優秀者の成績要件は、1年生の前期は出身高校の評定平均が4.0以上の者、1年生の後期から4年生までは授業料免除対象の直前期までの卒業要件科目の履修単位数が基準(1年後期18単位、2年前期30単位、2年後期60単位、3年前期77単位、3年後期38単位、4年前期103単位、4年後期110単位)を満たし、かつ、GPAの取組が2.7以上の者		免除・減免	授業料の半額又は全額免除					地域の制限なし	教務学生課	併用可
山形県立保健医療大学	大学独自制度による減免	随時		入学金・授業料減免	国の修学支援制度で対象外となった者、全額免除とならなかった者について、大学独自の基準で減免を行う。 (対象者) ・経済的理由により授業料の納付が困難であると認められ、かつ、学業優秀と認められる者 ・授業料の滞りた時期ごとの6ヶ月以内(新たに在学することになった人から入学した日)の属する学期分の授業料の滞りた場合は、入学前1年以内)において、学費負担者の死亡、又は学生本人又は学費負担者が風水被害等の災害を受ける等の特別な事由により、授業料の納付が困難であると認められる者		免除・減免	【減金額】 ①国の修学支援制度による授業料の滞りた額が3分の2である場合 3分の1 ②国の修学支援制度による授業料の滞りた額が3分の1である場合 3分の2又は6分の1 ③国の修学支援制度による授業料の滞りた額が4分の1である場合 4分の3又は4分の2 ④国の修学支援制度の対象とならない場合 全額又は半額			人数制限なし	地域の制限なし	教務学生課	併用可	併用可
会津大学	会津大学修学支援協賛施設創設事業	入学手続時		寮制度	本学の学部へ新たに入学した学生		その他	【参考】(一人部屋の場合)寄宿料:月額17,000円、共益費:月額2,000円、入居時預り金:42,000円			地域の制限なし				
	会津大学後援会ボランティア活動奨励補助事業	随時		課外活動支援制度	1~4年生 (1)ボランティア活動を行っていること (2)ボランティア活動に際し、交通費、消耗品購入費等が発生し、他の団体から補助を受けていないこと		その他	ボランティア活動に際した交通費、消耗品購入費等を1回の申請で上限10,000円とし、実費支給する。(在学中1人1回とする。)			地域の制限なし				
	会津大学後援会研習助成事業	随時		研修支援制度	1~4年生		その他	(1)海外で開催される国際学会・国際会議等で研究成果等の発表を行う学部生に対し、7万円を限度に旅費の一部を助成する。 (2)指導教員が学生の研究等に有意義と認められる研修会等へ参加する学部生へ3万円を限度に旅費(交通費、宿泊費)を助成する。			地域の制限なし				
	会津大学海外短期留学支援事業	その他		プログラム実施時期に併せて	留学費用支援制度	本学に在学する学生(但し、学部1年生~3年生が対象。外国人留学生は除く)		その他	大学予算の範囲内で下記の一部を補助 (1)留学先への往復交通費(国内旅行・海外旅行)、(2)海外旅行保険料、(3)変更申請費用			地域の制限なし			
	会津大学後援会スキルアップ奨励事業	随時		資格取得支援制度	1~4年生 (1)TOEIC・TOEFL ・スコアに応じて最大3万円を支給 ・TOEIC SWテスト受験料を助成 (2)情報処理技術者試験 ・応用情報技術者試験:2万円 ・その他の上級試験等:3万円		その他	※上記(4)資格・条件・欄記載のとおり			地域の制限なし				
	会津大学留学準備のための英語体験プログラム	その他		プログラム実施期間に併せて	研修支援制度	本学に在学する学生(但し、学部1年生~3年生が対象。)		その他	大学予算の範囲内で下記の一部を補助 (1)研修先への往復交通費(国内旅行)、(2)研修費、(3)宿泊費			地域の制限なし			
	BBC奨励会加入によるTOEICテスト受験料の割引制度	その他		試験実施時に併せて	資格取得支援制度	大学がBBC(一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会)の賛助会員となっており「団体特別受験」を実施。これにより学生は本会費として受験が可能であり、各種テストの受験料(学生負担額も割引となる)下記参照。 ・TOEICテスト:1,100円/名(通常価格2,200円/名) ・TOEFLエスピーングテスト(ライティングテスト):8,115円/名(通常価格9,215円/名)		その他			地域の制限なし				
東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故に伴う入学入生の入学金免除措置 ※2023年度以降未定	被災者資金支援	入学手続時		被災者資金支援	次のいずれかに該当する2022年度入学試験合格者 (1)2011年3月11日に発生した東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災した方で、学費負担者の家族が「全壊」「大規模半壊」「半壊」「流失」のいずれかによって被災された方 (2)東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災した方で、学費負担者が死亡又は行方不明となつた方 (3)東日本大震災に起因して発生した福島第一原子力発電所事故を受け2021年9月1日現在「帰還困難区域」及び「避難指示解除準備区域」に設定されている地に2011年3月11日時点で学費負担者が居住していた方		免除・減免	県内出身者は282,000円、県外出身者は564,000円	入学時		人数制限なし	地域の制限なし	学生支援係	併用不可	併用可
	被災者資金支援	学校出願時		被災者資金支援	次のいずれかに該当する2022年度在学(2022年度新入生を含む) (1)2011年3月11日に発生した東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災した世帯で、学費負担者の家族(学費負担者が専業主婦となる場合「大規模半壊」「半壊」「流失」のいずれかによって被災された方) (2)東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災した世帯で、学費負担者が死亡又は行方不明となつた方 (3)東日本大震災に起因して発生した福島第一原子力発電所事故を受け2021年10月1日現在「帰還困難区域」及び「避難指示解除準備区域」に設定されている地に、2011年3月11日時点で学費負担者が居住していた方		免除・減免	全額及び原費返還者は全額免除、半額は半額免除。			人数制限なし	地域の制限なし	学生支援係	併用不可	併用可
会津大学後援会就職活動交通費補助事業	就職支援 その他	随時		就職支援 その他	就職活動を行う学部3年生及び4年生 (1)公共交通機関を利用していること (2)向応企業説明会及び会社説明会、採用試験などの就職活動を行った交通費であること		その他	10,000円を上限とする。(在学中1人1回とする。)			地域の制限なし				
	就職支援	随時		就職支援	就職活動を行う学部3年生及び4年生 合同企業説明会及び会社説明会、採用試験などの就職活動に併し、宿泊施設を利用していること		その他	10,000円を上限とする。(在学中1人1回とする。)			地域の制限なし				
	その他	随時		プログラム実施に併せて	留学費用支援制度		その他				地域の制限なし				
福島県立医科大学	授業料等免除制度	在学中	1学年~6学年まで	入学金・授業料減免	対象学年・全学年 学部・全学部 内容・学業成績が優秀で、かつ経済的理由により授業料の納入が困難であると認められる場合に、授業料の減免を行う。		免除・減免	納入期間において納入すべき授業料の額の全部又は2分の1に相当する額			地域の制限なし	教育研修支援課	併用不可	併用可	
前橋工科大学	前橋市出身者入学金半額	学校出願時		入学金・授業料減免	入学する者またはその配偶者若しくは1親等の親族が入学年の4月1日において引き続き1年以上前橋市に住所を有している場合入学金が半額		免除・減免	入学金が半額(141,000円)			群馬県	総務課財務係	併用可	併用可	
	前橋市出身入学者特待制度	学校出願時		入学金・授業料減免	次の2つの条件を満たした場合、年間の授業料が半額 ①前橋市内に1年以上住所を有している (入学年の4月1日において、1年以上前橋市に住所を有している) ②大入学金共通テストで、次の科目の各得点が全て全国平均点以上 【数学1・数学2】、「数学Ⅲ・数学Ⅳ(数Ⅲ)」、「英語」、「外国語」、「物理」、「化学」、「生物」から1科目(英得点のものを採用)		免除・減免	年間授業料が半額(267,900円)			群馬県	総務課財務係	併用可	併用可	
通常減免	通常減免	その他	前期申請締切:4月下旬 後期申請締切:10月下旬	学費支援 入学金・授業料減免	次のいずれかに該当し、かつ、学業成績及び人物ともに優秀と認められる人に対して授業料の減免を行います。ただし、合理的な理由がないのに日本学生支援機構などの奨学金を申請しない及び特別な理由がないのに正規の授業年限を超えて在学している人は、対象外です。 (1)本学の大学院生であつて、学費負担者が生活保護法に規定する要保護者又はそれに準ずる程度に困難していると認められる人(生活保護受給者は全額免除、その他の人は半額免除) (2)納付期間前6か月以内において、学費負担者が死亡しその他の災害によって被災し、授業料の滞りた場合は、入学前1年以内(入学前1年以内)において、学生の学費を全額支払っている者が死亡し、又は学生本人又は学費負担者が風水被害等の災害を受ける等のやむを得ない事情があり、納付が困難であると認められる場合 (3)納付期間前6か月以内において学費負担者が死亡し、授業料の滞りた場合は、入学前1年以内(入学前1年以内)において、学生の学費を全額支払っている者が死亡し、又は学生本人又は学費負担者が風水被害等の災害を受ける等のやむを得ない事情があり、納付が困難であると認められる人(全額免除) (4)私費で在学する学生で、授業料の滞りた場合は、入学前1年以内(入学前1年以内)において、学生の学費を全額支払っている者が死亡し、又は学生本人又は学費負担者が風水被害等の災害を受ける等のやむを得ない事情があり、納付が困難であると認められる人(減免の基準については、(1)を準用する。) (5)その他特例減免の必要があると認められる人		免除・減免	全額免除の場合・・・267,900円 半額免除の場合・・・133,950円	前期・後期ごと申請可能。		人数制限なし	地域の制限なし	総務課財務係	併用不可	併用可
	※(1)から(4)までについては、1年生前期に係る授業料の減免は、行いません。 ※(2)及び(5)については、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免対象者は、申請できません。														
群馬県立県民健康科学大学	新型コロナウイルス感染症の影響による家計急変に伴う授業料の減免	その他	前期出願締切:6月30日 後期出願締切:9月末頃	入学金・授業料減免	授業料の減免の対象とする者は、学部及び大学院の学生(聴講生、特別聴講生、科目等履修生、研究生及び大学院院附置12系に規定する者を除く。以下「学生」という。)、で、次の各号のいずれかに該当する者に対して行うものとする。なお、令和5年度前期において、この取組要綱に基づき授業料の減免を受けた者については、後期は減免の対象から除くものとする。 (1)国等教育修学支援制度による授業料減免を受けていない中で、国又は地方公共団体等新型コロナウイルス感染症の発生による収入減少が顕著な世帯を対象として実施する給付型奨学金の申し出があり、かつ令和5年度の家計の収入見込みについて、学長が別に定める審査基準を満たす者 (2)国等教育修学支援制度による授業料減免を受けていない中で、令和5年における生計維持者の一方又は両方の所得見込みが令和5年の所得と比較し2分の1以下となつており、かつ令和5年の家計の収入見込みについて、学長が別に定める審査基準を満たす者		免除・減免	前期または後期授業料(267,900円)の半額免除				地域の制限なし	事務局学生課係	条件有り併用可	条件有り併用可
群馬県立女子大学	留学期間中の授業料減免	在学中	1年生~4年生	入学金・授業料減免	大学で承認した6か月以上の留学者(アソシエイト)		免除・減免	535,800円(年額)又は267,900円(半年分)	半年又は1年		地域の制限なし	学生係	併用可	併用可	
	海外留学支援プログラム	在学中	1~4年。ただし、4年生後期は申請不可。	留学費用支援制度	給付奨学金		貸与奨学金	滞りた授業料 滞りた授業料の半額、長期留学期間40万円上限、短期滞り20万円上限。	1回限り		地域の制限なし	外国語教育研究所	併用可	併用可	
高崎経済大学	永井ホールディングススポーツ活動奨励奨学金	在学中	1年生	課外活動支援制度 その他	高崎経済大学体育会に所属するスポーツ団体の学生に修学及びスポーツ活動を容易にするための支援 体育会に所属するスポーツ団体の1年生 賞金を受けた者のうち大学卒業後群馬県内に本社を有する企業等(民間企業、地方公共団体、他に加盟した者に限り)に就職し、在学中に在籍する期間における返済額に半額を免除する		貸与奨学金	修業年額を限度 4ヶ月分を一括して貸与 支払月は4月、8月、12月			地域の制限なし	教育グループ 学生支援チーム	併用可	併用可	
東京立大学	東京立大学日本人学生等の経済的理由等による授業料減免	その他	入学決定後 前期申請締切:4月上旬 後期申請締切:9月中旬 毎年申請ごとに申請が必要 高等教育の修学支援新制度該当者は申請不要	入学金・授業料減免	①東京都の子育て世帯対象の新支援制度 ・学生の生計維持者(原則父母)が、減免申請日に関する年度の前年度の12月31日以前、申請時までに引き続き前年度に住所を有していること ・高等専門学校等初めて卒業した年度の翌年度の日から、東京立大学に入学した日と2年を経過していないこと。 ②取付制度(生計維持者の住所地及び進学までの期間は不同) ・申請者の学生本人及びその生計維持者の住所等について、区市町村民税所得割の課税標準額に6%を超えた額から課税控除の額と控除額を差し引いた額(課税標準額)の合計が前年度の定額課税標準額に相当する場合は、授業料全額又は半額免除 ※世帯年収の目安は世帯年収(父・母・本人・中学生の家族の4人家族)の場合、年収約47万円未満の場合全額免除、47万円以上574万円未満の場合半額免除 ただし、①②ともに、留年者・成績不振者(年次修了判定不合格者等)・休学者・停学者・学生入学者、転入学者、所属変更等過去に親の学年次と同一の学年次に半額以上在籍していたことがある者は該当期間について対象外(本学以外の大学又は大学院における在籍を含む) ③高等教育の修学支援新制度で第Ⅱ区分・第Ⅲ区分に該当する学生について、授業料支払分を本学独自の上限まで全額免除		免除・減免	①半期授業料全額:260,400円 全額免除:260,400円 半額免除:130,200円 ②Ⅲ区分:84,800円 Ⅳ区分:173,800円				地域の制限なし	東京立大学管理課学生課庶務係	条件有り併用可	併用可
	東京立大学入学金減免	入学手続時		入学金・授業料減免	対象:すべての正規学生で日本国籍を有する者、特別永住者又は永住者 ①生活保護世帯に属する者 ②日本学生支援機構の給付型奨学金 ③入学手続日以前1年以内において学費負担者が死亡し、又は天災・その他の災害により家計が急変し、世帯の生計が著しく困難である者		免除・減免	①全額免除 ②支援区分が第Ⅰ区分:全額免除 第Ⅱ区分:2/3額免除 第Ⅲ区分:1/3額免除 ③全額免除または半額免除	1回限り		人数制限なし	地域の制限なし	東京立大学管理課学生課庶務係	条件有り併用可	併用可

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によつて(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
川崎市立看護大学	入学時成績優秀者奨学金	入学出願時		特待生・成績優秀者	入学試験(学校推薦型選抜の合格者は別途、大学共通テスト受験)において極めて優秀な成績を上げ、かつ将来への目的やビジョンを明確に持つ学生を選抜し、大学前半における看護教育の基礎的教育課程を集中して取り組める環境作りを支援するため実施。	給付奨学金	給付奨学金	入学金と2年間の授業料相当額(最大1,353,600円)	2年間(第1・2学年)	年間6名程度	地域の制限なし	事務局総務学生課	併用可	併用可
	地域定着促進奨学金	入学後		特待生・成績優秀者	第2学年時の成績が優秀かつ、将来川崎市内の医療施設等で看護師または保健師として就職しようという意思のある者(市内医療機関等に就職し、異動に二年間従事した場合、賞金額の返還を免除する。)	貸与奨学金	貸与奨学金	月額5万円	2年間(第3・4学年)	年間10名程度	地域の制限なし	事務局総務学生課	併用可	併用可
	地域就職促進奨学金	入学後		学費支援	将来川崎市内の医療施設等で看護師または保健師として就職しようという意思のある者(市内医療機関等に就職した場合、利息を免除)	貸与奨学金	貸与奨学金	毎月1万円から5万円(選択制)	第1学年から第4学年まで	年間10名程度	地域の制限なし	事務局総務学生課	併用可	併用可
横浜国立大学	伊藤雅俊奨学金制度	その他	申込不要	特待生・成績優秀者	国際教育学部の2~4年次の成績優秀者。	給付奨学金	給付奨学金	一括25万円。		各年2名、計6名。	地域の制限なし			
	YCU入学サポート給付金	入学後		学費支援	日本学生支援機構給付型奨学金。	給付奨学金	給付奨学金	入学時の施設費(8万円上限)	入学時のみ	人数制限なし	地域の制限なし			
	YCU留学サポート奨学金	入学後		特待生・成績優秀者 留学費用支援制度	ゼミスター・留学派遣学生のうち特に優秀な学生	給付奨学金	給付奨学金	一括100万円上限	最大4年間	3名	地域の制限なし			
	はまぎん Global Challenge奨学金	入学後		留学費用支援制度	自らの課題をもって海外へチャレンジする学生 ①グローバル型【学部生・大学院生対象】 ②経済支援型【学部生対象】	給付奨学金	給付奨学金	①グローバル型200万円上限 ②経済支援型 20万円上限	最大4年間	①2名上限 ②10名上限	地域の制限なし			
	「N」コンサルティング チャレンジプログラム	入学後		課外活動支援制度	自らの課題意識により、社会課題解決にチャレンジする自主的な活動が出来る学生 国際教育学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部、国際総合科学部に在籍する1年~4年次生	給付奨学金	給付奨学金	一括50万円	最大4年間	最大7名	地域の制限なし			
	緊急応急対応型授業料減免制度	入学後		入学金・授業料減免	本学が定める家計急変事由(1~4)のいずれかに該当すること。 (1)主たる生計維持者の死亡 (2)主たる生計維持者の高齢(入籍等)によりか月に給費できない場合 (3)主たる生計維持者の失業(自己都合でない失業に限る) (4)主たる生計維持者若しくは1親等以内の親族又は学生本人が居住のために使用している建物が、災害等により著しい損傷を受けた場合 ※事由発生60日以内の申請が必要。 ※高等教育の修学支援新制度(家計急変)に申請不可である者。 ※申請日の属する年度の授業料が免除されない者。 ※申請日の属する年度に休学及び退学の予定がない者、退学処分を受けていない者又は予定がない者。 ※在学期間を過ぎ事業継続分の減額済を受けていない者。 ※何らかの奨学金を受給中または申請中であることが必要。	免除・減免	免除・減免	申請日の属する年度の授業料を減免	半期			地域の制限なし		
	災害復興費金	入学後		被災者資金支援	大災・地震・風水害等により、著しい被害を受けた者。	給付奨学金	給付奨学金	上限10万円				地域の制限なし		
	夏季短期語学研修プログラム	入学後		留学費用支援制度	プログラム参加学生全員	給付奨学金	給付奨学金	40,000円			50名	地域の制限なし		
	海外フィールドワーク支援プログラム	入学後		留学費用支援制度	当該科目を履修していること等(ゼミ単位での履修)	給付奨学金	給付奨学金	10,000円+グループ単位の奨学金90,000円	①1年間 ②1回限り		200名	地域の制限なし		
	外国人留学生給付型奨学金(授業料減免)	入学後		入学金・授業料減免	海外からの私費留学生(正規生)	免除・減免	免除・減免	授業料の1/2または1/4			未定	地域の制限なし		
成績優秀者特待生制度	その他		学内推薦のため学生からの申し込みは不可。	特待生・成績優秀者	前年度成績優秀者(1年次生を除く)	給付奨学金	給付奨学金	20万円		52名	地域の制限なし			
入試成績で決定する外国人留学生給付型奨学金制度(授業料減免)	入学出願時			入学金・授業料減免	外国人留学生特別選抜第1期募集における国際教育学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部の上位合格者で、大学入学の時点で在留資格「留学」を有する者。	免除・減免	免除・減免	入学初年度授業料を全額免除	①1年間 ②1回限り	国際教育学部2名 国際商学部2名 理学部1名 データサイエンス学部1名	地域の制限なし			
新潟県立大学	大学独自の授業料減免	在学中	1年生~4年生	入学金・授業料減免	学部生でいずれかに該当する者 天災その他の特別な事情により、市町村長助の減免を受けた者の世帯に属する者 上記に掲げる場合のほか、特に授業料を免除する必要があると認められる者	免除・減免	免除・減免	当該学期分の授業料の金額又は半額	減免対象となった学期	人数制限なし	地域の制限なし	教務学生課	併用可	併用可
	学修奨励金	在学中	2年生以上	用途を定めない経済的支援	(1)奨励金の申請時において、公立大学法人新潟県立大学の修学支援制度における授業料等減免に関する規程第2条の規定及びその他の制度により、授業料の全額を免除されない者(休学者を除く) (2)学業を継続することに経済的困難が認められる者 (3)別に定める成績基準を満たす者	給付奨学金	給付奨学金	10万円	同一学生について在学期間を連日1回	年間24名程度	地域の制限なし	教務学生課	条件有り併用可	併用可
	緊急修学支援金	在学中	1年生~4年生	用途を定めない経済的支援	1. 学費負担者の収入又は学生本人のアルバイト等による収入が激減した等の理由で、経済的に困難し、その修学及び生活の継続が困難な状態である者 2. 本学において支援の必要性を認められた者	給付奨学金	給付奨学金	5万円	同一学生について在学期間を連日1回	年間1~8名程度	地域の制限なし	教務学生課	併用可	併用可
	海外派遣留学奨学金	その他	前期1月頃 後期11月頃		留学費用支援制度	対象 本学の正規課程に在学している学生で、本学と教育・学術交流に関する協定又は覚書を交わした海外の大学等に1学期間または1年間留学する者 資格 ①学期に規定する意旨を受けたことがないこと ②申請時において「納める」全額を完済していること(休学により納めることを要しない期間を除く) ③独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の海外留学支援制度(協定派遣)奨学金、またはそれと同等以上の条件の他の奨学金を受給しないこと ④過去において、派遣留学奨学金を受給していないこと	給付奨学金	給付奨学金	10万円	1回限り	原則として1協定校あたり1名	地域の制限なし	国際交流課	併用可
長岡造形大学	長岡造形大学優秀学生賞	その他	申請制ではない	特待生・成績優秀者	2年生以上、各学科1名 人格にすぐれ、学業成績が特に優秀である者	給付奨学金	給付奨学金	表彰状、副賞5万円	1回限り	年間11名	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	授業料等減免	在学中		入学金・授業料減免	全学年全学科、経済的理由により修学が困難で、人物および学業成績が特に優秀である学生。ただし、高等教育の修学支援新制度における給付型奨学金に採用となつた者を除く。	免除・減免	免除・減免	(授業料+実習料)の後期分を減免 292,900円	当該年度	人数制限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可
	国際交流事業支援奨学金	随時		留学費用支援制度	全学生対象	給付奨学金	給付奨学金	出国する空港から目的地の空港に到着するまでに要する往復航空運賃(国際サーチャージ、空港利用料、出入国税、航空保険料等を含む)として実際に学生が支払った額の半分(ただし上限10万円)	同一年度1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	教務課	併用可	併用可
三上市立大学	高麗龍鳳奨学金	入学後		学費支援	1年次は、一般選抜前期日程合格者のうち、成績優秀者を奨学生として内定。 2から4年次は本学の要項に基づき選考	給付奨学金	給付奨学金	年間48万円を2回に分けて給付	1年間	1から4年次 各10人	地域の制限なし	Student Support Unit	併用可	併用可
	高橋スカラシップ	入学後		学費支援	1年次は、一般選抜前期日程合格者のうち、成績優秀者を奨学生として内定。 2から4年次は本学の要項に基づき選考	給付奨学金	給付奨学金	年間48万円を2回に分けて給付	1年間	1から4年次 各4人	地域の制限なし	Student Support Unit	併用可	併用可
	スノーピークフェローシップ	入学後		学費支援	3年次から本学の要項に基づき選考	給付奨学金	給付奨学金	年間48万円を2回に分けて給付	1年間	3から4年次 各4人	地域の制限なし	Student Support Unit	併用可	併用可
富山県立大学	授業料等特別免除制度	その他	1年次および1年次該当者は年度以降も基準を満たす場合は4年次まで	特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免	入試区分(一般(前期・後期)、推薦)ごとの、下記の基準に該当する者について、1年間の授業料及び入学料を免除する制度。 学部1年次生 富山県内高等学校出身者のうち、大学入学共通テストの得点率が60%を上回り、本学入試の総合評価が高い者(全額免除) 学部2年次生以降 1年次において特別免除に該当し、前年次の成績が学科内で原則上位10%以内の者(収入基準により金額又は半額免除)	免除・減免	免除・減免	授業料減免: 535,800円(年額) 入学料減免: 188,000円(富山県の住民)	1年間	1年次 14名以内(前期日程合格者: 概ね10名、後期日程合格者: 概ね2名、学校推薦型選抜合格者: 概ね2名) 2年次生以上 1年次において特別免除に該当し、前年次の成績が学科内で上位10%以内の者全員が対象	富山県	教務課学生係	併用可	併用可
	金沢美術工芸大学	入学金減免制度	入学手続時	入学金・授業料減免	経済的理由により入学金の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる学生。	免除・減免	免除・減免	全額減免: 282,000円 / 2/3減免: 188,000円 / 1/3減免: 94,000円	学部及び大学院に入学時等。※成績などの審査あり	人数制限なし	地域の制限なし	総務課	併用可	併用可
	授業料減免制度	随時		入学金・授業料減免	経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる学生。	免除・減免	免除・減免	全額減免: 287,900円 / 2/3減免: 178,600円 / 1/3減免: 89,300円	学部及び大学院に在学の期間。※成績などの審査あり	人数制限なし	地域の制限なし	総務課	併用可	併用可
	緊急支援奨学金	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援	学費負担者の死亡、会社等の倒産又は解雇等により、やむを得ず失職したとき(定年退職や自己都合退職を除く)など、経済的理由により修学の継続が困難となつた者。	給付奨学金	給付奨学金	学費または生活費の援助、一括で12万円。	該事由発生から6ヶ月以内、同一の理由による奨学金の給付は在学中1回限り。	人数制限なし	地域の制限なし	総務課	併用可	併用可
	ワールドワイド奨学金	入学後		研修支援制度 留学費用支援制度	本学に在学する学生(大学院生を含む)で、アットに關係する国際機関等の企画事業及び自らが企画する自己研修等による、概ね3日以上、の海外研修を計画している者。	給付奨学金	給付奨学金	学生が海外で行う人、文化等との交流を通じた研修活動費の一部を支援。一括で5万円。	1年に1回。	年間10名程度(年度によって異なる)	地域の制限なし	総務課	併用可	併用可
福井県立大学	特待生制度	在学中	2年、3年、4年の前期1回、後期1回	特待生・成績優秀者	学業成績が特に優れ、かつ、人物が優秀であると認められる学生について、学期ごとに、各学科および各年次1名(経済学部においては各学科2名)の学生を特待生と決定	給付奨学金	給付奨学金	10万円	6月、11月	経済学部、経営学部は各学年で2名 その他の学科は各学年で1名 2024年度前期は29名(新学科があるため、本年度より変更あり)	地域の制限なし	就職・生活支援課	併用可	併用可
	都留文科大	スタートアップ奨学金	入学後	特待生・成績優秀者	学科別募集定員按分率による各試験における入学試験の上位者から決定する。	給付奨学金	給付奨学金	5万円	1回限り	74	地域の制限なし	学生支援課 学生担当	併用可	併用可
	成績優秀者奨学金	在学中	2年生~4年生	特待生・成績優秀者	①成績優秀者 前年度の成績評価において、学内での成績評価方式(グレートポイント・アベレージ)の値が最上位の者で、各学科の2学年、3学年及び学年からそれぞれ1名とする。 ②成績優秀者 前号の成績評価方式の成績が上位2位から5位までの者で、各学科の2学年、3学年及び4学年からそれぞれ4人(国際教育学科に限り1位の者1人とする。ただし、成績評価の値が同値の場合は、この限りでない)。	給付奨学金	給付奨学金	①成績優秀者 学年・学科ごと10万円 ②成績優秀者 学年・学科ごと2~5万円	学年につき1回限り	①学科・学年ごと1名 ②学科・学年ごと4名(国際教育学科のみ1名)	地域の制限なし	学生支援課 学生担当	併用可	併用可
	グローバル教育奨学金	在学中	学部生 1年生~4年生 大学院生 1年生~2年生	留学費用支援制度	次の各号に掲げるすべてを満たす者とする。 (1) JASSO海外留学支援制度(協定派遣)による経済的支援を受けられない者 (2) 留学を開始する年度の前年度の成績がGPA2.4以上の者(1年次に留学する場合は、前年度のGPA2.4以上の者)ただし、協定短期留学(学費及びGPA1.0未満)に参加する者を除く。 (3) 都留文科大大学院又は都留文科大大学院に規定する意旨を受けていない者	給付奨学金	給付奨学金	(留学区分別給付月額) ① 交換留学又は国際教育学科交換留学 月額4万円~8万円 ② 協定留学又は協定派遣留学 月額2万円~4万円 ③ 協定短期留学研修 1回(1回につき)2万円 ④ グローバル授業 1回(1回につき)2万円(海外での授業期間が8日未満の場合は2分の1の支給) ⑤ 協定短期留学研修又はグローバル授業の給付 研修まで ⑥ 大学院海外研修 1回25万円(給付年度額(2024年度)54万円を限度)	(給付期間) 原則9ヶ月(給付回数) ①交換留学又は国際教育学科交換留学の給付 1回につき1回限り ②協定留学又は協定派遣留学の給付 1回につき1回限り ③協定短期留学研修又はグローバル授業の給付 研修まで ④大学院海外研修 1回25万円(給付年度額(2024年度)54万円を限度)	各学科の入学定員の15%以内	地域の制限なし	教務課 国際交流センター	併用可	併用可
	進学奨励金	在学中	学部生 1年生~4年生 大学院生 1年生~2年生	留学費用支援制度	国外での進学希望者。選考については学内組織である奨学金審査委員会が行う。	給付奨学金	給付奨学金	上限額50万円	①1年間 ②1回限り	毎年度の予算範囲内	地域の制限なし	教務課 国際交流センター	併用可	併用可
	授業料免除	その他	前期出願締切 4月下旬 後期出願締切 9月下旬	入学金・授業料減免	(対象学年) 学部生 1年生(後期のみ)~4年生 大学院生 1年生(後期のみ)~4年生 (申請資格) 成績優秀者のうち次のいずれかに該当する者(高等教育の修学支援新制度に申し込みできない者に限る) ①入学後、学費負担者の生計困難(親や兄弟姉妹等14親)による生活費援助を受けたこととなった者。 ②学費負担者が死亡、長期の疾病、生業の不振又は失業のため生計が著しく不良となった者。 ③学費負担者が死亡、天災その他の災害等により生計困難を受けた者。 ④その他いかなるに著する経済的理由により、授業料の納入が困難な者。	免除・減免	免除・減免	授業料相当額または授業料相当額の半額を免除			地域の制限なし	学生支援課 学生担当	併用不可	併用可

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によつて(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
長野大学	特待生制度	在学中		特待生・成績優秀者		全学部全学科 2・3・4年生 若干名 (1)新2年生～新4年生の学部生 (2)2年生 1年次終了まで236単位以上を修得 3年生 2年次終了まで272単位以上を修得 4年生 3年次終了まで310単位以上を修得 3年次編入 2年次終了または3年次編入時点で62単位以上※を修得(※選修単位も含む) 4年次編入 3年次終了まで298単位以上を修得 (3)前年度の履修科目中で、「優」以上の成績の科目割合が50%以上である (4)前年度の履修科目の中に「不可」がない (5)前年度の履修科目の中に「可」が2科目以上ない	給付奨学金	20万円	①1年間 ②1回限り		地域制なし	教育グループ学生支援担当	併用可	併用可
長野県立大学	長野県立大学授業料等の徴収猶予	在学中	1～4年生	学費支援 その他	授業料の徴収猶予	(1)対象学年：全学年(1年生～4年生が対象) (2)対象学部：全学部(グローバルマネジメント学部、健康発達学部) (3)条件等：次のいずれかに該当するとき ①経済的理由により納付期限までに授業料の納付が困難であり、かつ、学業復学と認められる場合、②天災、家計支持者の疾病又は死亡、家業不慮その他の世帯の状況に因じ、授業料の納付が困難であると認められる場合、③行方不明の場合、④や心を得ない事情があると認められる場合	その他	授業料年額：535,800円的全額または半額		人数の制限なし	地域の制限なし	学務課学生支援係	併用可	併用可
	長野県立大学私費外国人留学生の授業料等の減免	その他		入学金・授業料減免 その他	授業料の免除(2年生以上で引き続き入学を継続する私費外国人留学生が対象)	(1)対象学年：全学年(1～4年生) (2)対象学部：全学部(グローバルマネジメント学部、健康発達学部) (3)条件等：大学で定める学業基準等を満たすこと	免除・減免	・入学料：423,000円(1/3を減免) ・授業料年額：535,800円(半額を減免) ・寮費年額：150,000円(全額を減免)(ただし、2年生以上、共益費は除く)		人数制限なし	地域の制限なし	学務課学生支援係	併用可	併用可
岐阜薬科大学	岐阜薬科大学村山記念奨学金	在学中	5年生～6年生	特待生・成績優秀者	①本学薬学科6年次に進級した学生 ②入学後の学業成績が特待生に優秀で、他の学生の範となる者 今後の制度変更により、令和6年度以降の入学生には現在と異なる内容での適用となる場合があります。		給付奨学金	年額25万円	2年間		地域の制限なし	事務局教務厚生課	併用可	併用可
	岐阜薬科大学村山記念国際交流奨学金	在学中		国際活動支援制度	国際交流の一環の進展を図り、教育・学術研究の発展に資することを目的とし、主に米国等の姉妹大学へ学生派遣を行う際に給付	主に米国等の姉妹大学へ学生派遣となった者	給付奨学金	約25万円	1回限り	6名程度	地域の制限なし	事務局教務厚生課	併用可	条件有り併用可
愛知県立大学	「はばたけ 県大生」奨学制度	在学中	全学年対象、4月に募集	研究費支援		1 資格 【学部生の部】 学部在学中、個人で学術調査研究活動に取り組みむ者 ただし、既卒は学部在学中に一度のみ 2 採択予定人数 【学部生の部】 国外研究4名、国内研究9名 3 選考 選考基準により審査する ※年度により採択人数等が変更することがある	給付奨学金	国外研究：一人当たり250,000円以内 国内研究：一人当たり150,000円以内	1回限り		【学部生の部】 国外研究4名、国内研究9名(それぞれ予定人数)	学生支援課	併用可	併用可
三重県立看護大学	授業料減免制度	入学後		入学金・授業料減免		・1年～4年の看護学生対象 ・経済的理由によって学費の負担が困難であると認められる者その他特に必要があると認められる者。 (次等特等奨学支援法等により、授業料減免の対象となり、かつ独立行政法人日本学生支援機構の給付奨学金を受給する者が対象となる。)	免除・減免	大学等特等支援法等により、授業料の3分の1の額を減額できるとされた者については、半額を減額する。	半期ごとに申請を受け付け支給する。	人数制限なし	地域の制限なし	教務学生課	併用可	併用可
	みかん大進学支援給付金制度	入学後		その他	経済的に困難している者で、次のいずれかに該当する者。 (1)次の①と②の両方に該当する者 (2)独立行政法人日本学生支援機構の給付奨学金であること (3)三重県奨励助成費特待生奨学資金、三重県南紀事業計画看護師学資金又は三重県内の市町や両院等が授ける修学資金等の支給者(支給希望者)であること (4)理事長が支援の必要性を認めた者		給付奨学金	20万円	1年次に一括で支給	5人	地域の制限なし	教務学生課	併用可	併用可
福知山公立大学	福知山公立大学入学支援交付金	入学後		入学金・授業料減免	入学の日の1年前から引き続き福知山市に住所を有する方。		その他	入学金の3分の1に相当する額(94,000円)を返済する。 ただし、「高等教育の修学支援新制度」で第1区分～第3区分の給付奨学生となり、入学料の減免を受ける場合は該当外。第3区分の給付奨学生となり入学料の減免を受ける場合は、本制度の軽減分との差額(23,500円)を返済。	1回限り		京都府	学務課 学生支援係	条件有り併用可	条件有り併用可
	福知山公立大学学生修学支援交付金	随時		学費支援 用途を定めない経済的支援		○対象者 本学在学学生(休学中の学生、聴講生並びに科目等履修生を除く) ○目的 災害等の緊急事態により経済的に窮乏している学生に対し、本学が一時的に資金の貸し付けを行い、学生生活の安定と学業への専念を図ることを目的としています。 ○申請 年間を通じて随時受け付けます。	貸付奨学金	○貸付(無料貸付) 生活費貸付：一人あたり年間20万円まで、 年間授業料貸付：一人あたり年間53万円まで。			地域の制限なし	学務課 学生支援係	併用可	併用可
	検定合格奨励賞	随時		資格取得支援制度		○対象 全学生	その他	○診療情報管理士／¥10,000 ○社会調査士／¥5,500 ○TOEIC／50点以上 ¥10,000、600点以上 ¥6,490 ○中国語コミュニケーション能力検定試験／500点以上 ¥6,600、400点以上 ¥6,600 ○自動車運転免許試験／1級 ¥15,000、2級 ¥4,720、3級 2,850 ○ファイナンシャルプランナー／1級 ¥20,000、2級 ¥8,700、3級 ¥3,040 ○国内旅行業務取扱管理者試験／¥5,500 ○総合旅行業務取扱管理者試験／¥6,500 ○応用経済士／1級 ¥30,000、2級 ¥15,400、3級 ¥8,640 ○ITパスポート試験／¥2,850 ○情報セキュリティマネジメント試験／¥5,700 ○基本情報技術者試験／¥5,700 ほか			地域の制限なし	学務課 教務係	併用可	併用可
	株式会社大福精工商会奨学金	その他		入学前の学費が指定する申請期間(12月上旬～1月中旬頃)	用途を定めない経済的支援	以下の①～③をすべて満たす者 ①学校推薦型選抜 地域枠の合格者で入学手続きを行った者 ②成績・人物ともに優秀である者 ③日本学生支援機構給付奨学金の採用候補予定者(予約採用で申込みをした者に限る)	給付奨学金	自宅生100,000円 / 自宅外生 200,000円	1回限り		地域の制限なし	学務課 学生支援係	併用可	併用可
京都市立芸術大学	交換留学生派遣費給付制度	随時		留学費用支援制度	学部・研究科を問わず、交換留学協定校へ留学する学生全員が対象。		給付奨学金	30万円		①留学期間中 ②1回限り	地域の制限なし	教務学生課 学生・国際担当	併用可	併用可
	交換留学生奨学金給付制度	随時		特待生・成績優秀者 留学費用支援制度	交換留学協定校へ留学する者の内枠に優れた者に対して、交換留学生派遣費に加えて、奨学金を給付する。 美術学部・専攻科、の学生。		給付奨学金	50万円		①奨学金中 ②1回限り	地域の制限なし	教務学生課 学生・国際担当	併用可	併用可
	授業料減免制度	入学後		入学金・授業料減免		・高等教育奨学支援制度の対象とならない学部生 ・大学で定める学業基準、家計基準を満たすもの	免除・減免	半期の授業料につき全学、7割、5割、3割減免	半期ごとに募集、支給	予算範囲内で人数制限なし	地域の制限なし	教務学生課 学生・国際担当	併用不可	併用不可

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によつて(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
大阪公立大学	大阪公立大学等授業料等支援制度	入学後		入学金・授業料減免	1 対象 学部生 2 大阪府在住要件 学生本人及びその生計維持者(原則、父母)が、入学日の3年以上前から引き続き大阪府内に住所を有していること 3 大学等に入学するまでの期間等に関する要件 高等学校等を初めて卒業した年度の翌年度の末日から、大学等に入学した日までの期間が2年を経過していないこと 4 家計の経済状況に関する要件 家族4人世帯(生計維持者のうちどちらか一方が働き、本人、中学生の場合)、年収目安910万円未満までの世帯が対象 5 学業成績等に関する要件 入学料、学修計画書により学修意欲を確認	入学後	免除・減免	入学料(入学時4月に申請した場合に限り適用) 全額免除 282,000円 2/3免除 183,000円 1/3免除 94,000円 3/4免除 21,000円 授業料 全額免除 535,800円 2/3免除 357,200円 1/3免除 178,600円 3/4免除 40,100円	支援対象以降、卒業までの間。ただし、成績不振や留年が確定した時点で支給を中止する。 (高等教育の修学支援新制度に準拠)	人数上限なし	大阪府	学生課	併用可	併用可
	大阪公立大学グローバルリーダー育成奨学金制度	在学中	2年生	特待生・成績優秀者	次の条件をすべて満たす者とする。(ただし、休学者を除く。) (1) 本学に在籍する学部・学級2年次生であること。 (2) 1年次終了時の累積成績基準が(GPA2)以上(1年次39単位以上取得)であること。 (3) 別表1に示す母国語以外の語学レベルであること。 (4) 本学入学金又は別に別表2に示す活動・経歴が有ること。 (5) 父母等及び本人が大阪公立大学教育後援会会員であること。 応募時に提出した活動計画に基づき活動など、特筆すべき成果をおきた奨学生については、翌年度も奨学金を支給することがある。 別表1 英語 TOEIC (80スコア(80点以上)、TOEFL iBT(69以上)、英検検定(準1級以上)、HELTS(5.5以上) フランス語 フランス語検定(2級以上) スペイン語 スペイン語検定(3級以上) ロシア語 ロシア語検定(2級以上) 中国語 中国語検定(2級以上) アラビア語 アラビア語検定(3級以上) ドイツ語 ドイツ語検定(2級以上) 朝鮮語 韓国語能力試験(4級以上) 日本語 日本語能力試験(N2以上) 別表2 これまでの活動・経歴内容 ・国際交流イベント、学生国際会議及び国内外プログラム等の研修への参加 ・国内外でのボランティア活動 ・学内外の撮影、コンテスト及び大会等での受賞 ・取組した賞状等 ・その他か、本制度の主旨に合致する活動 ※上記内容はオンラインでの活動も対象とする		給付奨学金	年度内1名あたり、30万円	年間1回限り	年間10名以内	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	大阪公立大学河村夫記念奨学金制度	入学後		用途を定めない経済的支援	次の条件をすべて満たす者とする。(外国人留学生及び研究生等は対象外) (1) 申請時に当該年度の授業料減免(※1)を受けていない者 (2) 申請時に当該年度の修学奨励金(※2)による減免を受けていない者 (3) 連続在籍年限以内の者 (4) 申請時に在学していない者 ※1 授業料減免は、①国の高等教育の修学支援新制度②大阪公立大学独自の授業料減免を指す。 ※2 大学院博士後期(博士)課程対象の大学独自の制度		給付奨学金	1名あたり、年間10万円	年間1回限り	10名程度	地域の制限なし	学生課	併用不可	条件有り併用可
	大阪公立大学授業料減免制度	入学後		入学金・授業料減免	1. 学部・学部生のうち、経済的理由のため授業料を納付することが困難な者で、次の要件に該当する者 2. 高等教育の修学支援新制度及び大阪公立大学等授業料等支援制度の申請要件「大学への入学時期に係る基準」に該当しない者		免除・減免	授業料 全額免除 535,800円 2/3免除 357,200円 1/3免除 178,600円 (入学料は適用外)	年1回	未定	地域の制限なし	学生課	併用不可	併用不可
神戸市看護大学	公立大学法人神戸市看護大学授業料等減免	入学後		入学金・授業料減免	1年～4年生対象(留年者は除く) 留年の前所得が大学が定める所得区分の限度値以内であること 取得平均値について、大学が定める平均値以上あること 成績平均値について、大学が定める平均値以上あること		免除・減免	授業料(535,800円)の全額または半額 (※留年者特待、成績等により異なる)	在学期間中(留年者は除く)	人数制限なし	地域の制限なし	教務学生課	併用可	併用可
兵庫県立大学	授業料の減免、成績優秀者奨学金等	その他		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免 課外活動支援制度	○授業料の減免 期間:2～5月 後期:9～10月 ○成績優秀者奨学金等 4月中旬～7月初旬 ○成績優秀者奨学金等 ①各学部学科のGPA優秀者 ②優秀部活動等奨励金 ・部活動やサークル活動等の課外活動において、スポーツ・文化活動の分野で、優れた実績を挙げた学生団体・個人 ③優秀地域貢献活動奨励金 ・地域や自治体への貢献活動を行い、成果等を挙げている学生団体・個人		給付奨学金 免除・減免	○授業料等減免制度 -授業料の半額又は全額免除 ○成績優秀者奨学金等 ①成績優秀者奨学金等 -最優秀者15万円 優秀者3万円 ②優秀部活動等奨励金 -上限10万円 ③優秀地域貢献活動奨励金 -上限10万円	○授業料減免制度 -授業料は前学期後期に分ける ○成績優秀者奨学金等 -年に一度	○授業料減免制度 -人数制限はないが、年間総額が年間授業料収入の12.5%以内の範囲内 ○成績優秀者奨学金等 ①成績優秀者奨学金 -最優秀者33人 優秀者34人 ②優秀部活動等奨励金 -5団体又は個人 ③優秀地域貢献活動奨励金 -3団体又は個人	地域の制限なし	教務企画部教育企画課	併用可	併用可
神戸市外国語大学	派遣留学補助制度	その他	留学決定後	留学費用支援制度	派遣留学生として選考された者、留学に係る他の奨学金の支給を受けていない者。		給付奨学金	1年間50万円、半年28万円、スペイン語圏派遣15万円(3～4ヵ月)、短期派遣5万円(1ヵ月)	半年または1年間、スペイン語圏派遣プログラムの期間、短期派遣プログラムの期間	予算の範囲内	地域の制限なし	国際交流センター	併用不可	併用不可
	視野スクラシップ	その他	11月上旬	留学費用支援制度	チャレンジ精神の旺盛な大学院生・学部生を対象とし、選考を経て支給を決定する。原則留学に係る他の奨学金の支給を受けていない者。		給付奨学金	1人当たり最大250万円	原則1年間	若干名	地域の制限なし	国際交流センター	併用不可	条件有り併用可
	授業料等減免制度	在学中	1年生～4年生	入学金・授業料減免	生活保護法による生活扶助を受けている学生、または授業料の納付に困難をきたしている学生のうち、別に定める所得・学業成績基準を満たしている学生。		免除・減免	授業料、入学金の全額または半額	前期授業料及び後期授業料、入学金	当該年度の予算内で執行	地域の制限なし	学生支援班	併用可	併用可
	入学金の市内認定制度	入学手続き時		入学金・授業料減免	神戸市民およびその子弟 神戸市民とは、入学日の1年前から引き続き神戸市に住所を有する者をいう。 また、「その子弟」とは、神戸市民の配偶者または親等の親族をいう。		免除・減免	学部生:神戸市民以外 423,000円・神戸市民およびその子弟 282,000円 2部生:神戸市民以外 211,500円・神戸市民およびその子弟 141,000円	入学手続き時に、対象者へのみ減額した納付書を配付。	上限なし	兵庫県	計務班	併用可	併用可
	橋ヶ丘会留学補助制度	その他	短期派遣プログラム応募時	留学費用支援制度	短期派遣留学者のうち、橋ヶ丘会(本学同窓会)加入者に対し、選考結果に基づき支給。		給付奨学金	5万円	短期派遣プログラム実行期間	予算の範囲内	地域の制限なし	国際交流センター	併用不可	併用不可
	スティーブ山田スクラシップ	その他	11月上旬	留学費用支援制度	経済的に困難しながらも海外の大学・大学院に1年以上留学を希望する者。 チャレンジ精神の旺盛な大学院生・学部生を対象とし、選考を経て支給を決定する。 原則留学に係る他の奨学金の支給を受けていない者。		給付奨学金	1人当たり最大350万円(国・地域・留学形態による)	原則1年間	若干名	地域の制限なし	国際交流センター	併用不可	条件有り併用可
芸術文化観光専門職大学	大学独自の授業料免除制度	入学後		入学金・授業料減免	経済的理由により授業料の納付が難しく困難な者で、国の学費支援制度の認定を受けているか、新規申請予定の者。		免除・減免	(2) 授業料相当額のみ。 (6) 授業料は半年分:267,900円)	前期、後期でそれぞれ認定し、減免する。	人数制限なし	地域の制限なし	教務企画部教育企画課	併用可	併用可
奈良県立大学	学業優秀学生表彰制度	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者	2年生及び3年生は前年度に取得した学業成績(ただし、24単位以上の履修登録をしていること)の上位者から各3名、4年生は前年度までに取得した学業成績の上位者から3名を表彰する。(1年生は選考の対象外)		給付奨学金	学業成績が上位の者から順に20万円、15万円、10万円。	年に1回限り	各学年3名	地域の制限なし	教務・学生課	併用可	併用可
和歌山県立医科大学	修学奨学金	在学中	医学部6年生	その他	卒業後本学において2年間の臨床研修を行う意思のある本学医学部6年生対象		貸与奨学金	月額5万円または10万円	1年間	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	修学奨励金	在学中	医学部6年生	その他	卒業後、本学基礎医学教室において基礎医学研究に従事する意思のある本学医学部6年生		貸与奨学金	月額5万円または10万円	1年間	若干名	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	授業料減免	在学中	5年生以上	入学金・授業料減免	①令和元年度以前の入学者で、3歳以上入学した学部生 ②令和元年度以前の入学者で、留学生(日本国籍以外)である学部生 ③令和元年度以前の入学者で、留年継続のある学部生		免除・減免	授業料の全額または半額	半年間(半期ごと)に申請及び審査あり	若干名	地域の制限なし	学生課	条件有り併用可	併用可
公立鳥取環境大学	入学料減免	入学手続き時		入学金・授業料減免	<学部・大学院生の場合> (1) 入学年度の前半年度において、学業負担者が死亡した場合 (2) 本人若しくは学費負担者の居住する自宅が震災・風水害等により全・半壊又は流出した場合及びこれに準ずる相当の事由があると認められる場合 (3) その他入学料の納入が特に困難であると理事長が認めた場合 <私費外国人留学生的の場合> 私費外国人留学生在籍における日本留学生試験の得点合計が配合点合計の75%以上であること。		免除・減免	<学部・大学院生の場合> (全額免除)282,000円 (半額免除)141,000円 <私費外国人留学生的の場合> (入学料)30,000円(1免除)54,000円	入学料納付時	人数制限なし	地域の制限なし	入試広報課	併用可	併用可
	授業料減免	入学後		入学金・授業料減免	<学部生の場合> (全額免除・半額免除とも) 同一学料の委員全員が住民税非課税であること。 (半額免除) 前年度の成績が、2年次生は32単位以上、3年次生は64単位以上、4年次生は3年次までの必修科目を修得し96単位以上を修得していること、1年次生は前期に16単位以上を修得していること。 (全額免除) 生活保護法等 半額免除の基準を満たした2年次生以上で、前年度の成績が満点平均85点以上または満点平均が所属する学科の上位20%以内であること。 <私費外国人留学生的の場合> 1年次…前期に10単位以上を修得していること、かつ前期の満点平均が90点以上又は所属する学科及び学年の上位30%以内であること。 2年次…1年次終了時まで32単位以上を修得していること、かつ前年度の満点平均が80点以上又は所属する学科及び学年の上位30%以内であること。 3年次…2年次終了時まで64単位以上を修得していること、かつ前年度の満点平均が80点以上又は所属する学科及び学年の上位30%以内であること。 4年次…3年次終了時まで96単位以上を修得していること、かつ前年度の満点平均が80点以上又は所属する学科及び学年の上位30%以内であること。		免除・減免	<学部生の場合> (半額免除)267,900円 (全額免除)133,950円 <私費外国人留学生的の場合> (半額免除)267,900円	申請のあった年度の授業料を減免。授業を減免できる最大期間は標準修業年数。	人数の制限なし	地域の制限なし	学務課学生支援係	併用不可	併用可
	就職活動支援	随時		就職支援	本学の学部又は大学院に在籍する者。 就職活動及びインターンシップ参加に係る交通費及び宿泊費。 鳥取市を起点とし、鳥取県外への移動において、公共交通機関(鉄道、バス、航空機)を利用した場合。		その他	交通費 就職活動:近畿エリア4,000円/回、近畿エリア外10,000円/回。上限は、累計30,000円まで インターンシップ:近畿エリア4,000円/回、近畿エリア外10,000円/回。上限は、累計14,000円まで 宿泊費 就職活動:1泊3,000円、累計で18,000円まで インターンシップ:1泊5,000円、累計で9,000円まで	就職活動及びインターンシップを行う期間	人数制限なし。ただし、予算の上限あり。	地域の制限なし	学務課キャリア支援室	併用可	併用可
	地域連携活動推進助成制度	その他	大学が定める応募期	課外活動支援制度	1 対象とする活動 (1) 数団体が協賛する、学生3名以上で構成された団体 ※授業の中で行う活動は除くが、授業時間外や授業終了後に行う活動を含む。 (2) 学生3名以上によって構成されたグループ(クラブ、サークル、有志等) 2 活動エリア 原則として、鳥取県内及び兵庫県北部地域。 3 助成の対象となる費目 旅費等移動費、宿泊費、印刷費、会場使用料、消耗品、レンタル料、謝礼等。		その他	1団体につき、上限5万円 ※同じ活動が複数箇所や複数回実施するなど、内容により20万円まで助成する場合あり	申請のあった年度	人数制限なし	地域の制限なし	研究交流推進課	併用可	併用可

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否	
新見公立大学	新見公立大学奨学基金	随時		研修支援制度 用途を定めない経済的支援		公立大学法人新見公立大学に在学する学生が海外又は国内における研修等へ参加するとき、又は緊急な事情等により経済的に困難したとき、貸付けを行うことにより学生を援助することを目的とする。	貸与奨学金	30万円(上限)	1回限り	人数制限なし	地域の制限なし	学生課	併用可	併用可	
	新見公立大学ふるさと育英奨学会	入学後		用途を定めない経済的支援		本学の推薦入試又は一般入試に合格し、本学へ入学した成績優秀な者であり、真に育英奨学会の給付が必要である者	給付奨学金	年額10万円			健康保険料4名 看護料4名 地域福祉料4名	学生課	併用可	併用可	
岡山県立大学	授業料減免制度	その他	年2回(6月・10月)	入学金・授業料減免		【①】 対象：留学生 条件：成績が優秀であり、世帯収入が大学の定める基準額以下であること 【②】 対象：すべての学生 条件：学費負担者の死亡・傷病、学費負担者の居住する家庭の被災により、生活に困難し、学費の負担が困難であると認められる者	免除・減免	【①-②共通】 半額授業料全額(267,900円)または半額(133,950円)	【①-②共通】 0月(半額ごと)	制限なし(予算の範囲内)	地域の制限なし	教務課学生支援班	併用不可	併用可	
尾道市立大学	成績優秀学生奨学制度	その他	学部1年生・2年生・3年生	特待生・成績優秀者		学業成績が特に優秀であるとして決定された者 ・経済情報学部 対象の各学年4名以内 ・日本文学部 対象の各学年1名以内 ・美術学部 対象の各学年1名以内 翌年度の5月に決定・公表し、修学に使用することを目的とする。	給付奨学金	年額100,000円			地域の制限なし	学務課学生係	併用可	併用可	
	資格取得奨励金給付制度	在学中		資格取得支援制度		在学中に国家資格などの資格を取得した学生に対し、奨励金を支給。対象資格は18種類。	給付奨学金	10,000円～100,000円。資格によって異なる。			地域の制限なし	キャリアサポートセンター	併用可	併用可	
	尾道市立大学奨学会	在学中	随時	用途を定めない経済的支援		経済的事情により修学が困難な者	貸与奨学金	月額30,000円		最短期修了年限まで	地域の制限なし	学務課学生係	併用可	併用可	
	授業料減免制度	在学中		入学金・授業料減免		以下①～④のいずれかに該当する場合、授業料減免対象となります。 ① 本人又は授業料負担者が、震災、風水害、火災その他の災害により著しい損害を受け、授業料の納入が困難になった場合 ② 授業料負担者が経済的理由により授業料の納付が極めて困難であり、かつ、学生の学業成績が良好であると認められる場合 ③ 授業料負担者が経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学生の学業成績が良好であると認められる場合 ④ その他理事長が特に必要と認められた場合	免除・減免	全額免除、2/3免除、1/3免除			地域の制限なし	総務課経理係	併用可	併用可	
福山市立大学	一般選抜(前期日程)成績優秀者減免制度	入学手続時		特待生・成績優秀者 入学金・授業料減免		一般選抜(前期日程)の志願者のうち、特に成績優秀と認められるものを選出し、入学料を全額免除する制度。 一般選抜(前期日程)に合格した学生が入学料を納入し、本学の指定口座に納入し、後期学費決定及び授業料の合計点の高い順に選出し、選出人数は、教育学部児童教育学科コース1人、教育学部児童教育学科保育コース1人、都市経営学部都市経営学科3人。	免除・減免	入学料を全額免除。(市内253,800円 市外423,000円)	入学年度の4月	選出人数は、教育学部児童教育学科教育コース1人、教育学部児童教育学科保育コース1人、都市経営学部都市経営学科3人。	地域の制限なし	事務局学務課	併用不可	併用可	
	学生表彰制度	その他		特待生・成績優秀者 用途を定めない経済的支援 海外活動支援制度		○学長表彰 在学期中に学部長表彰の対象となった卒業予定者のうち、学業若しくは学術研究において最も優秀な成績を修め、又は社会的に高い評価を受けた学生 ○学部長表彰 学部の1年生、2年生及び3年生を対象として、学業、学術研究、スポーツ・課外活動若しくは社会文化活動の各分野において優秀な成績を修め、又は社会的に高い評価を受けた学生等	給付奨学金	○学長表彰：10万円相当の食品 ○学部長表彰：4万円相当の食品	毎年5月と3月	○学長表彰 1名 ○学部長表彰 1名(学術研究) 教育学部 各学年4名以内 都市経営学部 各学年4名以内 ○学部長表彰(スポーツ・課外活動又は社会文化活動) 各学部 若干名	地域の制限なし	事務局学務課	併用可	併用可	
広島市立大学	特待生制度	在学中	学部2年次～4年次	特待生・成績優秀者		・本学に1年以上在籍し、学力及び学力が優秀で他の学生の模範となる者と認められる者	給付奨学金	・1人200,000円(年額)		受賞決定後	地域の制限なし	事務局学生支援室学生支援グループ	併用可	併用可	
	寮制度(①学生寮「もみじ」 ②国際学生寮「さくら」)	その他		寮制度		①【学生寮「もみじ」】 ・自宅通学が困難で、経済的に民間アパート等への入居が困難な者 ②【国際学生寮「さくら」】 ・国際学生が個人学生との共同生活に対する意欲・意欲の高い学生 ・学生寮「もみじ」と異なり、学部在籍生や大学院生、また、自宅からの通学が可能な学生も対象	その他	学生寮「もみじ」 使用料月5,900円+光熱水費実費(共済費：年額2,000円) 【国際学生寮「さくら」】 使用料月20,000円+光熱水費実費(共済費：部費ごとに決定)	居住期間 ①短期(2年間) ②1年間(学生役職者は2年間)	【学生寮「もみじ」】 ・男女別6人 【国際学生寮「さくら」】 ・96人 (内訳)日本人学生48人、外国人留学生48人	地域の制限なし	事務局学生支援室学生支援グループ	併用可	併用可	
	入学料減免	入学手続時		入学金・授業料減免 被災者資金支援		次のいずれかに該当し、入学料の納付が著しく困難であると認められた場合には、入学料の減免を受けることができます。 ・入学前1年以内、入学を志して負担している者が亡くなった場合 ・入学前1年以内、入学する者又は学費を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合 ・入学する者が広島市内の者であり、生活保護法の規定による保護を受けている世帯に属している場合 ・2022年4月1日(入学前)までの間に、災害救助法が適用されている地域で被災した者で、下記のいずれかに該当する者 ア、主たる学費負担者が死亡又は行方不明の場合 イ、主たる学費負担者が所有する自宅が全壊、大規模半壊、半壊(床上浸水を含む。)、流失した場合	免除・減免	未定 ※入学料：市内282,000円、市外423,000円		人数制限なし	地域の制限なし	アドミッションセンター	併用可	併用可	
	授業料減免	在学中		入学金・授業料減免		【収入要件】※いずれかの要件に該当している。 1 生活保護世帯 2 市町村民税(所得割)非課税世帯 3 死亡、離別、疾病、失業等(災害を含む。)の特別事情が過去1年以内に発生 【成績等要件】※全ての要件を満たしている。 1 標準修得単位数以上の単位を修得している 2 在籍期間が修業年限以内 3 履修登録を行っている 4 懲戒処分を受けていない	免除・減免	収入、成績状況等に応じて決定。認められる場合は、各履修科目の全額、半額又は1/4を免除。	前年度又は後年度ごとに減免決定を実施する。	人数制限なし。	地域の制限なし	事務局学生支援室学生支援グループ	併用不可	併用可	
	短期語学留学プログラム助成	在学中	1年生～4年生	留学費用支援制度		1年生以上、全学部対象。海外短期語学留学プログラムに参加する学生。	給付奨学金		※助成額は、実施年度の経費により変動(下記は2019年度実績※マスク国立大学短期語学留学プログラムは2018年度実績) 1)アジア短期語学留学プログラム104,000円(18名まで)、オーストラリア短期語学留学プログラム49,000円(16名まで)、JASSO助成金(要申請)あり 2)マスク国立大学短期語学留学プログラム51,000円(18名まで)、西南大学短期語学留学プログラム2,200円(10名まで)、慶応義塾大学短期語学留学プログラム18,000円(10名まで)	1回限り	人数制限なし	語学センター	併用可	併用可	
	海外学術交流協定大学への派遣留学助成/渡航費の一部助成	その他	派遣留学出発前	学費支援 寮制度 留学費用支援制度		2年生以上、全学部対象。 海外学術交流協定大学へ長期留学する学生及び専門分野を学ぶための短期留学する学生が対象。 ただし、他の制度が重複申請に対し、助成金が重複される場合、当助成金以上の助成金と変更される時は支給せず、当助成金未達の助成金が支給される時は当助成金との差額を支給する。	給付奨学金	韓国6,000円、中国14,000円、マレーシア14,000円、ドイツ40,000円、フランス32,000円、ハワイ13,000円、カナダ23,000円、タイ13,000円、コスタリカ30,000円、台湾6,000円	一時金	派遣学生として協定校数を超えない人数	地域の制限なし	国際センター(国際交流推進センター)	条件有り併用可	条件有り併用可	
	海外交流プログラム助成	その他	プログラム実施前	留学費用支援制度		1年生以上、全学部対象。海外交流プログラムに参加する学生。	給付奨学金		各プログラムの上限は20,000円を参加費に対する給付割合を年度ごとに別途決定する。2024年度は7%とする。	一時金	最大4名(マレーシア1名、サンフランシスコ1名、シンガポール1名)	地域の制限なし	国際センター(国際交流推進センター)	併用可	併用可
山陽小野田市立山口東京理科大学	山陽小野田市立山口東京理科大学特待生奨学金	在学中		特待生・成績優秀者		本人からの申し出でなく各学科からの推薦、各学科学年より各1名ずつ、2年生～4年生	給付奨学金	一括10万円		①1年間 ②1回限り	2～4(6)年生までの各学科学年より各1名ずつ	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学授業料免除及び徴収猶予制度	在学中	1年生～4(6)年生	入学金・授業料減免		経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業成績が良好であると認められる学生。	免除・減免	各履修科目の半額もしくは全額免除及び徴収猶予			地域の制限なし	学生支援課	併用不可	併用可	
	修学支援奨学金	在学中	2年次以上(昨年度の成績が分かる学年)	学費支援		学部に在籍する学生のうち、経済的理由により修学が困難であり、かつ、学業成績が良好であると認められる者	給付奨学金	年額5万円		年度毎に決定するため、年1回支給。	6名	地域の制限なし	財務課及び学生支援課	併用可	併用可
	海外留学支援奨学金	入学後		留学費用支援制度		独立行政法人日本学生支援機構法(平成15年法律第64号)第12条第1項第1号に規定された、「経済的理由により修学に困難がある優れた学生等」に該当すると認められる学生	給付奨学金	最大20万円/年		年1回程度	1～4件程度	地域の制限なし	財務課及び学生支援課	併用可	併用可
	地域連携活動支援金 その他	入学後		課外活動支援制度 その他	地域文化の向上並びに地域活性化のための活動を行う個人や団体を対象とした経済的支援	在学生	給付奨学金	年額4万円を上限とする。		年間1回	特になし	地域の制限なし	財務課及び学生支援課	併用可	併用可
下関市立大学	成績優秀者学修奨励金制度	在学中	2年～4年	特待生・成績優秀者		本学の学部学生で学力が優秀であると認められる者。	給付奨学金	一人当たり年額10万円以内。(前期と後期の2回に分け、在学している学期ごとに給付)	1年間		各学年各学科それぞれ入学定員の4%以内。留學生については、2～4年生までの留學生のうちの5%以内。	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可
	授業料減免制度	在学中	1年～4年	入学金・授業料減免		授業料を負担する者が、震災、風水害、火災その他の災害により、住宅又は家財が半壊以上の被害を受けた者(申請前1年以内の災害に限り)を対象に、授業料減免する。ただし同一の災害については回を限るとする。	免除・減免	各履修料の額の2分の1に相当する額を上限として減免する。(1回限り)	半期。		人数に制限なし。	地域の制限なし	学務部学生支援課	併用可	併用可
	下関市立大学国際交流支援	随時		研修支援制度 留学費用支援制度 用途を定めない経済的支援 資格取得支援制度 その他	国際インターンシップ助成金、新入外国人学生支援、見舞金	1 協定校への派遣留学 2 外国語研修 3 国際インターンシップ支援 4 不同の専攻による生活維持が困難な学生支援 5 新入外国人留学生支援 6 留学生の資格等取得のための試験料補助	給付奨学金	1 協定校への派遣留学 1年間の場合韓国語圏甲地域 6万円/人、中国語圏 6万円/人、韓国語圏 7万円/人 乙地域 7万円/人 半年間の場合韓国語圏 6万円/人、中国語圏 4万円/人、韓国語圏 5万円/人 外国語研修 英語圏 4万円/人、中国語圏 3万円/人、韓国語圏 3.5万円/人 3 国際インターンシップ支援 青島・厦門・台湾 25,000円/人、シンガポール(短期) 30,000円/人 シンガポール(4HS、カネ) 40,000円/人 長期インターンシップ(1/3) 80,000円/人 4 不同の専攻による生活維持が困難な学生支援 5万円/人 6 留学生の資格等取得のための試験料補助 最高5万円または実費額/人	前期1～3は出発前またはプログラム終了後に申請 前期4は学部及び大学院 留學生が対象 年間2回/人	前項1：25人、2：75人、3：23人、6：21人(2023年度予算)	地域の制限なし	国際交流センター 国際交流課	併用可	併用可	
下関市立大学後援会奨励	在学中	1年～4年	研修支援制度 課外活動支援制度 資格取得支援制度 その他	見舞金、各種大会報奨金、表彰事業	在学中に所定の資格等を修得・取得した学生、善行やボランティア活動を行った者で公的機関等が表彰した学生、または各種大会(体育・文化)に出場し優秀な成績をあげた学生個人もしくは団体に、奨励金または報奨金の交付を行う。	その他		所定の資格等試験について1回の受験料のうち5,000円(実額)に要した金額が5,000円に満たない場合は実額に要した金額、受験料が高額な一部の試験は10,000円を上限として、年一回まで奨励。所定の資格等を取得した場合、20,000円の報奨金を支給。 見舞金は上限30,000円、各種大会報奨金は上限100,000円を支給。表彰者には10,000円相当の図書券を支給。	申請を受け付け次第、随時支給。	特に人数の制限なし。	地域の制限なし	下関市立大学後援会	併用可	併用可	
学生旅費(地域商社)	在学中	2年次以上	その他	PBL支援	PBLの取り組みで課外の活動に参加した学生に対して支給する。	給付奨学金	20,000円/人(沖縄)(2022年度実績)		報告書提出後の翌月(1月又は2月)に支給	2023年度5人	沖縄県	キャリアセンター	併用可	併用可	

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学部・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
山口県立大学	公立大学法人山口県立大学授業料の免除等に関する規程	在学中	全学年対象	入学金・授業料減免 被災者資金支援		A 対象学年・学部 全学年・全学部対象。 イ 資格・条件 学習負担者が経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学生の学業成績が良好である場合。	免除・減免	納める授業料の全額(267,900円)または半額(133,950円)免除。	修業年度に定める期間	定めなし	地域の制限なし	学生部学生支援部門	併用不可	併用可
	被災者等に対する入学試験料等の免除	学校出願時		入学金・授業料減免 被災者資金支援		令和6年度奄美半島地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者 ○主たる家計支持者が所有する自宅が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した場合 ○主たる家計支持者が震災により死亡または行方不明の場合	免除・減免	入学試験料 17,000円、入学金(県内生) 141,000円 (県外生)282,000円	入学試験料は免除許可時、入学金は徴収しない方法で入学手続時	条件を満たしていれば、人数の制限なし	地域の制限なし	学生部入試部門	併用可	併用可
	山口県内で発生した風水害等の災害における入学金免除	入学手続時		入学金・授業料減免 被災者資金支援		①又は②に該当する場合 ①入学前1年以内において、入学する者又は入学する者の学習を主として負担する者が、山口県内で発生した風水害等の災害を受けた場合 ②前等に準ずる場合であって、理事長が相当と認める理由がある場合	免除・減免	入学金(県内生)141,000円(県外生)282,000円 ○全額免除 ア 災害発生時に、入学する者又は学習負担者が災害救助法適用地域に居住していた場合であって、学習負担者が所有する自宅が全壊、大規模半壊、半壊又は流出した場合 イ 災害発生時に、入学する者又は学習負担者が災害救助法適用地域に居住していた場合であって、学習負担者が死亡又は行方不明となった場合 ○全額免除または半額免除 理事長が相当と認める理由がある場合	免除が許可された後、徴収しない方法で入学手続時	条件を満たしていれば、人数の制限なし	山口県	学生部入試部門	併用可	併用可
	YPUドリームアドベンチャープロジェクト	その他	採択後(6月以降)		課外活動支援制度		応募資格 ○応募資格は、本学に在学している学生及び学生団体とする。 ○プロジェクト企画は翌年(1)月末日までは成果が出せる内容でなければならない。 ○社会での研究、学生協働に関する活動とわかるプロジェクトは、応募することができない。 ○過去に実施されたプロジェクトと同一とみなされるプロジェクト企画は、応募することができない。	その他	採択された企画に対し予算の範囲内(上限100,000円)で活動経費の一部または全部を助成する。(最大5グループ)	採択後(6月以降)からプロジェクト終了まで(12月まで)	グループの人数に上限なし	地域の制限なし	学生部学生支援部門	併用可
香川県立保健医療大学	香川県立保健医療大学授業料等減免制度	在学中	学部1～4年生 専攻科1年生 大学院博士前期課程1～2年生 大学院博士後期課程1～3年生	入学金・授業料減免		【対象】 大学院生、助産学専攻科生、高等教育の修学支援新制度の対象にない学部生で、住民税非課税世帯又は非課税世帯に準ずる世帯の学生(審査の対象となる家計基準は、高等教育の修学支援新制度の基準と同じです。)	免除・減免	授業料減免については半額ごとに審査し、家計基準により、全額免除(減免額267,900円)、2/3免除(減免額178,600円)、1/3免除(減免額89,300円)となります。	半年(前期、後期それぞれ決定します。)	制限なし	地域の制限なし	事務局	併用不可	併用可
高知工科大学	高知工科大学特待生制度	学校出願時		特待生・成績優秀者 学費支援 入学金・授業料減免		学士課程入試の合格者のうち、入学試験の対象となる年度の大学入学共通テストの成績が、大学の定める基準を満たす者。 特待生の資格は、原則として学士課程に在籍する間とし、退学の受給期間は4年間を超えることができない。 毎年度末に資格の継続審査を実施し、要件を満たした場合は翌年度も特待生としての資格を継続することができる。	給付奨学金 免除・減免	特待生S:入学金(県外出身者)30万円(県内出身者)15万円 授業料 535,800円 イ 学費支援 特待生A:奨学金 月額5万円		上限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	高知工科大学高知県内高等学校出身者授業料等免除	学校出願時		入学金・授業料減免		高知県内の高等学校を卒業見込みの者で、高等学校在学のいずれかの学年次に、生活保護法又は被保護世帯に属していた者又は属する者であって、本学入学試験の一般選抜で合格し、本学に入学しようとする者を就学支援学生とする。	免除・減免	入学金:150,000円 授業料:535,800円		上限なし	高知県	学生支援課	併用可	併用可
	高知工科大学授業料免除制度	その他	特別な事由(学習負担者の死亡・被災)による家計急変時、事由発生から1年以内に申請可能。全学年対象。	入学金・授業料減免		特別な事由(学習負担者の死亡・被災)による家計急変により授業料の納付が著しく困難であり、本学が定める家計基準および学業基準を満たした者に対して行う。	免除・減免	全額免除:535,800円 半額免除:267,900円	減免が認定された者に対し申請年度の授業料を免除する。	上限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	海外短期プログラム等旅費助成	在学中	出発の2週間前まで	研修支援制度 留学費用支援制度		学部生・大学院生対象。 文部科学省補助に短期留学生として派遣される場合、あるいは国際交流センターが指定する海外プログラムに参加する場合の渡航費を助成する。	給付奨学金	旅費の半額(5万円上限)を助成する。	同年度内に1度のみ申請可 渡航終了後支給	上限なし	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可
	国際会議発表助成	在学中	出発の2週間前までに申請	研修支援制度		学部生・大学院生対象。 海外で開催される国際的な学術集会において、自ら英語で発表する場合(口頭発表、ポスター発表を問わず)の渡航費用を助成。	給付奨学金	旅費の半額(5万円上限)を助成する。	同年度内に1度のみ申請可 渡航終了後支給	上限なし	地域の制限なし	国際交流課	併用可	併用可
	就職活動に係る交通費助成	在学中	学士課程3年次の1月1日から4年次の12月31日まで、対象期間前申請可。	就職支援		高知工科大学校及卒後の就職活動旅費助成制度で、要件は以下のとおり。 ・後援委員会又は校友委員会を納入していること ・当該年度内に卒業・修了決定である卒業生 ・交通機関の利用目的が就職活動であること ・企業から交通費の実給がないこと ・就職活動が可能な単位を取得していること ・就職活動を行うにあたって、学部・学部・コースで判断し、就職担当教員が妥当と認めていること	給付奨学金	15,000円上限で旅費を助成する。助成額は1,000円単位とする。	学士3年次1月1日から学士4年次の12月31日まで、支給上限金額を超えるまで複数回申請可。	上限なし	地域の制限なし	就職支援課	併用可	併用可
	学生表彰学長賞(学業成績優秀賞および優秀賞)	在学中	毎年11月	特待生・成績優秀者 その他	副賞として	学業成績優秀賞 対象: 学士課程2～4年生 条件: 前年度の各学年毎最低修得単位数以上を取得した者であって、前年度のGPAが各学部・学部の上位1%程度 学業成績優秀賞 対象: 学士課程2～4年生 条件: 前年度の各学年毎最低修得単位数以上を取得した者であって、前年度のGPAが各学部・学部の上位5%程度	給付奨学金	学業成績優秀賞:30万円 学業成績優秀賞:10万円	毎年度に受賞者を決定し、11月に支給	上限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	学生表彰学長賞(アスリート特別優秀賞および優秀賞)	在学中	毎年11月	課外活動支援制度 その他	副賞として	アスリート特別優秀賞 対象: 学士課程2～4年生 条件: 各競技における主たる競技団体が開催する西日本大会レベル以上の競技大会において、上位の成績を修め、かつ前年度の学業成績が各学部・学部の上位20%程度である者。 アスリート優秀賞 対象: 学士課程2～4年生 条件: 各競技における主たる競技団体が開催する西日本大会優勝レベルで、前年度のGPAが2.0以上である者。	給付奨学金	アスリート特別優秀賞:30万円 アスリート優秀賞:10万円	毎年度で受賞者を決定し、11月に支給	上限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	学生表彰学長賞(文化特別優秀賞および優秀賞)	在学中	毎年11月	その他	副賞として	文化特別優秀賞対象 対象: 学士課程2～4年生 条件: 地域または全国的に組織された文化活動を行っている団体や協会、連盟等が開催する西日本大会レベルのコンクール等において上位の成績を修めた者で、前年度の成績が各学部・学部の上位20%程度である者。 文化優秀賞 対象: 学士課程2～4年生 条件: 地域または全国的に組織された文化活動を行っている団体や協会、連盟等から表彰を受けた者で、前年度のGPAが2.0程度以上の者	給付奨学金	文化特別優秀賞:30万円 文化優秀賞:10万円	毎年度に受賞者を決定し、11月に支給	上限なし	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	国際会議発表助成	在学中	出発の2週間前までに申請	その他	国際会議発表に対する旅費助成		学部生・大学院生対象。 海外で開催される国際的な学術集会において、自ら英語で発表する場合(口頭発表、ポスター発表を問わず)の渡航費用を助成。	給付奨学金	旅費の半額(5万円上限)を助成する。	同年度内に1度のみ申請可 渡航終了後支給	上限なし	地域の制限なし	国際交流課	併用可
九州歯科大学	永松奨学金	その他	入学後及び随時	用途を定めない経済的支援			貸与奨学金	月額30,000円または50,000円			地域の制限なし	学生課		
長崎県立大学	長崎県公立大学法人修学支援基金	在学中	1年生～4年生	被災者資金支援		火災、風水害その他の災害により、現に居住する住居に被害を受けた学生	その他	10万円以内	都度支給	人数制限なし	地域の制限なし	総務課財務グループ	併用可	併用可
	長崎県立大学シーボルト校後援会	在学中	1年生～4年生	資格取得支援制度 課外活動支援制度 就職支援		1年～4年生の後援会加入者対象	その他	・資格取得支援は資格により10,000～20,000円または受験料相当額 ・課外活動支援は大会により、2,500～300,000円 ・就職支援は面接により1,500～15,000円	都度支給	人数制限なし	地域の制限なし	シーボルト校後援会	併用可	併用可
	長崎県立大学佐世保校後援会	在学中	1年生～4年生	資格取得支援制度 留学費用支援制度 課外活動支援制度		1年～4年生の後援会加入者対象	その他	・資格取得支援は資格により10,000～20,000円または受験料相当額 ・課外活動支援は大会により、2,500～300,000円 ・留学費用支援は留学先により、30,000～70,000円	都度支給	人数制限なし	地域の制限なし	佐世保校後援会	併用可	併用可
熊本県立大学	同窓会楽苑会奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援		学業成績・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由から修学が困難と認められる者(毎年度学部全学年から10人程度)	給付奨学金	年額20万円	1年	10人程度	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	短期派遣留学生支援奨学金	随時		留学費用支援制度		学生交流に関する協定に基づき、1ヶ月以上1年以内の期間派遣される者(毎年度3人以内、ただし米国への1ヶ月未満の派遣はこの限りではない)	給付奨学金	月額6万円から10万円 ※派遣先大学の所在地による	派遣先で修学する期間	3人以内(ただし米国への1ヶ月未満の派遣はこの限りではない)	地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
	小辻梅子奨学金	随時		留学費用支援制度		文学部英語英米文学科又は文学研究科英語英米文学専攻に在籍する者で、一定期間以上の海外留学・研修を行う者	給付奨学金	10万円から10万円 ※留学・研修等の期間による (同一学生の奨学金は、文学部在籍時、文学研究科在籍時のそれぞれについて、10万円をその上限額とする。)	30日以上		地域の制限なし	学生支援課	併用可	併用可
大分県立看護科学大学	授業料減免制度	入学後		入学金・授業料減免		1年～4年生対象 修学支援制度の対象外の者でかつ経済的理由によって学費の支弁が困難な者	免除・減免	修学支援制度に準じる(所得に応じて、授業料の高額(上限額の範囲内)、2/3、1/3の減免)	修学支援制度に準じる	人数制限なし	地域の制限なし	教務学生グループ	併用不可	併用可

大学名	(1)制度名	(2)申請時期 ※代表的なものを表示しています。大学によって(4)対象学年・学部・資格・条件の内容に他の申請時期を記載している場合がありますので、ご注意ください。	「在学中」 「その他」の具体的な内容	(3)支援の種類	「その他」の具体的な内容	(4)対象学年・学部・資格・条件	(5)種類	(6)金額	(7)支給期間	(8)人数	(9)地域条件	(10)担当部署	(11)JASSO給付型奨学金 対象校との併用可否	(12)他奨学金制度との併 用可否
名桜大学	名桜大学奨学金	在学中	2年生～4年生	特待生・成績優秀者 課外活動支援制度		対象学年・2～4年生 対象学部・全学部 条件・学業成績基準・第一種 GPA3.6以上、第二種 GPA3.2以上 スポーツ奨学金基準・第一種 日本代表(候補)選出、全国大会出場または九州大会優勝した個人又はチーム 第二種 沖縄県代表(候補)又は団体選手選出、西日本大会出場又は九州大会 ベスト4に選出した個人又はチーム ※学業成績、学生活動、人物ともに優秀で他の学生の模範となる学生	給付奨学金	第一種・20万、第二種・10万	1年間(1回)		地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	名桜大学学長奨学金	在学中	1年生～4年生	資格取得支援制度		対象学年・全学年 対象学部・全学部 資格【5万円】 実用英語技能検定準1級、TOEFLBT 80点以上、TOEIC 751点以上、IELTS 6.0以上、ドイツ語技能検定1級 実用フランス語検定準1級、スペイン語技能検定2級、DELE C1合格、国際ポルトガル語検定上級、Cobol-Basic上級 中国語検定準1級、HSK6級(180点以上)または5級(240点以上)、ハンガール能力検定2級、韓国語能力試験5級 実用タイ語検定2級、実用数学技能試験準1級、統計検定準1級合格 【10万円】 実用英語技能検定1級、TOEFLBT 100点以上、TOEIC 999点以上、IELTS 7.0以上、ドイツ語技能検定1級 実用フランス語検定1級、スペイン語技能検定1級、DELE C2合格、国際ポルトガル語検定大学級 Cobol-Basic上級の上、中国語検定1級、HSK6級(240点以上)、ハンガール能力検定1級、韓国語能力試験6級 実用タイ語検定1級、実用数学技能試験1級、統計検定1級合格	給付奨学金	5万円または10万円			地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	災害等による授業料減免	随時		被災者資金支援		対象学年・全学年 対象学部・全学部 条件・被災証明書等で自宅及び実家が半壊以上の被害を受けた学生	免除・減免	1年間の授業料全額または半額			地域の制限なし	学生課	併用可	併用可
	やんばる奨学金	入学後		用途を定めない経済的支援		令和6年度については、 次の1)から3)のいずれかに該当する者 ①沖縄本島北部に所在する高等学校を令和5年3月又は令和6年3月に卒業し、令和6年4月に入学した者。 ②令和5年3月31日以前から1年以上継続して北部12市町村に住所を有し居住している者で、高等学校を令和5年3月又は令和6年3月に卒業し、令和6年4月に入学した者。 ③高等学校を「令和5年3月又は令和6年3月に卒業し、令和6年4月に入学した者の保護者、配偶者又は一親等の親族」が令和5年3月31日以前から1年以上継続して北部12市町村に住所を有し居住している者。 〔令和5年3月31日時点で19歳以上の継続居住期間が条件となります〕 ≪沖縄本島北部及び北部12市町村とは…≫ 名護市、国頭村、大宜味村、実村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村、伊原市村、伊平屋村 のことを指す。	給付奨学金	年間10万円	1回限り		年間20名程度	沖縄県	入試・広報課	併用可